

スル勤ナキハ一ノ理由ナル可シ露國ニ於ケル一人平均ノ消費額ハ大陸諸國ノ二分若クハ三分ノ一ニシテ英國ノ十分ノ一ナリ木綿ハ將來ニ於テ最モ堅固ナル發達ノ基礎アルモノト云フ可シ勿論今日ニ至ルマテ此業ハ政府ノ保護稅ニヨリ其ノ發達ニ少ナカラヌ助テ得タリト雖モ此ノ如キ保護ハ製造家ニ其ノ製造品ニ對シ精功ヲ積ム可キ機會ヲ與フルモノナリ故ニ其ノ精功ヲ積ムニ至テハ外國ノ競爭モ恐ル、ノ必要ナキニ至ラン

第五節 商業

吾人が前段ニ掲ケシ各種ノ工業ノ詳述ハ國民ノ勞働ヲ天產物ニ加ヘ爲ニ其價値ヲ加ヘタルノ大ナルヲ示スニ足ラン世界ノ市場ニ充分ノ仲間入ヲナスニハ製產物ヲ製產者ヨリ消費者ニ渡ス迄ノ手續ヲ適當ニ組立テルノ必要アルナリ之レ即チ内國及ヒ外國貿易ナリ製產家ニシテ第三者ノ手ヲ經ルコトナク直ニ其ノ製產物ヲ消費者ニ賣リ渡スコトヲ得ハ之ヨリ大ナル利益ハアラサル可シ何トナレハ第三者ハ何時モ其ノ利益ノ幾分ヲ自己ニ占ムルコトアレハナリ此ノ原理ハ一個人ノ場合ニ於テ誠ナルノミナラズ亦一國ノ貿易ニ於テモ眞實ナリトス一國ノ產

物ニシテ他國ノ船ニヨリテ輸出セラル、コトアラバ其國カ其ノ產物ノ運賃並ニ之ヲ賣捌クノ手數料ヲ損スルハ勿論ニシテ輸出產物ノ大ナレハ大ナル程其ノ損失モ亦大ナル可シ

商業ガ工業ニ比シテ重要ナルヲ知ルニハ商業ニ用ユル所ノ資金ト工業製造業ニテ得ル所ノ產物ノ價値ヲ比較スレハ明カナル可シ千八百九十二年ノ統計ニヨレハ銀行、運輸及商社、鐵道ヲ除クニテ運轉シタル金員ハ九十六億七千四百萬ルーブルスニテ工業ノ金員ハ僅ニ十六億三千二百萬即チ商業ノ六分ノ一ナリトス茲ニ一例ヲ舉ケンニ鑛油(ナフサ)ヨリ得ル所ノ石油及其精等ノ價額ハ其ノ製產地ニ於テハ二千萬ルーブルスニ達セリ勿論ナフサノ場合ニ於テハ其ノ原料ハ最モ廉ナル者ナク千萬ルーブルスニ達セリ勿論ナフサノ場合ニ於テハ其ノ原料ハ最モ廉ナル者ナルヲ記憶セザル可カラズ然レドモ又我國ニ於テハ穀類ニ次テ我國輸出品ノ尤モ重要ナル者タルモ忘ル可カラズ唯資本ト勞働ヲ用ユルノ商業國ハ其ノ天然ノ富ハ如何ニ勤ナキモ商業ニヨリテ莫大ナル利潤ヲ得ルナリ昔時ニ於テハフイニシヤ、カールセーシ現今ニ於テハ蘭國及ヒ英國ノ繁榮ヲ極メシ重ナル原因ハ茲ニアリ



故ニ内外貿易ノ經濟ハ一國ノ繁榮ヲ來スニハ最モ重要ナル條件ノ一トナサル可カラズ内外貿易共ニ製産家及ヒ消費者ハ第三ノ商人ニ多クノ利益ヲ占メラレサルヤウ貿易ノ方法ヲ組織セサル可カラズ

(甲) 内國貿易。露國ニ於テ吾人ハ内國貿易ノ總テノ形狀ヲ見ルナリ「カラワン」商隊貿易ハ尙ホ今ニ至ル迄帝國ノ南東部ニ於テ見ル所ナリ其ノ重ナル中心ハオレンブルクタシケント、サマルカンド、セミバラチング及ビキヤクタニシテ商隊ハ之ヨリ露國ノ境界ヲ越ヘ中央亞細亞ノ諸國及ヒ支那ニ往復スルナリ又露國ノアル所ニテハ交通機關ノ缺乏セルト人口ノ稀疎ナルガタメ貿易ハ重ニ定期市ニヨリテ營マル、ナリ

最古ノ定期市ハ已ニ十六世紀ニ於テ見ル處ナリ例ヘハ其頃モロガウオルガ河ノ合フ處ニテ定期市ガ開ラカレ四ヶ月モ永續セリ獨逸人ポーランド人ギリキ人イタリヤ人ベルシヤ人迄モ此ノ市ニ臨ミタリ當時貿易ハ重ニ物品交換ニテアリタリ其後十七世紀ニ於テウオルガ及ヒセツクスナ河ノ合フ處ノリビングスクニテ一ノ商業中心起リタルガタメ此ノ定期市ハ遂ニ廢セラレタリ現今ニジニノヴ

ゴロッドニテ見ル所ノ定期市ハウシリ、イワノイ、チ大公ノ時代ニ起リタルモノニテ元トワシルブルクニアリタルガ後マカリエオニ遷リ遂ニ現今ノ處ニ移リタルモノナリ第十七世紀ニ於テ東露ノイリビトニ定期市起リ之レヨリ以前ニクルスク縣ノコレンナヤプスチンナヤノ寺院ニ近ク一ノ定期市アリタルガ今ハクルスクニ移リタリ定期市ハ我國ノ必要ヲ充タスモノニテ製産者ガ商人ノ手ヲ經ズシテ直ニ之ヲ需用者ニ賣ルノ便益ヲ與フルモノナリ故ニ政府ニ於テハ出來ルダケ定期市ノ設立ヲ獎勵シタリペートル大帝ハ千七百二十一年ニ各地ノ長官ニ與ヘタル訓令ニ於テ河湖ノ近方ニテ定期市ヲ起スコトヲ命シタリ其後定期市ニ於ケル貿易ニ對シ租稅及ヒ其ノ制限ヲ除クノ政略ヲ行ヒタレハ愈々之ヲシテ發達セシムルニ至レリ

現今露國ニ於テ大ナル定期市ハ凡ソ四百小ナルモノ二千五百餘アリ其中尤モ大ナル者ハニジニノヴゴロッドノ定期市ニシテ千八百十七年ニマカリエオヨリ茲ニ移シタル者ナリ此ノ市ハ露國ノミナラズ世界ニ於ケル最モ大ナル者トナス可シ毎年七月十五日ニ始マリ九月十日ニ終ル此ノ時期ハ農民收納ノ時ト連帶スルモ



ノニシテ其作不作ニヨリテ此ノ市ノ盛衰ヲナスナリ經濟上ヨリ此レヲ云ヘバ此市ハ其地方全體ノ取引ヲ玆ニ一時ニナスモノト云フ可シ此市ノ位置ハオカ河トウオルガ河ノ合フ處ニ在リテ中央及ヒ東部露國ノ水路ノ中心點ナリ故ニ年々此處ニ會合スル人民ハ二十萬ヲ下ラサル可シ此市ニ於ケル重ナル貿易ハ鐵具其他ノ製造品ヲ各地ヨリ來ル商人ニ賣捌クニアリトス而シテ此等ノ商人ハ之ヲ以テ露國全體ニ賣捌クコトヲナスナリ此ノ市ニハ亞細亞ノ商人モ露國ノ製造品ヲ買ハン爲ニ多ク來ル此ノ市ニ於ケル賣買ハ現金ニアラズ多ク信用ヲ以テ行ハル而シテ其ノ信用ハ永キハ一ヶ年餘ニ及ブ此處ニテ取引スル處ノ金額ハ其ノ始メ千八百十七年ノ頃ハ三千二百萬ルーブルスナリシガ千八百八十年ニハ二億五千萬「ルーブルス」ニ達シタリ然レトモ其ノ後交通ノ便殊ニ中央亞細亞ニ通スルツランスカスピヤン鐵道ノ成功以來ハ漸次衰退ヲ來シ千八百九十五年ニハ其ノ取引額一億六千五百萬ルーブルスニ減シタリ以上ノ金額ハ單ニ物品取引ノ價額ノミヲ揭ケタルガ此ノ外銀行及ヒ諸會社ノ取引小賣商賣ノ總額ハ一千八百九十五年ニ於テ三億三千九百萬ルーブルスニ及ベリ

此ノ市ニ次キテ最モ大ナルハイルビトノ定期市ナリ此市ハ今ヤ衰退ニ赴キツ、アルヲ免レズ千八百八十八年ニ於ケル取引高ハ五千七百萬ルーブルスニテアリタルガ今ハ三千四百萬ルーブルスニ減シタリ之ニ次キテ重要ナルハウクライナノ諸定期市ナリ其ノ他カウコフニ四ロムニ一ニ四ポルトハニ一アリ此ノ諸市ノ取引ハ全體大約四千萬ルーブルスナリ此レ等ノ市ニテ一ノ奇異ナル事ハ次ニ次ニト其物品ヲ廻轉セシムルコトナリ即チ一ノ市ニテ賣レ殘リタルモノアラハ之ヲ次ノ市ニ出シ其市ニテ賣レザルトキハ更ニ又次ノ市ニ運搬シ其結果タル物品ノ價值ニ運搬ノ費用ヲ益々加フルコトアルナリ

他ノ定期市ニ就テハ此上記述スルノ必要アラザルガ吾人ハ此處ニ定期市ノ將來ニ就キ一言ス可シ即チ現今ノ如キ交通機關ノ發達尙幼稚ニシテ市町ノ發達尙十分ナラサル處ニハ定期市ハ尙ホ長ク存在スヘキノ運命ヲ有ス可シ我國ノ如キ人口ノ稀疎ナル所ニテハ商業ハ兎角大都會ニ集注スルノ傾キアリ然レトモ今日ニ至ルマテ露國ニ於ケル大都會ノ數ハ至テ少ナシ百萬以上ノ人口アルハ唯聖ペートルスボルグノ一市ニシテ五十萬以上ノ人口アル都市ハ唯モスコ(八十六萬二



千)トウアルソ(五十七萬三千)ノ二市アリ二十萬以上ノ都會モ又オデッサ(三十四萬三千)キープ(二十萬二千)ノニアルニ過キス其ノ他十萬乃至二十萬ノ人口アル都市ハ大約十六アルナリ

三八四

(註)アスツラカン(十萬五千)ベルジチーフ(十萬一千)ビルノ(十三萬)カザン(十四萬四千)キシ子フ(十四萬四千)ローツ(十五萬)ニコラーフ(十一萬一千)オレル(十萬三千)リガ(十九萬五千)ドン河ニ於ケルロストフ(十萬三千)サマラ(十萬四千)サラトフ(十三萬五千)タシケント(十一萬四千)チフリ(十一萬)カルコフ(十九萬八千)

五萬以上十萬ノ都市二十ヶ所アリ二萬以上五萬ノ都市八百ヶ所アリ獨國ニ於テハ二十萬以上ノ都市ハ略ボ我國ト同様ナレトモ此ノ都市ノ存スル處ノ境界ハ露國ノ四十分ノ一ニ過キズ勿論前條ニ掲ケタル都市ノ大多數ハ歐洲露國ニ在リテ西亞細亞ニアルモノハ僅ニ十二ニ過ギズ歐洲ノミチ以テ之ヲ算スルモ人口ト土地ノ割合ハ獨國ノ十分ノ一タルニ過ギズ又小ナル町ニ於テハ其消費スベキ商品ノ外之ヲ賣買スル處ナク村落ニ於テハ殆ント一ノ商店モアラサルナリ此ノ如キ事情ハ買入商ト行商ノ自然ノ必要ヲ來スナリ買入商ハ重ニ家畜商ノ取

ル所ノ業ニシテ此ノ商人ハ玩弄品及ヒ小間物類ヲ以テ種々ノ農産物及ヒ羽毛豚毛及家畜ト交換ヲナス其重ナル目的ハ物ヲ賣ルニアラズシテ買フニアリ故ニ時ニハ現金ヲ以テ其ノ産物ヲ買フコトモアルナリ行商ハ之ニ反シテ專ラ雜貨ヲ農民ニ賣却スルコトヲ勉メ物品ヲ貿易スルハ甚タ稀レナリ此ノ外村落ノ製造家モ亦其ノ製造品ヲ負ヒテ所々ニ徘徊シ己レノ製シタル物ヲ以テ直チニ消費者ニ賣却スルコトヲナス商業ノ狀況此ノ如クナレハ市町内居住ノ人々ガ定期市ニ出テ、物ヲ買ハントスルハ自然ノ結果トナサルヲ得ズ即チ必需品ヲ持テル商人ニ遇フハ定期市ノ外ニ在ラザレバナリ故ニ定期市ノ不必要ヲ見ルカ如キ境遇ニ進ムニハ尙ホ永久ノ時期ヲ要ス可シ又ニジニノウゴロト市ノ定期市ノ如キニ至テハ露國大部ノ經濟ニ特別ナル位置ヲ有スル者ナレハ之レカ其ノ位置ヲ失フニ至ルハ信ス可カラサルコトナリ

我國商業ノ事情右ノ如クナリト雖モ大都市ニ於ケル商業ハ益々西歐諸國商業ノ特質ヲ受ケツ、アルナリ彼ノ國々ニテハ商業ハ商品取引ト定期取引ニヨリテ行ハル此ノ商業法ノ定期市ニ勝ル所ハ貿易ノ常ニ間斷ナク行ハル、ニアルノミナ

三八五



ヲズ又總テノ商品ヲ其市場ニ運送スルコトナク唯其ノ見本ノミニテ貿易ヲ行フノ利アルナリ

故ニ商品取引所ハ萬國商業ニ於テ缺ク可カラサルノ要具ナリ何トナレバ此處ニ於テ何人モ世界ノ重モナル市場ニ於ケル商品ノ相場輸出輸入額及ヒ其價額等ヲ知ルヲ得ルナリ唯是レノミナラズ又或時ハ其ノ商品ノ存セサル時例ヘハ收納前ニ於ケル穀類又ハ毛剪ヲナサル前ノ羊ノ毛ヲ以テ取引ヲナスコトアリ此ノ如キ取引ヲ以テ定期取引ト云フ茲ニ一言ス可キハ商業ノ盛ナル時ニハ定期市ニ於テモ此ノ如キ取引ハ屢々行ハル、コトアリ例ヘハキープニ於ケル定期取引ノ定期市ノ如キ其ノ重要ナルハ商品ノ輸入分配ニアラズシテ其ノ所ニ南西部ノ地方ヨリ集マリ來ル製造家ノ間ニ於テ商業ノ取引ヲナスニ在リトス千八百九十二年ニ此ノ市ニ於テ取引サレタル商品ハ二十八萬九千ルーブルスナリシ其内定期賣買ヲ行ヒタルモノハ一千七百萬ルーブルスニ達セリ定期取引ハ稍發達シタル商業ニ於テハ一ノ缺ク可カラサル要具ナリ然レトモ交通機關ト運輸機關ノ適當ナル設備ナキトキハ買手ニ於テ一定ノ期限ニ商品ヲ請取ルコトヲ期シ難ケレハ此

ノ取引法モ發達ヲ望ム可カラズ

商品取引所ニ就テハ先ツ露國ニ於テハ久シキ間必要ヲ感セラレサリシコトヲ一言シ置ク可シ故ニ之カ始テ設ケラレタルハ全ク政府ノ命令ニヨルナリペートル大帝ガホルランドノ旅行ヨリ歸ルヤ商品取引所ニ於テ商品ノ標本ヲ一堂ニ集メテ之ヲ觀察スルノ利アルヲ深ク感シ開港場及ヒ重ナル都市ニ取引所ヲ設クルコトヲ命シ且ツ商人ノ取引所ニ行クヲ好マサルヲモ強テ之ニ行カシメタリ然レトモ此ノ世紀ノ四十年ニ至ルマテハ僅カニ聖ペートルスボルグ、モスコ、リガノ三ヶ所ニ此ノ如キ取引所アリシニ過キサリキ漸ク六十年ノ後信用法ノ發達ニヨリテ取引ノ必要モ明カニナリタレハ重モナル大都會ニ設ケラレタリ現今ニ於テハニジニノウゴロツトノ定期市ニ於ケル臨時ノ取引所ノ外二十四ヶ所ノ取引所アリ露國ノ取引所ハ他ノ諸國ニ於ケルカ如ク其ノ取引所ノ商品ニヨリテ設置ヲ異ニスルニアラズ例ヘハ西歐諸國ニ於テハ株式取引所ト商品取引所トハ必ラス其ノ設置ヲ異ニスレトモ露國ニテハ孰レ一所ニ於テ行ハル、モノナリ漸ク近時ニ至リカラスニコフ、聖ペートルスボルグ、モスコ、ニ穀類取引所起リタリ現今ニ



至ル迄ハ我國ノ取引所ハ一定ノ條例ニヨリテ規定セラル、ニアラズ皆ナ特別ノ特許ヲ得テ設ケラレタルモノナリ取引所ニ連帶シテ起ル所ノモノハ仲買人ナルガ露國ニテハ大藏省ニテ取引人ノ行狀ヲ監督センタメ命シタル官選仲買人アリ又商品ヲ類別スルニハ取引所ニテ選ミタル商品検査官ナル者アルナリ現今露國ニ於ケル取引ノ方法及取引所ノ狀態ハ大藏省ニテ細カニ取調中ナルガ此レ他日我が國商業ノ必要ニ應ジテ適當ナル改革ヲ取引條例ノ上ニ行ハンカ爲メナルベシ

取引所ニ關係シ内國貿易ニ最モ重要ナル機關ハ倉庫ナリ取引所ニ於テハ只商品ノ標本ヲ蓄フルノミナレトモ其ノ適當ナル倉庫アラサルガ爲メ多クハ取引所近傍ニ特別ニ倉庫ヲ設ケラル、コトアルナリ

外國ノ商品ニ對シテノ倉庫ハ開港場及ヒ税關ニ設ケラル倉庫ニ預クル所ノ荷主ハ預手形ヲ出スナ得露國ニ於テハ尙ホ未タ此ノ手形法ハ廣ク行ハレサル所アリ千八百六十八九年ノ頃リガニ於テ倉庫會社ノ組織セラレ始メテ此ノ手形法ヲ施行セリト雖モ未タ手形ヲ發行ス可キ公許ヲ得サレバ預ケタル荷ノ證書ニヨリ借

金ヲナスコトアリ千八百七十年ノ始ニ於テ此ノ手形ヲ發行スル目的ヲ有スル多クノ倉庫會社起リタルが多クハ十分ノ成功ヲ見ザリキ斯ル失敗ヲナシタル理由ハ此等ノ會社ニテ其ノ手形ヲ發行スル所ハ聖ペートルスボルグ又ハモスコノ如キ大都會ニノミ限リテ他ノ開港場及ビ商品ノ達スル地方ニ發行セザリシト鐵道會社トノ連絡ナカリシカ故ナリ一八八八年ニ於テ我が立法部ハ大藏大臣ノ特許ヲ以テ倉庫會社ノ設立ヲ凡テノ所ニ凡テノ人ニ許シタリ是等ノ倉庫會社ハ其預ル所ノ荷ニ對シ預手形ヲ發行スル權ヲ有スルナリ然レトモ此新條例ハ今日ニ至ルマテ穀類ノ倉庫會社ヲ發達スルニ止マリテ未タ他ニ及ハサルナリ穀類ノ倉庫ニ就テハ別ニ農業ノ章ニ於テ詳細ニ陳述シ置キタリ

終リニ内國ノ商業ノ秩序アル發達ニ對シテ最モ必要ナル要素ハ交通機關ト運輸機關ノ改良ニアルコト疑フベカラス此ノ點ニ就テハ尙ホ後段ニ論スルコトアルベシ

(乙) 外國貿易 外國貿易ニ對シテハ吾人ハ之ヲ自國人ノ手ニ依テ行フハ常ニ輸出入ノ宜シキ平均ヲ保ツコト、共ニ甚タ重要ナルコトナルヲ再言セザルヲ得ス



何トナレハ商品運搬ノ費用ト第三者ナル商人ニ占メラル、利益ハ莫大ナレハナ  
 リ此點ニ於テハ露國ハ好望ノ地位ニアリト云フベカラズ  
 露國ニ於ケル海上貿易ハ遙カニ陸上貿易ノ上ニ出ツ即チ全輸出入ノ三分ノ一ト  
 輸出ノ四分ノ三ハ黑海及ヒバルチック海ヲ經テ通過スルモノナリ而シテ輸出ノ  
 場合ニ於テハ黑海ヲ經ルモノ更ニ多シトスカ、ル形狀ナルカ故ニ全體ノ問題ハ  
 貿易カ露國ノ船ニ依リテ行ハル、カ若シクハ他國ノ船ニ依ルカノ一ニアリトス  
 最後六年間ニ於ケル船及ヒ噸數ノ比較割合ハ凡ソ左ノ如シ

露國船	噸數	外國船	噸數
一八九〇—一八九三	一二、六	八、七、四	九一、四
一八九四	一一、六	六、九	八八、四
			九三、一

若シ之ヲ以テ各箇ノ海ニ區別スル時ハ露國ノ不利益更ニ大ナルヲ見シ露國船ノ  
 最モ多キハ白海ナルモ茲ニテモ其多キハ船ノミニシテ噸數ハ至リテ少シ然レト  
 モ此海ニ於ケル外國貿易ハ全外國貿易ノ百分一ニ過キス他ノ重ナル海ニ於テハ  
 露國ノ船ハ比較的更ニ少數ナリトス露國人ガ年々運賃ノ爲メ外國人ニ支拂フ所

ノ金額ハ實ニ莫大ナルベシ殊ニ其重ナル輸出品ハ穀物ナレバ他ノ商品ニ比シテ  
 比較的ニ多クノ運賃ヲ要スルヲ思ヘハ其ノ損失ノ大ナルヲ知り得ルナリ或ル人  
 ノ計算ニ依レハ年々外人ニ拂フ所ノ運賃ハ七千乃至八千萬ルーブルスニ達スベ  
 シトナリ

然レトモ海岸貿易ハ露國ノ法律ニテ外國船ノ寄港ヲ禁スレバ專ラ自國船ニヨル  
 コト明ナリ此貿易ノ總額ハ露國及外國ニテ行フ外國貿易ヨリ大ナリトス即チ沿  
 岸貿易ニ從事スル船數ハ外國貿易ニ從事スル船ノ二倍乃至二倍半ナリトス其噸  
 數ハ八十年ノ終ニ於テハ外國ノ船ヨリ稍少カリシガ今ハ著シク之ニ超過スルニ  
 至レリ又沿岸貿易ニ從事スル船ハ百分ノ五十八汽船ニシテ其噸數ヨリスレハ百  
 分ノ七十五ハ汽船ナリ而シテ此比例ハ漸次増加シツ、アルナリ此外海陸軍ノ章  
 ニ於テ掲ケタル義勇艦隊ノ發達ト共ニ將來露國航海業ノ盛大ヲ見ルハ疑フベカ  
 ラズ今日マデ政府ニ於テ採リタル航海業ノ獎勵法策ハ沿岸貿易ニ於ケル外國船  
 ノ禁止ト義勇艦隊ノ設置ノ外黑海汽船會社及ビ其ノ他ノ汽船會社ニ獎勵金ノ支  
 出ト露國航海補助會ノ設置ト聖ペートルスボルグ運河ノ開鑿ト殊ニリバノ商港



ノ改良ト燈臺及ヒ救命所ノ設置等航海ノ安全ヲ謀ル所ノ政策ノ實行ト航海人養  
成等ニアリトス

以上内外貿易ノ大略ヲ掲ケタレハ吾人ハ之レヨリ進ンテ天然資本、勞働、生産力ノ  
組織及ヒ商工業教育ノ普及問題ニ及ブコトアルベシ

#### 第六節 商工業ノ獎勵

(甲) 商工業ニ對スル制度上妨害ノ廢除 一國實業ノ發達ニ於ケル根本ノ要素ハ  
政府ニ於テ一國ノ幸福安寧ニ害ヲ與ヘサル以上ハ工業及ヒ商業ニ對スルノ妨害  
ヲ排除スルニアリ此問題ノ歴史ニ遡ルコトナク吾人ハ茲ニ露國ニ於テハ僧侶、教  
會ノ役員、新教ノ說教者ヲ除クノ外、内外人共ニ男女ニ係ハラズ工業若シクハ商業  
ニ從事スルノ權ヲ與ヘラル、コトヲ明言スベシ只猶太人ハ其居留地ノ外ニテ商  
工業ヲ營ムニ於テハ或ル制限ヲ受クルコトアリ政府ノ官吏ハ僅ノ取り除ケアル  
ノ外凡テノ商工業ニ從事スルヲ得唯現役ノ兵卒ハ酒店ノ外商工業ヲ營ムニハ支  
配人若クハ代人ヲ以テ之ヲ營マサルベカラス又最高等ノ位置ヲ占ムル官吏ハ現  
役兵卒ト共ニ株式會社ノ發起人タルヲ得サルナリ此ノ如ク露國ニ於テハ商工業

ニ從事スルニ對スル制度上ノ妨害少キコトハ西歐諸國ニ勝レリト云フベシ

(乙) 商業及工業上ノ團結 商工業ノ發達ニハ權利ノ外資本ト起業心ノ必要アル  
ナリ比較的資本ノ乏シキ國柄ニ於テハ大ナル事業ノ發達ニ缺クベカラサル一ノ  
要素ハ合資會社及ヒ株式會社ノ種々ノ形狀ニ於テ小資本ヲ一ノ目的ニ集ムルコ  
トナリ露國ニ於ケル商會ナルモノハ已ニ民政ノ時代ニ於テ著シキ發達ヲナシタ  
リ然レトモ當時之ニ對シテ一ノ法律アルコトナカリキ而シテ當時ノ慣習制度ハ  
之レニ充分ノ保證ヲ與ヘタリモスコトナリ時代ニ於テハ商業ハ稍衰退ニ赴キ當時ハ  
一ノ見ルヘキ商社ナルモノナカリキ一六九九年ニ於テペートル第一世ハ露國ノ  
商人ニ向テ他國ニ於ケルカ如ク商社ヲ結ブコトヲ命ジタリ此大改革家ハ同時ニ  
商人ニシテ若シ自ラ商社ヲ結フコトヲセサルニ於テハ政府自ラ商法會議所ニ命  
ジ此ノ如キ商社ヲ結ハシメ且ツ小兒ノ成長スル迄ハ母ニ於テ萬事ヲ管理スルカ  
如ク之ヲ管理ス可キコトヲ命シタリ第十八世紀中ニハ商社ヲ設ルコトヲ非常ニ  
獎勵シ政府ハ此カ爲メニハ如何ナル保護ヲモ又ハ助ケヲモ與フルコトヲ辭セサ  
リキ千八百九年條例ノ發布アルマテハ各商社ニ對シテ一々特別ナル許可ヲ與ヘ



タリ而シテ此ノ條例ニヨリテ會社ヲ三種ニ別チ第一ハ所謂合名會社ニシテ社員ハ其ノ會社ニ對シ總テノ責任ヲ負フモノ所謂無限責任ナル者ナリ第二ハ合名會社ニテ充分ノ權ヲ有スル社員ノ外ニ其ノ株金ダケニ限ル處ノ株主ヲ加ヘタルモノナリ第三ハ所謂株式會社ニシテ株主ノ責任ハ其ノ株金ニ止マル所ノ有限責任ノ會社ナリ第一第二ノ會社ヲ組織スルニハ何等ノ制限アルナシ第三ノ株式會社ヲ組織スルニハ條例ニ隨ヒ政府ノ検査ヲ受ケ又特典或ハ特別ノ保護ヲ享ルニハ内閣ノ許可ヲ受ケサル可カラズ總テ株式會社設立ヲ許可スルハ大藏大臣ノ權ナリトス此ノ點ニ於テ露國ノミ然ルニアラズ澳國瑞西國和蘭國ノ如キ我國ト同様ニシテ株式會社ヲ設立スルニハ政府ノ許可ヲ要スルナリ

千八百五十四年アレキサンダー二世即位ノ頃迄ハ株式會社ノ數至テ少ナカリシカ千八百六十年頃ニ至リ政府公債及ヒ預金ノ利息下落シタルカタメ元ト此等ニ用ヒタル資本ガ尙ホ有利ノ使用法ヲ必要トスルニ至リタレハ株式會社ノ數ハ著シク増加シタリ其後鐵道ノ布設銀行設立ノタメ一般工費ニ多額ヲ要シタルカタメ株式會社ハ時ニ多少盛衰ナキニ非サレトモ漸次増加シタリ而シテ彼ノ露土

ノ戰爭ハ紙幣増發ト内國製造品ノ消耗ヲ増シタルタメ株式會社増設ニ一ノ刺激ヲ與ヘタリ又千八百八十四年商業不景氣ノ後鐵道布設ノ減少ト農業ノ不作ハ却テ株式會社ノ設立ニ一ノ新シキ動機ヲ與フルコト、ナレリ此外公債利子ノ下落ハ資本家ヲシテ稍安全ヲ缺クモ尙利益多キ事業ニ資本ヲ投スルノ必要ヲ起サシメタリ之レ多クノ株式會社ヲ起スノ機會トナリシナリ千八百九十三年一月一日ニ於ケル株式會社ノ數ハ千三百三十五ニシテ其ノ資本總額ハ九億千三百萬ループルスニ達セリ其内九百七十六ハ露國ノ會社ニテ其ノ資本總額八億五千六萬ループルス又外人ノ會社ハ五十九ニシテ其ノ資本總額五千七百萬ループルスナリ

(丙) 商工業上ノ信用制度 資本ヲ工業上ニ應用スルノ問題ハ會社組織ノタメ盡キタルニアラズ此ト同時ニ工業及ヒ商業上ノ信用ヲ適當ニ組織スルノ必要アルヲ見ル此ノ信用ナル者ハ元ト我國ニテモ他ノ國ト同様唯政府ノミノ有スル所ナリシナリ其ノ起原ハ第十八世紀ノ下半期ニアリテ千七百五十四年ニ於テ國立商業銀行ノ設立ヲ見タルガ此レ聖ペートルスボルグ市ノ商業者ノ實況ヲ深ク觀察スルノ結果ニ出デタルナリ此銀行ニ於テハ聖ペートルスボルグ市ニ輸送シ來リ



タル商品ヲ抵當トシ其ノ價額五分ノ四ノ割合ヲ以テ商人ニ貸出スコトナセリ此ノ銀行ノ設立ハ商品信用ノ基礎ニ基キタリ此ノ後チ政府ハ此ノ重要ナル銀行ノ要務ニ注意ヲ向ケタルハ爲替手形及ヒ支拂手形ノ發行ニテ其ノ必要ハ重ニ重量多キ銅貨ヲ運搬スルノ不便ヨリ起リタリ千七百五十七年ニハ政府ニテ五十市ノ銀行ニ此ノ要務ヲ果サシムルニ至レリ

支拂手形ノ使用法ハ大ナル成功ヲ奏シ千七百五十八年ニハ更ニ爲替手形ノ要務ヲ主トセル銀行(銅貨銀行)聖ペートルスボルグ及モスコイニ設立セラレ唯支拂手形ヲ扱フノミナラズ預金ヲモ受ケ又商人地主及ヒ製造家ノ爲替手形ニ向テ實貨ヲ支拂フコトヲナシタリ

之ト同時ニ通貨運用ノ便益ヲ圖ラン爲メ銅貨ノ代リニ紙幣ヲ發行スルノ事起リ銀行紙幣ノ發行アリタリ此ノ後千七百六十二年ペートル三世ノ世ニ於テ此ノ種ノ國立銀行ニ關スル銀行條例ノ發布アリタレトモ此レカ實施ヲ見タルハカザリ  
 第二世ノ時ニ在テ爲兌換銀行ノ設立ニヨリ其ノ目的ヲ達セラレタリ兌換紙幣ハ一時大ニ行ハレタレトモ自由ニ貨幣ト交換スルコトヲ得サリシガタメ忽チ

其價格ヲ落シ之レカタメニ商業ノ便益工業ノ運轉ヲ妨ゲ千七百八十二年ニハ商業銀行其レ自身モ廢セラレ、コトトナリタリ其後千十五年ニシテパウル第一世ノ世ニ於テ三箇ノ割引取引所ナル者設立セラレタリ第一ハ露國ノ振出人ノ手形ノ割引ヲナシ第二ハ第三ノ取引所若クハ保險會社ニテ保險シタル露國產ノ商品ヲ抵當トシテ露國ノ商人ニ貸出スコトヲナセリ商品抵當手形ノ制度ハ他ノ割引手形ヨリ能ク組織セラレ速ニ發達ヲナシ千八百六年ニ於テハ割引取引所ハ處々ノ他ノ都市ニモ設立セラレ、ニ至リタレトモ全體商業上ノ融通機關ノ發達ハ甚ダ幼稚ナリト謂フ可シ之レニ反シテ地所抵當ノ融通ハ比較的ニ速カナル發達ヲナシ遂ニ千八百十九年ニ於テ我國政府ノ信用機關ヲ改良スル所ノ斷然タル所置ハ行ハレタリ然レトモ此ノ改良モ政府及ヒ地所抵當融通機關ノミニテ他ニハ及ハサリシ

先ツ第一ニ一國經濟ニ就テ公ナル發表ヲナシ又此レヲ政府ニテ管理スルノ目的ヲ以テ國立融通機關評議會ナルモノ組織セラレタリ此ノ評議會ハ内閣總理大臣大藏大臣會計檢査院長貴族ノ代表者六人及ヒ商人ノ代表者六人ヲ以テ組織セリ



此ノ評議會ハ全國融通機關ヲ年々監督シ又此等ノ機關ニ關スル總テノ規則改正ノ評議ヲナスモノトス商業ノ融通ヲ計ラシタメ三千萬ルーブルスノ資本ヲ以テ一ノ新シキ商業銀行組織セラレタリ此ノ銀行ニテハ有利又ハ無利ノ預金ヲ預カリ露國產ノ商品ニ對シ貸出ヲナシ割引手形ノ取引ヲナセリ政府ハ政府發行ノ兌換紙幣ニ於テ已ニ其價額ノ浮沈アルヲ認メタル折ナレバ更ニ其動搖ヲ來サントトテ恐レ此ノ銀行ニ其ノ紙幣ヲ發行スルコトヲ許サザリキ

政府ハ商業上ノ融通ヲ謀ルニハ此上何事ヲモ爲サザリシ之レニ關シテハ千八百二十二年ヨリ同四十三年迄大藏大臣ノ位置ヲ占メタルカヅクリン伯ノ意見與リテ大ニ力アルナリ彼ノ意見ニテハ私立銀行ハ畢竟有害ナルモノニテ何ノ益モナク又タ國立銀行モ唯其ノ現存スル所ノ工業ニ裨益ヲ與フルノミニテ進ンテ新工業ヲ起スノ獎勵ヲ與フ可カラサルモノトナシタリ彼ハ商業上ノ融通機關ニ對シ寧ロ偏僻ノ思想ヲ有シタリ即チ其ノ思想ハ商業ニマレ工業ニマレ唯自己ノ資本ノミヲ以テ起スモノノミガ當然ニシテ且ツ安固ナリトナセリ大藏大臣ノ意見ニシテ此ノ如クナレハ當時一ノ私立商業銀行スラ起ラザリシモ亦タ怪ムニ足ラザ

ルナリ其ノ實際ノ事實ヲ取調ブレハカヅクリン伯ノ就職以前ニハ唯二箇ノ私立銀行アルノミニテ彼ガ在職中大約二十年ノ間ニ唯一箇ノ私立銀行ノ設立アリタルノミ新シキ銀行ノ續々設立セラレタルハ其ノ以後ニシテ千八百六十年ニ至ル迄ハ五十萬ルーブルスノ資本ヲ有スル銀行ハ唯二十一アリタルノミ

且ツカヅクリン伯ノ意見ノ外他ニ經濟上ノ猶ホ深奧ナル原因ノ存シタルコトヲ考ヘサル可カラズ即チ奴隸制度ハ勞働ヲ自由ニ生産ニ應用スルノ餘地ナク法律ニ依レハ商民ノ外手形ヲ以テ約束ヲ結ブノ自由ナク而シテ其ノ資本モ亦饒カナラザリシ故商業及ヒ工業ニ於ケル運動ヲ起スノ力ナカリシハ當然ナリ此ノ事情ハ國立商業銀行ノ運轉ニ依リテ明カニ見ルヲ得ベシ即チ預ケ金ハ速ニ増加シタレトモ割引手形及ヒ貸出金ノ運用ハ比較的ニ進歩ヲナサズ爲メニ他ノ銀行若クハ政府ニ貸金トシテ存スル資本額ハ頗ル莫大トナリタリ

政府ノ金融機關ニ盛ニ流レ込ム預金ノ額ヲ減セン爲メ千八百五十七年ニ於テ其ノ利息ヲ四分ヨリ三分ニ減シタリ然レトモ此ノ處置ハ恰モ株式會社熱ノ將ニ盛ンナラントスルノ時ナリシカハ預金ハ俄カニ減少シ爲メニ政府ノ金融機關ノ位



置テ危クスルニ至レリ此ノ時ニ當リテ政府ハ私立銀行設立ヲ獎勵スルコトヲ圖リ以前ノ諸銀行ハ廢セラレ其ノ代リニ千八百六十年ニ於テ帝國銀行ノ設立ヲ見タルガ其ノ詳細ハ已ニ財政ノ章ニ於テ吾人ノ論及シタル所ナリ帝國銀行ハ始メ千五百萬ルーブルスノ資本ヲ以テ設立セラレタルガ後之レヲ二千五百萬ルーブルスニ増加シタリ其ノ要務ハ二様ニシテ第一ハ國家經濟ノ要務ニシテ以前ノ政府金融機關ニ對スル負債ノ償却大藏省ニ入り來ル歳入ノ請取り及ヒ大藏省ノ種々ナル支拂ヲ司リ第二ハ商業上金融ノ區域ニテハ銀行紙幣ヲ發行スルノ權ノ外總テノ銀行ノ要務ヲ執行シタリ此ノ帝國銀行ノ設立以來三十年ノ經驗ハ此ノ銀行ハ工業及ヒ商業ノ獎勵ノタメ設立セラレタルモノナルモ唯商業ノミニ裨益ヲナシテ工業ノ裨益ヲナスニ至テハ尠ナカリシヲ示メセリ已ニ存スルトコロノ商品ノ取引ニハ便利ヲ與ヘタレトモ新シキ工業品ヲ製造スルニ必要ナル金融ニハ少シノ便益ヲモ與ヘサリキ此ノ事情ハ千八百九十四年ニ新主義ニ依テ此ノ銀行ヲ改良スルコトニナリタリ銀行ノ要務ハ名義ニ於テハ以前ト異ナルトコロナケレトモ其ノ取扱方ハ手輕クナリ工業ノ發達ヲ補助スルニ於テ其ノ働ノ區域ヲ廣

メタリ

此ノ銀行要務ノ擴張ハ從テ大ナル資本ヲ要スルコト、ナリタルカ故其ノ資本金ヲ二千五百萬ルーブルスヨリ五千萬ルーブルスニ増加セリ又其積立金モ三百萬ヨリ五百萬ニ増加セリ同時ニ帝國銀行ハ未タ其ノ紙幣ヲ發行スルノ權能ヲ得サリシ是レ露國ノ人民ハ未タ銀行紙幣ニ馴レサルガ故忽チ之レヲ以テ他ノ紙幣ニ交換スルコトヲ求ムレハナリ斯カル次第ナレハ其ノ代リニ銀行ノ流通資本ヲ増加スルノ必要アル場合ニハ金庫ニ納メ置ク所ノ金ノ價額ニ應シテ臨時紙幣ヲ發行スルヲ得ルコトト定メラレタリ

此ノ帝國銀行ノ行務ハ評議員及ヒ理事ニヨリテ掌握セラル評議會ニテハ大藏省ノ代表者ノ外ニ大藏大臣ニ依テ撰マレタル貴族及ヒ商人ノ代表者タル一名出席ス此ノ銀行ハ商業及ヒ工業ノ中心地ニ於テ九箇ノ支店ヲ有シ外ニ九十九箇ノ定マリタル出張所ト十箇ノ臨時出張所ヲ有シ尙此外ニ代理店ヲ設クル所少ナカラズ代理店ニテハ唯至テ簡短ナル業務ヲ執行スルト銀行ノ必要ナル報告ヲ集ムルコトヲナスナリ支店及ヒ出張所ニ於テハ割引手形ノ取引貸金及ヒ其他ノ行務ヲ



取扱ヒ並ニ個人若クハ會社ノ信用ヲ定ムルタメ商工農業ニ於テ老練ナル人ヲ選  
テ其ノ委員トナスナリ

帝國銀行ノ支拂運用及ヒ其ノ金庫ノ監督ハ會計検査官ノ常務トシテ執ル所又銀  
行ノ報告ハ大藏大臣ニテ内閣會議ニ呈出シ其ノ認可ヲ得ルナリ

帝國銀行ト同時ニ種々ナル公私ノ金融機關ハ起リ始メタリ千八百六十二年ニ町  
立銀行條例ナルモノ發布セラレタリ此ノ如キ銀行ハ此ノ以前現世紀ノ始メヨリ  
存在セザリシニハアラサリシト雖モ之ガ重要ナル者トナリタルハ此時ニシテ千  
八百七十年ノ前後ニ於テ此ノ種ノ銀行ノ數ハ二百九十三ニ達シタリ之ト殆ト同  
時ニ千八百六十四年ニ共立金融會社ナルモノモ其ノ運轉ヲ始メタリ千八百七十  
一年ニ於テ農業家ニ最モ重要ナル地所銀行設立ノ條件ヲ定メタリ又千八百六十  
一年ニ於テハ都市ニ於ケル地所抵當銀行起リ都市ニ於ケル不動産ニ對シ殊ニ製  
造所工場ノ如キニ對シ貸出ヲナシタリ然レトモ尤モ重要ナルハ私立ノ株式銀行  
ナリ感謝ス可キハ千八百六十四年乃至七十二年ニ於テ商業ノ復興擴張ト共ニ多  
クノ種々ナル銀行ノ設立ヲ見ル事ナリ即チ株式商業銀行三十三地所銀行十一ニ

シテ其他ノ銀行五十二アリタリ斯ノ如ク銀行ノ一時ニ増加シタルハ幾分乎其ノ  
需用ニ超過スルコトアリタレバ中ニハ投機業ニ手ヲ出ス者モ起リ其ノ結果トシ  
テ破産スルモノ尠カラサリキ此レ公私ノ金融機關ノ未タ充分堅固ナル基礎ヲ有  
セサルヲ示スナリ都市ノ公立銀行中弊害ノ暴露セラレタルモノ多ク此レニ依リ  
テ銀行ノ資本ト其ノ行務ノ責任ニ關スル法律ノ不完全ナルコト明カニナリタリ  
故ニ千八百八十三年ニ至リ其ノ缺ヲ補フ所ノ附加條例發布セラレ此ノ法律ニヨ  
リテ大藏省及ヒ市ノ官吏ハ直接ノ監督ヲ銀行ニ施シ銀行ニテ執行ス可キ業務ノ  
限度ヲ定メタリ感謝ス可キハ此事情ニヨリ銀行ノ設立ニ反動ヲ來シ千八百七十  
四年ト千八百九十四年ノ間ニ僅ニ六箇ノ株式銀行設立ヲ見千八百七十三年以來  
唯七箇ノ町立銀行ノ設立アリタルノミ其他ノ銀行ハ一モ設立アルヲ見ズ凡テ此  
ノ如キ事ハ唯以前ニ於ケル銀行失敗ノ結果ニ出タルノミトナス可カラズ其ノ重  
ナル原因ハ金融機關組織ノ發達尙幼稚ナルト小町市多數ノ經濟上ノ景況不満足  
ナルニ歸セサル可カラズ

現今ニ於ケル凡テ短期ノ融通ヲナス金融機關ノ總數並ニ此レガ取扱タル金員ノ



統計ハ千八百九十五年一月一日ノ調ニヨル左ノ如シ  
 融通機關ノ總數四百四十三ニシテ其内帝國銀行一、貸店二、株式銀行三十四、共立貸  
 金會社十八、町立銀行二百三十八ナリ  
 其ノ取引總額ハ左ノ順ニ由テ見ル可シ

- 割引手形 五億三千六百萬ルーブルス
- 割引單獨手形 四千七百萬ルーブルス
- 信用貸出金 二億八千二百萬ルーブルス
- 株式抵當ニ關スル貸出金 一億三千萬ルーブルス
- 商品抵當ニ對スル貸出金 七千三百萬ルーブルス
- 家屋及ヒ地所抵當ニ對スル貸出金 二千九百萬ルーブルス

合計 十億九千七百萬ルーブルス

總テ此ノ機關ニ屬スル資本金ハ二億八千萬ルーブルスニシテ其ノ預リ金十億九  
 千七百萬ルーブルス貸出金八千四百萬ルーブルスナリ  
 永期ノ融通ヲナス金融機關ノ數ハ至テ少數ナリ其ノ總數ハ三十六ニシテ内二箇

ハ國立ニテ即チ貴族銀行ト農民銀行ノ二ナリ株式地所銀行十、共立銀行八、町立融  
 通會社十六ナリトス其ノ資本ハ大約一億萬ニシテ預ケ金ナルモノハ殆ト皆無ナ  
 リ其利潤ハ重ニ資本金ヨリ得ルモノトス千八百九十五年一月一日ニ於ケル其ノ  
 貸出シ金ハ十八億五百萬ルーブルスニ達セリ是等ノ銀行ノ行務ハ專ラ不動産抵  
 當ニ貸出ヲナス即チ

- 地所抵當ノ貸出金 十二億六百萬ルーブルス
- 家屋抵當貸出金 六億二百萬ルーブルス
- 合計 十八億八百萬ルーブルス

ナリ資本ニ關シテハ尙ホ一ツノ重要ナル問題存ス即チ人民貯蓄金ノ集合此レナ  
 リ此ノ集合ハ國民繁榮ノ重要ナル徵候ノ一ニシテ文明國ノ未開國ト異ナル所ハ  
 先見ノ有無ニシテ貯金ノ多少ハ此ノ進歩ヲ顯スモノナリ貯金ハ同時ニ働力ノ生  
 産力ヲ増スニ最モ大ナル刺戟物ナリ貯金ト労働ト供ナフトキハ管ニ眼前ノ必要  
 ナ充タスノミナラズ又労働者ニ將來ノ安寧ヲ保證スルモノナリ故ニ政府ニ於テ  
 ハ以前ヨリ爲シ得ベキ丈ケノ力ヲ盡シテ貯蓄銀行ヲ組織スルコトヲ務メタリ露



國ニ於テ第一ノ貯蓄銀行ノ設ケラレタルハ千八百四十二年ニアリトス然レトモバルチック海近傍ニテハ已ニ千八百二十四年ニ之カ設立アリタルヲ見タリ然レトモ六十年ニ至ル迄ハ其ノ進歩ハ甚ダ緩慢ニシテ十年ノ貯蓄二百萬ルーブルスニ達セサリシ其ノ十年ノ後千八百六十二年ニ於テ其ノ金額一千二百萬ルーブルスニ達シタリ尙ホ此ノ事業ノ進歩ヲ計ランタメ各州各郡ノ收稅署町役場町立銀行及ヒ國立銀行ノ支店出張店等ニ貯蓄銀行ヲ開クニ定メタリ斯カル獎勵アルニ係ラズ貯蓄ノ金額ハ更ニ増サハルノミカ反テ以前ニ比シテ減少スルノ傾向アリタリ之レニ反シテ八十年ニ至リ露國貯蓄銀行ノ發達ニ於テ一ノ新起原開カレタリ前ノ大藏大臣ブーングユ氏(Boungue)ノ發議ニヨリ種々ノ改良ヲ行ヒ殊ニ金員ノ受ケ渡預ケ金ノ返却法等ニ關スル凡テノ不必要ナル手續ヲ省キ之ヲ以テ露國ニ於ケル一ノ活力トナサント謀リタリ感謝ス可キハ此ノ獎勵ノ結果トシテ千八百八十八年ノ終ニ於テ貯蓄金總額ハ九千五百萬ルーブルスニ達シタリ其ノ次ノ年ニ於テハ西歐諸國ノ例ニ倣ヒ貯蓄所ヲ郵便電信局製造所工場ニ置キ又千八百九十三年ニハ稅關ニモ開クコト、ナリタリ

千八百九十五年十一月一日ニ貯蓄金取扱所ノ數ハ其ノ支局ト併セテ三千八百四十ヶ所アリ其内三千四十四ハ郵便局及電信局ニアルモノトス貯蓄人ノ數ハ百八十四萬三千八百二十二人其ノ貯蓄金三億七千九十七萬七千二百三十三ルーブルスニシテ平均一人ノ貯蓄高二百三十二ルーブルスナリ千八百八十八年ニ於ケル貯蓄金取扱所ハ僅ニ七十五ニシテ其ノ貯蓄人九萬七千而シテ其ノ貯蓄高八百萬ルーブルスニ過ギザリキ斯クテ先帝即位ノ始ニ比スレハ取扱所ノ増加セルモノ五十一倍貯蓄人十九倍貯蓄金四十六倍平均一個人ノ貯蓄額ハ殆ト二倍半ノ増加ナリ是レ人民ノ富ノ増加ノ徵候ニ就テハ之ヲ説明スルノ必要ナカル可シ然レトモ露國ハ他ノ歐洲諸國ニ比スレハ尙ホ遙ニ其ノ背後ニアリトス例ヘハ英國ニ於テハ一千八百九十三年ニ於ケル貯蓄銀行ノ貯蓄總額一億二千三百萬磅即チ十餘億ルーブルスナルガ而モ其ノ人口ハ露國ノ三分ノ一ニ過キズ普國ニテハ其人口尙僅少ナルモ其ノ貯蓄金額ハ十五億ルーブルスノ上ニ出ツ佛國ニテハ一千八百九十一年ノ貯蓄金額ハ三十億フランク即チ十餘億ルーブルスナリ終リニ合衆國ニテハ其ノ人口大約露國ノ半バナナルニ貯金總額ハ一千八百九十一年ニ於テ十七億一千



三百萬弗即千大約三十五億萬ルーブルスニ達セリ

(丁) 職工條例。資本ノ集合ト是ヲ以テ生産的勞働ニ應用スル機關ノ如何ハ已ニ前段ニ掲ケタルカ如シ然レドモ勞働組織ノ問題ハ殆ト是レヨリ尙ホ重大ナルモノナリ已ニ是レ迄論シ來レル所ニ因ルモ其ノ重大ナルコトハ更ニ是レヲ説明スルノ必要アラサル可シ吾人ハ上文ニ於テ已ニ勞働者ノ人口ヲ掲ケタリ村落職工ノ數ヲ正確ニ定ムルハ殆ト爲シ難キ所ナレトモ製造場工場等ニテ働ク所ノ勞働者ハ大約百五十萬人ナリトス此數ハ鑛山及ヒ冶金工事ニ從事スル四十五萬人ヲモ含ムモノト知ル可シ

鑛山ノ勞働者ハ他ノ工場ニ働ク者ト其ノ類ヲ異ニス殊ニ其ノ過半以上ヲ占ムルウラルノ鑛山ニ從事スル者ヲ然リトス故ニ吾人ハ特ニ之レカ爲ニ數言ヲ費サヤルヲ得ズ

鑛山業ノ設立ニ就テ露國ノ當局者ハ第一之レニ要スル勞働者ヲ得ルノ問題ニ遭遇セリ而シテ容易ニ此ノ目的ヲ果スヲ得タルハ奴隸制度ノ存在ニアリタリ故ニ一千六百三十七年ニ於テ中央露國ニ於ケル鑛山ノ設立者タルマルセリス及ヒア

ケマーノ兩商人ハ政府ニ乞フテ奴隸タル農夫ヲシテ其ノ勞働ニヨリテ租稅ヲ納ムルコトヲナサシメタリ此ノ法ハ最モ廣クペートル大帝ノ時ニ行ハレタル所ナリ千七百二十七年ニ於テ奴隸ヲ有スルノ權利ヲ有セザリシ貴族及ヒ商人ハ其ノ事業ノ爲メ或ル村落ヲ買收スルノ許可ヲ得タリペートル三世ハ一時此ノ權ヲ與フルコトヲ廢シタルモ十八世紀ノ終ニ於テ再ヒ此權ヲ與ヘタリ此ノ方法ニヨリテ鑛山ノ勞働人ハ一種ノ種族ヲナスニ至ル此ノ外總テ偶然其場ニ來リ合セタル漂流人ノ如キモ又ハ帝室附屬ノ職工ト稱スルモノ即チ帝室ニ依テ殊ニ其ノ業ノタメ養成セラレタル職工モ此處ニ來ルコトアラハ其ノ事業ニ終身從事セサルヲ得サルナリ凡テ此ノ如キ職工及ヒ帝室若クハ一人ノ事業ニ附屬シタル農民ハ之ヲ其事業ニ附着シタル農民ト稱ヘ租稅ノ代ニ勞働ヲナスコトニヨリテ他ノ農民ト區分セラル、ナリ

鑛山ノ勞働人ト他ノ農民トノ間ニ此ノ如キ別アルコトハ今世紀迄モ持續シタル所ナリ千八百一年ニ於テ總テ私立鑛山事業ハ二種類ニ分タル、コト、ナリ第一ハ鑛夫地所若シクハ山林ニ於ケル補助ヲ帝室ヨリ受ケサルモノニテ第二ハ其一



若シクハ總テノ補助ヲ受クル者ナリ第二ニ屬スル農民ヲ所有民ト稱ス此レハ奴隸ト異ナレトモ一種國家所有ノ農民ナリ遂ニ千八百六十一年ニ於テ總テノ農民ノ解放アリタルガタメ鑛山ノ労働者ハ職工ト鑛夫ノ二種類ニ分タル、ニ至ル即チ第一ハ或ル一種ノ働チナサンタメ特別ナル訓練ヲ受ケタル工夫ニシテ其他ノ労働者ハ大約第二種ニ屬ス鑛夫ハ恰モ地主若クハ官有ノ農民ニ於ケルカ如キ組織ヲ受クレトモ職工ハ總テ地稅ヲ拂フニヨリテ皆ナ幾分ノ地所ヲ所有セリ而シテ地稅ヲ納ムル能ハサルトキハ工場若シクハ鑛山ニ於ケル労働ニヨリテ之ヲ更換スルヲ得ルナリ其後千八百八十七年ニ至テ地所ノ分配ハ第一種鑛業ノ職工ニハ及バザルコト、ナリ又第二種鑛業ノ全労働者モ之ヲ受ケザルコト、ナリタレハ彼等ト工場所有者トノ間ニ存スル義務的關係ハ未ダ何レノ處ニテモ解ケタリトナス可カラズ

凡テ前ニ掲ケタル所ニヨリ昔時ヨリ其ノ事業ニ關係シ祖先傳來其ノ事業ニ附着シタルウラル鑛山ノ鑛夫ハ他ノ製造所ノ労働者ト著シク其ノ趣ヲ異ニスルコト明カナリ外國人ハ我國工場ノ労働者ヲ指シテ隨所労働者若シクハ遊牧ト呼ビシ

ガ其ノ多數ハ一年引續キテ其ノ労働ニ從事スルニアラズ農業ノ多忙ナル時ハ工場ヲ離レテ農事ニ從事シ農事閑ナレハ再ヒ工場ニ歸ル彼等ハ皆ナ夫レ々々定マリタル耕地ヲ有セサルハナシ此レ生活ノ重ナル元資ニシテ工場ニテ働クハ其ノ附屬タルニ過キザルナリ此ノ如キ状態ニハ利モアレハ又害モアルナリ我國ノ労働者ハ他國ノ労働者ニ比スレハ製造家及ヒ其ノ地位ニ對シテハ稍自由ニアルモノトス一時製造所カ破産シテ閑ヂラル、コトアルモ農業ニテ生活スルヲ得レハ痛痒ヲ感スルコト少ナシ彼等ハ一年中打續キテ其ノ不潔ナル工場ノ空氣中ニ閉居スルニアラズ夏期ニ於テハ青天井ノ下ニ彼等ノ馴レタル農事ニ從事スルヲ得然レトモ此レニ反シテ彼等ハ他國ノ労働者ノ如ク一種ノ技術ニ深ク訓練スルコトヲ爲サズ容易ク一ノ事ヨリ他ノ業ニ移リ製鐵業ニ從事スルモノ忽ニシテ硝子製造ニ移リ化學業ニ働クモノニシテ忽チニシテ織物若シクハ紡績業ニ移ルコトアリ此ノ如キ機械ノ流行盛ナル時ニ係ハラズ其ノ労働ノ性質ニ影響ヲ及サマルヲ得ズ然レトモ我國工場ノ労働者ヲ以テ悉ク此ノ如キモノナリトスルハ寧ろ早計タルヲ免レズ町市ニ住シ地所ヲ有セズ又其ノ家屋ヲモ有セサル労働者ノ場合



ハ全ク之ニ異ナル加之ナラス農夫ハ屢々其子ヲ都會ニ送りテ工藝ヲ學ハシムルコトアリ此等ハ皆ナ専門ノ職工トナルナリ故ニ鑛山事業ノ外先祖代々永ク職業ニス從事ル職工モ尠カラズ工業ノ行ハル、處ニハ之ニ關シテ「アルテル」ト稱スル古代ヨリ見ル所ノ露國經濟界ノ一ノ現象存スルヲ見ル

「アルテル」ハ西歐洲ニ於ケル徒弟組織ノ如ク始メハ都會ニ起リタル者ナリ「ウイッチ」ス「民政」ノ時代ニ於テハ職工ハ總テ一ノ社會ヲナシ都會ニ住シタル者ナリ例ヘハ「ノブゴロッド」ニテハ彼等ハ皆ナ夫レ々々或ル一定ノ町ニ居住シ隨テ大工町陶工町等ノ稱アリタリ然レトモ此等ノ町々ハ徒弟組織ノ如ク嚴重ナル組織アリタルニアラズ或ル事業ニ熟練セル職工ハ新參ノ職工ヲ助ケテ之ヲ教育シタルモ之ガ爲メ徒弟トシテ支配シタルニアラザルナリ「アルテル」ガ發達シタル根據ハ職工ノ道德上及ヒ經濟上ノ組織ニアリトス「ウイッチ」ス都市ノ衰退ニ赴クヤ「アルテル」ハ或ル職工ト共ニ村落ニ移住シタリ是ニ於テ徒弟組織ノ如キ壓制ナル組織ヲ設クルハ殆トナス可カラサルコトトナリ「アルテル」ハ組合事業ノタメ都市ニ行クコトアルモ十八世紀ノ始メニ於テ人爲ヲ以テ輸入セラレタル徒弟組織ノ如キモノニ服從

スルコトヲセズ今日ニ至ルマデ露國職工ノ特別ナル組織ヲ其儘存セルナリ茲ニ明言シ置ク可キコトハ此ノ「アルテル」ノ主義ハ曾ニ製造ニノミ應用セラル、ニアラズ消費ニモ金融ニモ又保險ニモ應用セラル、ナリ消費ノミニ關シタル「アルテル」ハ甚ダ單純ナリ此レ彼等ハ其ノ消費ニ於テ各員平等ノ分配ヲ受クルニ止マル金融及ヒ保險「アルテル」ハ金融機關町立保險會社等ノ種々ノ形狀ニ及ベリ而シテ工業ノ「アルテル」ニ就テハ之ヲ四種ニ分ツテ得ベシ第一原料「アルテル」即チ其ノ仲間ニテ用ユル所ノ原料ヲ得ルノ組合ナリ第二商店「アルテル」即チ仲間共有ノ資金ヲ以テ商店ヲ開クコトナリ第三生産補助「アルテル」即チ共同シテ製造所併ニ其ノ機械ヲ得ルコトナリ第四生産「アルテル」即チ其仲間ノ工業ノ各部ヲ通シテ共同スルコトアリ

「アルテル」ハ多クノ點ニ於テ村落組合ニ似タル所アレトモ之ガ村落組合ト異ナル所ハ契約的ノ組合タルニアルナリ此ノ仲間ニ入ラントスルモノハ他ノ仲間ノ人ト同様ニ實力アルヲ要ス殊ニ他ノ仲間ヨリ受ク可キ信用ノ基本タル道德ノ資格アルヲ要ス「アルテル」ノ資本ニ寄附スルコトハ一ノ必要ナル條件ニテ殊ニ彼等ノ



事業ニ於テ資本ヲ要スレトモ之ヲ雇主ヨリ受ケサルアルテルニ於テ然リトス此資本ハ徒ニ其ノ生産ニ於テ要スルノミニアラズアルテルノ仲間ニテ受ケタル損害ヲ辨償スルタメ要スルモノナリアルテルニ加入スルニ方テ何人モ守ラサル可カラサル義務左ノ如シ彼ハ共同ノ事業ニ於テ其ノ仲間ト其ノ労働ヲ分タサル可カラズ又時々其ノ資本ニ寄附スルコトヲ爲ササル可カラズ其ノ戒規ヲ守ラサル可カラズ又他ノ仲間ニ對シ道義ヲ守ルハ勿論其ノ不幸ノ場合ニハ之ヲ助ケルコトヲ辭ス可カラズ之ニ對スル報酬トシテ彼ハ他ノ仲間ト同シク其ノ利益ノ分配ヲ受ケ病氣ノ時ノ助ヲ受ケ可シ尤モ其ノ病氣ニシテ神ノ意ニ出ル者ニアラズ暴飲若クハ不品行ニヨリテ來リタルモノニテアラハ此例ニ依ラズ其ノ利益ノ分配法ハ第一ハ其人ガアルテルノ資本ニ寄附シタル金額ニ準ジ第二ハ彼カ出勤シタル労働ノ日數ニ隨フモノトス又何人モアルテルノ事務ヲ管理センタメ其ノ役人ニ撰擧セラルコトアリ此管理ハ元ト其ノ仲間全體ニ屬スル者ニテコンミュニシ及ヒ親族ノ主義ニヨリテ立テラレタル古代ノアルテルニ於テ然リトス然レドモ多數ノアルテルニ於テハ選舉セラレタル長老ナルモノアリ仲間ニハ之ト共ニ

其助役ナルモノアリテ之カ管理ヲナス實際ノ働ニ於テハアルテルノ作用種々アレドモ其ノ根本ハ常ニ注文人又ハ雇主ニ對シ其ノ仕事ヲ正直ニ實行スルニ關シ相互ニ責任アリトス不幸ナルコトニハ相互ノ責任ナルモノガ不利益ナル結果ヲ來スコトアルナリ仲間ノ一人ノ不注意ナル過ノタメアルテル全體ハ其ノ損害ヲ負擔セサル可カラズ而シテ此ノ結果トシテ屢々奴隸ノ位置ニ墮落スルコトモアルナリ

「アルテル」ノ主義ガ我國工業ノ發達ニ於テ最モ大ナル影響ヲ及ボシタルハ疑フ可カラズ若シアルテルナルモノナカリシナラハ村落ヲ離レタル工業ハ甚ダ憐ム可キ境遇ニテアリタル可ク而シテ此ノ如キ工業ナクシテハ工場ノ労働者ハ生存ノ途ナカル可シト思惟セサルヲ得ズアルテルハ元ト一ヶ所ノ住民ニテ同業ノ職工タル者ノ組合トシテ村落ニ起リタルモノナレトモ之レカ發達シタルハ市中ニテ茲ニ其ノ根底ヲ置キタリ故ニ村落ノ人ハ市町ノ人ト交ハリ爲メニ村落市町ノ關係愈々親密ナルヲ致セリ現今ニ於テハ多クノ製造場ニ於ケル職工ハ一ノ共同酒店ヲ有スルアルテルヲ組織ス市町生活ノ漸次發達セルト交通ノ便開クルニ從ヒ



工業ハアルテル在ラスト雖モ發達シ得ルニ至レリ然レトモアルテルハ一國繁榮ノ重大ナル問題ニ就テ法律ノ干涉アル以前職工ノ利益ヲ保護スル一ノ勢力ニテアリタリ其ノ實際ヲ云ヘバカザリン二世ガ今世紀ノ始メニ於テ工場ノ所有主ガ職工ニ對シテ專横ナル取扱ヲナスニ對シ職工ヲ保護セントタメ殊ニ冶金業ニ於ケル職工ノ保護ヲナサンタメ法令ヲ發シタルコトアルノ外近時ニ至ルマデ政府ニ於テ勞働者ノ形狀ニ深ク注意スル處ナカリキ其ノ法令ノ一ハ大ナル工場ニ於テハ必ス病院ヲ設ケサル可カラサルコト其ノ工業ノ危険ヲ豫防スルコト及ヒ十二歳以下ノ小兒アルタイニ於テハ十五歳以下ヲ工場ニ入ル可カラサルコト等ニテアリタリ千八百八十八年ノ頃ニ至ルマテ他ノ工業ニ向テハ一ノ法令モ發セラレタルコトナシ茲ニ注目ス可キハ我國職工日用ノ需用ハ多ク農民ノ生活ヲナスカ故ニ甚タ僅少ナル事ナリ例ヘバモスコ州ニ於ケル職工ノ生活費ハ一ヶ月四「ルーブル」半若クハ五「ルーブル」ニ過ギズ最モ高價ノ賃金ヲ得ル職工ニテモ七乃至八「ルーブル」ニ過キズ其ノ日々ノ需要品ハ重ニアルテルニテ自ラ開ク處ノ店ニ於テ廉價ニ得ルコトナレバ至テ廉ニシテ而モ其店ハ株主ニ利息ヲ拂フコト

アルナリ工場ニテハ炊事場薪炭水及ヒ食堂ヲ給與シ其店ニテ得ル能ハサルモノハ近傍ノ農夫多ク工場ニ來テ之ヲ賣捌クコトヲナス我國製造場ニ於ケル職工ノ住家ハ比較的ニ満足ナリ此レ光線ヲ充分ニ取りタル數多ノ小室ヲ有スル數階アル大ナル建物ナルカ又ハ數階ノ家ニシテ每階中央ニ廊下ヲ設ケ左右ヲ以テ家族ノ住所トナスモノナリ其ノ薪炭ト光線ト炊事場ト廊下ハ工場ノ給與スル所其餘ハ職工自ラ之ヲ調ヘサルヲ得ズ然レドモ我が國ノ職工ハニ家族乃至四家族ノ住ム可キ庭ト邸園トヲ備ヘタル小家屋ニ住スルコトヲ好ム不幸ナルコトニハ斯ノ如キ住家ハ比較的ニ甚タ稀ナリ凡テノ點ニ於テ職工住家ノ標本トナス可キハ著者ガリヤザン道ニテモスコ州ニ近キラメンスキノ村落ニアルマリウチン氏ノ製造場ニ於テ見タルモノナリ

職工ハ凡テ此等ノ者ヲ無代若クハ極ク廉價ニテ借受クルコトヲ得然レドモ斯ノ如キ便益ハ皆其賃金ニ影響ヲ及ホスモノト知ラサル可カラズ賃金ハ皆ニ其ノ場所ニヨリ又工業ノ種類ニヨリ大ナル差異アルノミナラズ同シ工業ニテモ其ノ工場ニヨリテ之ヲ異ニセリ其ノ尤モ高價ナルハ器械ノ工場ニテ尤モ廉ナルハ機業



ノ工場ナリ露國職工ノ得ル所ハ之ヲ西歐諸洲ノ職工ノ得ル所ニ比較セハ甚ダ僅少ナリ然レドモ其ノ職工ノ生産力モ亦僅小ナリト知ラサル可カラズ一日若シクハ一ヶ月何程ト定ムルモノヨリ一事業何程ト定ムル計算法廣ク行ハル之レ事業ノ結果ニ於テモ亦タ製造家ノ利益ノ上ニ於テモ良好ナル影響ヲナスコト勿論ナレバナリ

全體ニ於テ職工ト製造家ノ關係ハ久シキ間甚ダ憂フ可キ有様ニテアリタリ一事業何程ト云フ定メアルカ爲メ職工ハ己ノ力ヲ計ルコトヲセズ晝夜之ニ從事シ又其ノ兒童女子モ工場ニ入ルコトアリタリ製造家ハ職工ノ位置ノ薄弱ナルヲ利用シテ屢之ヲ欺キ金ノ代リニ物品ヲ與フルコトヲナシ高價ナル掛ケ金ヲ以テ食品ヲ賣附ケ斯クテ職工自ラガ負擔シ難キ負債ヲ生セシメ期限前ニ解雇シ勝手ニ其ノ賃金ヲ引下ケ又不當ナル罰金ヲ課スルコト等ヲナセリ是等ノ弊害ハ遂ニ政府ノ注目スル所トナリ千八百八十二年ニ於テ大藏大臣ブライングエ氏ノ發議ニテ兒童及ヒ女子ノ勞働ニ關スル法律發布セラレタリ後千八百八十四年ト千八百九十年ニ於テ之ニ修正ヲ加ヘラレタルガ其ノ法律ニヨレバ十二歳以下ノ兒童ヲ勞働

ニ用ユルコトハ全ク禁制セラレタリ又十二歳以上十五歳ニ至ル兒童ハ晝間ノ外勞役ニ從事スルヲ得ズ其ノ勞働時間ハ四時間毎ニ休息時ヲ與ヘ日ニ八時間以上勞働セシメズ又機業工場ニ於テハ十五歳以上十七歳ニ至ル男子ト總テノ女子ハ夜業ニ從事スルヲ得ズ此ノ法則ノ甚ダ重要ナルハ女子ノ百分ノ七十七ハ機業工場ニ從事スルヲ以テ明カナリ又地下ノ勞働ニハ兒童及女子ヲ用ユルコトヲ全ク禁セリ聖ヘートルスボルグ市ノ製造家ハ千八百八十四年ニ夜業ヲ全廢スルコトヲ發議シタレトモ中央部製造家ハ熱心ニ之レニ反對シタリ職工ノ十時間以上勞働問題ニ關シテハ我が政府ニ於テハ別ニ何等ノ法令ヲモ發シタルコトヲナシ全體ニ於テ我職工ハ日中ノ勞働ヲナシ其ノ多數ノ場合ニテハ食事並ニ休息ノ時ヲ除キ大約十二時間ノ勞働ヲナス只職工ノ百分ノ二十八其ノ勞働時間此レヨリ多カ

ル可シ  
第二ノ重要ナル問題ハ職工雇入條件ニ關スル法則ニシテ此法則ハ一千八百八十六年ノ法律ニテ詳細ニ制定セラレタリ此ノ法律ニヨレハ雇入ノ契約ハ書面ニ於テセザル可カラズ而シテ職工ニ雇入ノ期限賃金ノ額及ヒ賃金拂渡ノ日限家賃湯



食物、喫茶ノ代及ヒ罰金ヲ課ス可キ場合ト其ノ金額及ヒ工場ノ規則並ニ心得ヲ掲ケタル手帳ヲ常ニ渡シ置カサル可カラズ事業ノ見積ハ工場監督ニテ定ムル處ニテ之レヲ重ナル場所ニ公示ス可シ契約期限ノ終ル迄ハ工場ノ主人ハ其ノ賃錢ヲ引下クルコトヲ得ズ又労働時間ノ數ヲ變シ之ヲ解雇スルコトヲ得ズ若シ契約ニシテ期限ナキトキ之ヲ解クニハ二週間前ニ通告スルヲ要ス請取渡ヲナスニ穀類製造品若クハ他ノ物品ヲ以テ支拂ヲナスコトハ禁セラレタリ職工ニシテ不都合ナル行爲アリタルトキハ工場ノ主人ハ之ヲ解雇スルコトヲ得然レトモ充分ノ理由ナクシテ之ヲ解雇スルコトヲナサバ職工ハ其ノ賃金ノ外損害要償ヲナスコトヲ得工場ノ主人ハ職工ノ不行狀怠慢及ヒ命令ノ違反ニ對シテ罰金ヲ課スルヲ得レトモ此ノ罰金ニハ一定ノ額アリテ之ヨリ増スヲ得ズ且ツ此ノ罰金ハ主人ノ利益トナル者ニアラスシテ職工ノ必要ヲ充タス可キ或ル特別ノ資金ニ加ヘ置カサル可カラス此法律ニ依リテ罰金ナルモノハ工場主人ノ利益タルヲ得サルコトナレハ隨テ其ノ罰金ノ高モ著シク減少セリ

此ノ職工ニ關スル法律ノ實行ヲ監督センタメ特別ナル工場監督ノ制度設ケラレ

タリ種々ノ工業ノ存スル地方ヲ各區ニ分チ一區毎ニ二名乃至數名ノ監督官ヲ置キ而シテ大藏省ニ於ケル監督官之ヲ總括ス加之各區ニ於テ地方ノ代表者製造家ノ代表者ニテ成立ツ工業委員ナルモノアリテ其ノ州ノ知事ハ之カ長タリ而シテ工場ヲ監督スルノ外製造場若シクハ工場ニ於ケル職工ノ生活及ヒ健康ヲ保護ス可キ規則ヲ制定發布スルヲ以テ其ノ職務トス鑛山ニ關シテハ其ノ地方政廳ノ技師及ヒ冶金技師ヨリ成立ツ監督官アリテ之ヲ監督ス

職工ガ或ル出來事ニヨリテ不具トナリ終身労働ニ堪ヘサル有様ニ陥リタル場合及ヒ其ノ死亡ニヨリテ其ノ家族ヲ支フルモノアラサル場合ニ應スル豫備ノ問題ハ未タ我が國ノ立法部ニ於テ十分ノ考究ヲ經サル所ナリ然レトモ已ニ千八百七十八年ニ於テ鐵道及ヒ汽船ニ於テ不慮ノ災害ニヨリ其ノ火夫若クハ他ノ雇人ニ及ホシタル損害ハ悉ク鐵道若クハ汽船ノ所有主ニテ辨償セサル可カラサルコト、定メラレタリ又農夫ノ雇人ノ場合ニ於テモ若シ雇主ノ過失ニヨリテ雇人ノ健康ヲ害スルカ如キコトアラハ雇主ハ之ヲ辨償セサルヲ得ス若シ此ノ過失ニヨリテ生涯労働ニ堪ヘサル如キ不具者ニナルカ若クハ死ニ至ルコトアラハ雇主ハ其



雇主ノ賃金ニテ支へ來リタル家族ノ生計ヲ支フルノ備ヲ爲スヲ要ス而シテ其ノ  
 辨償ノ額ハ協議ニテ定ムルカ又ハ裁判所ノ判決ニヨルモノトス此ノ規則ハ職工  
 ト工場ノ所有主ノ關係ニモ應用セラル、コト、ナリタリ然レトモ其ノ健康ヲ害  
 スルコトニシテ若シ職工自身ノ不注意ヨリ起ルカ又ハ他ノ不慮ノ出來事ニヨル  
 時ハ工場ノ所有主ハ之レヲ辨償スルノ責任ナシ此ノ如キ災害ノ備ヲナスタメニ  
 多クノ工場殊ニ冶金ノ工場ニテハ平日救助金ヲ備へ置クコトアリ斯ル救助金ヲ  
 備へ置ク可キ事ハ千八百六十一年政府ノ發意ニ依テ行ハレタリ而シテ千八百六  
 十六年ニ至リ政府ハ工場ニ於ケル救助金ニ關スル特別ナル規則ヲ發布シタリ此  
 ノ資金ハ政府ヨリ下附シタル資金ト職工ノ賃金ノ百分ノ二若クハ三ト工場ノ利  
 益金ノ幾分ヲ以テ積立チナシタルモノトス此ノ資金ヨリシテ勞働ニ堪ヘサル不  
 具者トナリタル職工及ヒ職工ノ妻子ニ扶助ヲ與フル者トス生涯ノ扶助料ヲ受ケ  
 ザル者ハ病氣若クハ其災難ノ度ニ應シ一時金ヲ與フルモノトス現今此ノ如キ救  
 濟ヲ目的トスル會社十五アリ其會員ハ九千七百七十三其ノ資金百十二萬九千、ル  
 プルスナリ職工ノ多數ハ工場ニ従事スル年月少ナク爲メニ生涯ノ扶助料ヲ得ル

能ハサルガ故彼等ガ此ノ會ニ加入スルハ此ノ會ニ入りテ廉價ナル利息ヲ以テ借  
 金ヲナスノ便ヲ得ルガ爲ナリ然レトモ扶助料ヲ得ルモノハ年々増加シ千八百八  
 十一年ニハ十三人ナリシガ千八百九十五年ニハ千三百二十九人ニ増加シタリ而  
 シテ年々支出スル扶助金額ハ今ヤ二萬五千五百、ル、三達シタリ十五ノ扶  
 助會社中其ノ十三ハウラルノ地方ニアリ一ハコーカサス又一ハオルネット州ニア  
 ルナリ此ノ外ポーランド國ニハ千八百十七年ニ設立セラレタル扶助會アリ私立  
 ノ工場ニ於テモ政府ノ工場ニ倣ヒ斯ノ如キ會ト貸金會社及ヒ貯蓄會社等續々設  
 立セラレ且ツ其ノ數ハ常ニ増加シツ、アルナリポーランド王國ニ於テハ所々ノ  
 私立鑛山ノ工場ニ向テ此ノ如キ會ヲ設クルノ認可ヲ近頃與ヘラレタリ海軍省ノ  
 造船場ニ於テハ斯ノ如キ會ハ千八百六十二年以來存在シタリ其組織大略他ノ會  
 ト異ナル所ナシ

(戊) 工業及商業教育 此ノ一章ノ終リニ資本家ニモ雇人ニモ職工ニモ亦我國全  
 體ノ工業ニモ最モ重大ナル一ノ問題殘存ス即チ工業及ヒ商業教育普及ノ問題是  
 レナリ



此ノ智識ノ普及ヲ謀ル第一ノ方便ハ凡テ職業學校ノ設立ニアリトス勿論工藝ノ智識ハ普通ノ學校ニテ授ケラレサルニアラス即チ實科中學ノ如キ郡立町立ノ學校及ヒ其ノ他ノ初等學校ノ如キ是レナリ此ノ目的ヲ以テ既ニ或ル工業ノ學科ヲ其ノ學校ノ教科中ニ加ヘラル、コトアリ又之レカ爲メ特別ナル級ヲ設ケラル、モノモアルナリ然レトモ此ノ章ニ於テハ吾人ハ專ラ特別ナル學校ノミヲ論スヘシ教育一般ノ問題ノ如キハ他ノ編ニ於テ別ニ述ルコトアルヘシ

專門ノ工業學校中露國ニ於テ第一ニ設立セラレタルハ鑛山學校ナリ是レベートル大帝カ冶金業ノ發達ヲ計ラン爲メ之ヲ獎勵シタルニ依ル一七二一年ニ於テタツチシチエフ市ノ發起ニヨリ鑛山ニ從事スル青年ノ爲メエカテリンブルグ近傍ノ工場ニ於テ所謂數學校ナルモノニツ設ケラレタリ一七二三年ニ於テ此二校ヲ合併シテ一トナシ之ヲエカテリンブルグニ移シタリ後チ之ヲウラル鑛山學校ト改稱シタルガ此ノ學校ハ今日ニ至ルマテ存セリ一七七三年鑛山學院ノ設立ヲ見ルマテハ此ノ學校ハ露國ニ於ケル唯一ノ鑛山學校ニテアリタリ此學校ニテハ化學者、冶金學者、鑛山監督者ヲ學理的及實際的ニ養成スルニアレバ中等學校ノ性質

ヲ帶ベリト云フヘシ新シキ中等鑛山學校ハ此世紀ノ七十年ニ於テ始テ設立サレタリ其第一ハエカテリンノスラフ縣リシシチヤンスクニ設立セラレタルモノニテ其次ハ南部ロシヤ石炭鑛業會社ノコルスンスクニ於ケルボリアコツフノ鑛山學校ナリ次ニ鑛山監督者、熟練ノ職工、冶金學者ヲ養成セン爲メ一ノ學校ハポーランド王國ノ石炭業ノ中心タルドンプロウオニ設立セラレタリ終ニ一八九三年ニ於テイルクーツク鑛山學校ノ設立ヲ見ル

一八九五年一月一日ニ於テ此ノ五個ノ中等鑛山學校ノ生徒ハ三百十九人ナリ此外ベルユム縣ノツルリンスク鑛山ノ近傍ニ生徒九十七人アル稍科程ノ低キ一學校存スルナリ

鑛山技師ノ養成ニハ吾人ガ前ニ述ベシ如ク一七七三年ニ鑛山學院ノ設立アルヲ見ル是レ露國ニ於ケル最モ古キ高等ナル教育場ノ一ナリ其後直ニ專門ノ學科ヲ授ケル準備ヲナサン爲メ中等學校ノ開設アリタリ後ニヨラス一世ノ世ニ於テ此ノ學院ト凡テノ鑛山技師ヲ軍隊組織ニ改メタリ一八六六年ニ於テ此ノ學院ハ再ヒ軍隊組織ヲ改メ純粹ナル文官的ノ高等ナル教育場ト爲シタリ而シテ一八八九



年ニハ其學科ヲ改メテ其ノ教育ヲ實際的トナシ殊ニ鑛山業ニ熟練セシムルコト  
 ナシタリ一八九五年一月一日ニ於ケル生徒ノ數ハ三百九人ナリ此學院ニ於テ  
 ハ鑛山雛形其他種々ノ標本ノ外ニ鑛物寶石化石器械及ヒ模形等ヲ備ヘタル大ナ  
 ル博物館アリ鑛物ノ標本ハ殊ニ夥多ニシテ中ニハ得難キ標本モアルナリ其内殊  
 ニ記載スヘキハウラルノ鑛山ニテ發見セラレタル金塊重モサニポッド八磅ノモノ  
 アリ又白金ノ十磅半ナルモノアリ此外アレキサンダー二世ノ寄附シタルトバ  
 ズハ大ナル結晶ニテ其重サ二十六磅アリ又大ナル綠玉ニテ其價凡ソ四萬三千ル  
 ーブルナルモノアリ此外金剛石ノ饒多ナル標本モアルナリ  
 斯ノ如ク鑛山學校ハ其最初エカテリンブルクニ設立セラレタル中等學校ヨリ起  
 リ高等ナル學校ノ設立ハ其五十年ノ後ニアリ工藝學校開設ノ順序ハ全ク之レニ  
 反シ第一ニ設立ヲ見タルハ高等工藝學校ニシテ一八二八年ニ工藝學院ノ名稱ノ  
 下ニ設立セラレタルモノナリ其後六十年ニ至ルマデ此學院ハ此ノ種ノ唯一ノ學  
 校ニシテ中等若クハ初等ノ工藝學校一モ設立ヲ見ザリシ此學院ハ元ト製造場及  
 ヒ工場ニ於ケル主任職工ノミヲ養成シタルガ一八四九年以後ハ技師及工藝家ヲ

モ養成シ始メタリ一八六二年ニ於テ第二ノ高等工藝學校ノ設立ヲ見ル是レ即リ  
 ガノ工藝學院ニテ其ノ學科ノ設備ハ第一ノ工藝學院ヨリ多シトス聖ペートルス  
 ホルグノ工藝學院ハ器械科及ヒ工藝科ノ二科アルノミナルニリガノ工藝學院ハ  
 農業工藝化學工學器械學建築學及ヒ商業ノ五科ヲ有ス一八六八年ニ於テ帝國モ  
 スコー工藝學校ノ開設ヲ見タリ而シテ一八八五年ニ於テハカールコッフニ於テモ  
 聖ペートルスホルグノ工藝學院ト其ノ組織ヲ同フスル工藝學院ノ設立アリタリ  
 終リニヘルシングフオールスニ於テ工藝學院ノ設立アリ生徒ノ數ヲ以テスレハ  
 リガノ工藝學院ハ第一ニ位シ其ノ生徒一千百三十名次ハ聖ペートルスホルグノ  
 學院ニテ七百八十六名モスコイ學校ハ六百五十八名カールコッフ學校ハ五百五十  
 名而シテヘルシングフオール學校ハ百五十五名合計三千三百七十七名ナリ  
 中等及初等學校ノ必要ハ一八六〇年以來工業ノ進歩ニ連帶シテ強ク感セラレタ  
 ル所ナリ鐵道學校ハ交通機關ノ章ニ於テ述べケレバ茲ニ之ヲ畧スベシモスコ  
 ーノコミサロフ工手學校チエレポウツノアレキサンダー校ノ設置及ローツノ實  
 科學校ヲ高等職業學校ニ改メタルハ此ノ時期ニアリトス一私人及ヒ會社ノ工手



學校ヲ設立セントスル企多キニヨリ政府ハ一八六九年ニ於テ工手學校設立ニ關スル第一ノ通則ヲ發布シタリ一八七二年ニ於テハ各實科學校ニ豫科トシテ特別ナル學科ヲ設クルコトトナリタリ是等ノ學科ハ大體器械工藝及ヒ化學工藝ノ二科ニテアリタリ同年ニ於テ村立郡立及町立ノ學校等ニ於テ商業科ヲ設クヘキコト、ナリタリ現今此科ノ設アル學校ハ四百六十四ニシテ其生徒一萬千人アリ此ノ如クシテ一種ノ職業教育ハ普通教育ト連帶シテ進ムコト、ナリタリ然レトモ實科學校ノ豫科ナルモノハ元ト之ニ望テ屬シタル所ヲ満足セシムルコト能ハザリシ故ニ政府ハ獨逸ニ職業學校ヲ設立スルノ議ヲ定メタリ一八八二年ブングウエ氏カ大藏大臣タルノ時帝國職業會ニ附屬スル學校ニ向テ一ノ法令ヲ發シタリ即チ此會ニ製造場、工場其他職工ノ多ク居ル所ニテ學校ヲ開クコトヲ命シタリ又其六年ノ後中等及初等ノ學科ヲ教フル工藝學校ニ對スル普通ノ教則ヲ定メタリ此外工場ニテ使雇スル職工養成ノ爲メ各種ノ業ニ對スル徒弟學校ノ設立アリタリ各種ノ工業學校ハ之ト同等ナル他ノ學校トノ連絡ヲ有スルモノアリ又然ラサルモノモアリ其維持法ハ中央政府ニテ維持スルモノモアレバ地方廳、或ル會社、或

ル町若クハ一私人ニテ維持スルモノモアリ又凡テ是等ノ合力ニヨリテ成立ツモノモアルナリ

新シキ法令ハ工藝學校ノ設立ニ著シキ獎勵ヲ與ヘタリ之レカ爲メ地方廳モ町會モ種々ノ會社モ個人モ工業學校設立ノ爲メ競フテ其資金ヲ出スニ至レリ

現今存在スル所ノ凡テノ中等及ヒ初等ノ工業及ヒ商業學校ハ左ノ種類ニ分ツテ得ヘシ

- 甲 中等教育ノ學科ヲ有スルモノ五校ニシテ其生徒ノ數 千六百八十人
- 乙 町立村立郡立學校ノ科程ヲ有スルモノ三十三校ニシテ其生徒 三千七百五十人
- 丙 初等教育ノ學科ヲ有スルモノ五十三校ニシテ其生徒 三千人
- 丁 帝國ロシヤ職業會ノ設立ニ關ハルモノ三十五校其内
  - 一 專門學校ノ生徒 二百七十人
  - 二 男女職工ノ夜學校十二其生徒凡ソ 千二百人
  - 三 製造場ニ於ケル兒童學校六其生徒 五百五十人



四 職工ノ子弟ノ爲ニ設ケタル初等學校十二其生徒 千三百人  
五 女子ノ教授場一 —————

合計 三千三百二十人

戊 工場ノ職工及ヒ其子弟ノ學校十三其生徒凡ソ 千四百五十人  
癸 航海教授所四十一其生徒 千五百人

右合計百八十校ニシテ其生徒凡ソ一萬五千人アリ之ニフキンランドニ於ケル五十校其生徒二千人ヲモ加ヘサルヘカラス

工業學校ノ外ニ多クノ町ニ於テ工業的書學校ノ設ケアリ其内最モ世ニ知ラレタルハモスコニ於ケルストローゴノフ校スチグリツツ男ノ中央校ト聖ペートルスホルグニ於ケル美術獎勵會ノ書學校ナリ但シ聖ペートルスホルグノ書學校ハ重ニ美術書ヲ教授ス

工業學校ノ陳述ヲナスニ於テ若シ女子職業學校ヲ舉クルコトナクハ其ノ陳述不完全ナリトナサザルヘカラス職業ニシテ男女共通ノモノモアレトモ男女性ヲ異ニスルコトアレバ女子ニハ女子特有ノ職業アリテ爲メニ特別ナル女子職業學校

ノ必要ヲ見ル女子職業學校ハ露國ニ於テハ種々ノ會社及ヒ種々ノ學會ノ管理ノ下ニ存スルモノ多シトス例ヘバ女子美術工藝會貴女美術俱樂部女子教育擴張會及女子愛國會ノ如キ之レナリ  
是等ノ學校ニ於テハ同時ニ一業若クハ數業ノ教授ヲナス其内最モ廣ク行ハル、モノハ、レース製造紡績麥藁細工編物造花及ヒ裁縫ナリフキンランドニ於テハ裁縫ヲ以テ主トナス尤モ凡テノ女子職業學校ニ於テハ針仕事ヲ以テ主科トナサ、ルナシ之レト同時ニ針仕事ハ凡テ普通ノ女學校ニ於ケル教科ノ一タリ現今ノ職業針仕事學校ハ左ノ三種類ニ分ツテ得可シ第一ハ普通教育ヲ受ケサル成長シタル女子學校第二ハ普通學校ニ豫科トシテ設ケラル、モノニテ第三ハ針仕事ノ特別ノ學科ヲ設ケタル女兒及ヒ成長シタル女子ノ學校ナリ此三種ノ學校總數ハ二百ニシテ其生徒凡ソ一萬人ナリ不幸ナルコトハ針仕事ニ對シ訓練ヲ受ケタル教師ノ缺乏ナルガ此ノ頃ハ特ニ此ノ教師訓練ヲ以テ目的トスル數多ノ學校設ケラレタリ

全體ヨリ云ヘハ我國ノ工業教育ハ今ヤ非常ナル好況ノ有様ニシテ年々新ニ起ル



所ノ學校甚タ多シトス是レ文部省ト地方廳ガ種々ノ方策ヲ施シテ獎勵シタルノ結果ニ因ルヲ謝セサルヲ得ス之レト同時ニ文部省ハ實際ノ事業ノ必要ニ從テ其ノ教授法ヲ改良スルコトヲ勤メ之レカ爲メニ各地ノ專門家ノ贊助ヲ仰グコトヲ勉メタリ即チ各校ニ於テ寄附者及ヒ地方議會諸會社等ノ代表者ニテ成立ツ保護會ナルモノヲ設ケ之ニ依テ各校ノ維持ニ尠ナカラサル補助ヲ與ヘタリ

之ヨリ商業學校ニ移ラント欲スルガ玆ニ第一ニ舉示スヘキハ商業學校ハ世界孰レノ國ヨリモ露國ニ於テ最モ早ク起リタルコト是レナリ第一ノ商業學校ハ一七七二年モスコビーニ於テピー、エー、デミドフ氏ノ寄附ニヨリテ成立セラレタリ氏ハ廣ク世ニ知ラレタル大工場所有主ノ子孫ニシテ氏ノ事ハ本書ニ於テ吾人ノ屢記載シタル所ナリ一七七九年此ノ校ハ聖ペートルスボルグニ移サレ其ノ規則ニ依レハ此學校ノ目的ハ生徒ニ普通教育ヲ與ヘ彼等ニ商業上ノ智識ヲ施シ官府、製造場及其他ニテ簿記方、監査役、書記等ノ諸役ヲ勤ムルニ適應ナル教育ヲ施サンガ爲ナリ故ニ此學校ノ學科ハ中等教育ノ程度ナリ一八〇四年ニマリヤフエオドロウナ皇太后ノ發起ニテモスコビートオデッサノニケ所ニ於テ斯ノ如キ學校ノ開設ア

リタリ同年ニモスコビーニ於ケル商人ノ發起ニテ應用商業學院ノ名ノ下ニ更テニ一校ヲ設ケラレタリオデッサノ學校ハ其後普通教育ヲ與フルノ學校ト變シタルカ一八四九年ニ於テ再ヒ商業學校ト變ジタリ夫レヨリ少シ以前一八四五年モスコビーニ於テ市民學校ノ名ノ下ニ初等商業學校ノ開設ヲ見ル以上ノ學校ニ就テ學ブ所ノ生徒凡ソ二千名フキンランドニテハ商業學校八校アルガ其生徒凡ソ四百二十人ナリ其後一八八〇年ニ至ルマテ一ノ新シキ商業學校起ラサリシガ後三校ノ設立ヲ見タリ一ハ聖ペートルスボルグニ於ル、ペートル校一ハモスコビーニ於ケル「アレキサンダー」校及ヒ地方商民ノ寄附ニテ成立チタル「カルコフ」學校之レナリ此外一八七二年ニ二ケ年ノ科程ナル商業科ハ實科學校ニテ設ケラル、コト、ナリ一八八五年ニハ其數三十六ニ達シタリ其後此ノ科ハ次第ニ減少シ今日ハ凡ソ二十校ニ減ジタリ簿記及商業ノ教育ヲ施ス私立ノ學校此ノ外ニ多クアリ以上述ヘタル所ニ依リテ見レハ商業教育ハ其ノ必要ニ對シ未タ十分ノ組織アラサルヤ明カナリ

先ツ第一ハリガノ工業學校ノ商業科ヲ除クノ外吾人ハ一ノ高等ナル商業學校ヲ



有セサルナリ吾人ノ有スル所ハ只中等商業學校ノミニテ初等商業學校モ亦アル  
 ナシ之ニ反シテ例ヘハ獨國ノ如キハ其初等商業學校ノ數二百餘ニシテ其生徒一  
 萬九千人アリ其中等商業學校ノ生徒凡ソ五千人ナリ佛蘭西ニ於テハ初等商業學  
 校ノ生徒九千人以太利ニ於テハ初等工業學校ノ商業部ノ生徒八千五百人アリ一  
 八九四年ニ商業學校ノ管理ヲ大藏省ニ移シタルヨリ此學校ニ一新紀元ヲ開キタ  
 リ其後視學官ナルモノ設ケラレ改革案ノ實行ニ從事シタリ其目的ハ初等商業教  
 育ヲ適當ニ施スニアリタリ是レ等ノ學校ニ於テ生徒ハ商館銀行及ヒ保險會社ニ  
 於テ書記及ヒ諸役人ニ必要ナル教育ヲ受ク可シ又單級學校ハ學資ノ缺乏ナル爲  
 ノ學年長キ學校ニ入ル能ハサル生徒ノ爲メニ設ケラル可ク稍資産アル人民ノ子  
 弟商店主及諸會社ノ役員ノ子弟ノタメニハ三級ノ學科アル學校ヲ設ケラルヘシ  
 終リニ各商店ノ雇人タル小僧書記等ノタメ西歐諸國ノ例ニ倣ヒ夜學校ノ設ケア  
 ルヘシ又中等商業學校ノ教科ハ地方ノ事情ニ應ジ之レニ適當ナル改革ヲ施サル  
 々答ナリ

工業經濟及ヒ商業ノ智識ヲ普及スルコトニ就キテハ一國商工業ノ發達ヲ助ケン

トノ目的ヲ以テ設立セラレタル種々ノ會ヨリ少ナカラサル補助ヲ受クルコトア  
 リ此ノ種ノ會ニテ最モ古キモノハ一七六五年ニ設立セラレタル帝國自由經濟會  
 ナリ其三十年後ニ於テリボニヤン經濟會ナルモノリガニ於テ設ケラレタリ又一  
 八六六年ニハ前ニ記載シタル帝國工業會ノ組織アリ一八六八年ニハ露國工業及  
 商業獎勵會ナルモノ設立セラレタリ工業會ニハ工學ノ專門ニ隨テ各科專門ノ部  
 門ヲ設ケ此會ハ自家ニ博物館ヲ有シ一八六八年以來ハ工業學校ノ設立ニ從事シ  
 其ノ學校ハ吾人が前ニ掲ケタル如ク現今三十五アリ此ノ會ハ一ノ機關雜誌ヲ有  
 シ寫眞技術ノ展覽會ヲ開キタルコトアリ一八八九年ト一八九五年ニハ工業及職  
 業教育ニ關シ其專門家ノ大會ヲ催シタリ商工業獎勵ノ目的ハ商工業ニ關スル問  
 題ノ研究之ニ關スル必要ナル材料ノ出版及有益ナル事業ノ發起ヲ獎勵スルコト  
 ニ於テ商工業ノ進歩ヲ獎勵スルニアルナリ以上掲ゲタル二會ハ孰レモ露國ノ種  
 々ノ町ニ於テ其支部ヲ設ク商工業智識普及ノ目的ヲ以テ設立セラレタル特別ノ  
 會ハモスコイ及ヒ其他市町ニ存ス鑛山工業ノ部ニ於テハ其最モ重要ナルハ時々  
 各所ニ開ク處ノ鑛主及工場所有主ノ大會ナリ又聖ペートルスボルグノ鐵業家ノ



鐵業研究所モ甚タ重要ナルモノナリ、  
 鑛業博物館ニ對シテハ吾人ノ已ニ業ニ陳述シタル所ナリ此ノ外茲ニ列舉スヘキ  
 ハモスコイニ於ケル美術及ヒ工藝博物館聖ペートルスボルグニ於ケル帝國美術  
 獎勵會ノ博物館一八七一年ニ開キタル工業會ノ應用科學博物館カールコフノ博  
 物館及ヒ各州ニ存スル所ノ美術館ナリ美術館ハ工業標本ノ展覽會ナルモノト區  
 別セサルヲ得ス此ノ如キ展覽會ハ輸出港ノ各中心ニ設ケラル、モノニテ其ノ目  
 的ハ製造家ト外國ノ商人ノ間ニ在テ商業上ノ取引ヲ助クルニアレバ茲ニ陳列ス  
 ル所ノ商品ハ專ラ内國製ノモノナリトス最始ニ此ノ種ノ展覽會ヲ設ケタルハブ  
 ヲグハレスト州ニアリテ將來ハ此種ノ展覽會ヲ東部ノ重モナル町ニ設ケサルヘカ  
 ラサルモノトセラレタリ  
 終リニ時々開ク所ノ工業展覽會ヲ掲クベシ第一ノ博覽會ハ一八二九年聖ペー  
 ルスボルグニ於テ開キタルモノナリ其ノ後一八三五年マデハ二年毎ニ聖ペー  
 ルスボルグトモスコイニ隔番ニ開キタリ一八四八年ニ於テハ聖ペートルスボル  
 グモスコイ及ワルソーノ三ヶ所ニ四年毎ニ隔番ニ開クコト、ナリタリ聖ペー

ルスボルグ及ヒモスコイノ博覽會ハ專ラ製造場及工場ノ製造品ノミヲ陳列スル  
 ガワルソーノ博覽會ハ之ニ加ヘテ農業品ヲモ陳列セリ出品人ニ與フル賞與ハ專  
 門家ノ審査官ニテ査定スル所ナリ其一地方ノ智識及經濟上ノ形狀ヲ代表スルノ  
 目的ヲ以テ地方博覽會ノ組織アリタリ例ヘハ一八八七年ニエカテリンブルクニ  
 開キタルシベリヤ及ウラル地方ノ學術工藝博覽會ノ如キ又一八九〇年ニカザン  
 ニ開キタルウオルガカマ地方及東部帝國ノ博覽會ノ如キ是レナリ地方長官ハ其  
 地方ノ工業博覽會ヲ組織スルノ命ヲ受ケタルガ此博覽會ニテハ同時ニ農產品ノ  
 陳列ヲモナス又農業博覽會ニ於テモ同時ニ工業品ノ陳列ヲモナスナリ  
 遂ニ一八九六年ニ至リニジニノゴロットニ於テ全露國工業博覽會ヲ開クコト、  
 ナリタルガ露國ハ是レニヨリテ世界文明國ノ前ニ平和ノ維持者タル「ザール」ノ賢  
 明ナル按導ニ依リ今日ニ達シタル其最モ重要ナル經濟上ノ結果ヲ彰表スルコト  
 アルヘシ

#### 第四章 交通機關



交通機關ノ善長ナル組織ハ道德及ヒ物質上一國ノ發達ニ於テ最モ重要ナル條件ノ一ナリトス交通ノ機關ハ多クノ場合ニ於テ國家ノ目的ヲ果スコトアルノ外政治上ニ於テモ甚ダ重要ナルモノナリ故ニ露國ニ於テハ他ノ國ト同シク久シキ以前ヨリ交通ノ機關ヲ一私人ノ所有ヨリ買上ケ凡テノ人ニ同様ニ之ヲ用フルコトヲ許シタリ

(甲) 水運 歴史的ニ之ヲ論スルトキハ第一ニ重要ナルハ水運即チ江河及湖ナリ我國ノ最初ノ町ハ河邊ニ沿フテ立テラレタルモノニテウヰリヤグスヨリギリキ人ニ至ルマデ江河ヲ以テ重ナル商業ノ通路トナシタリ例ヘバデニベル河ニ於ケルキーフ市ノ如キウホルクゴフ河ニ於ルノブゴロッド市ノ如キ是レナリ露國ニ於ケル政治上ノ中心ハ後モスコニ移リタルガモスコハ歐洲露國ノ凡テノ重要ナル江河ノ源ヲ發スル所ナリ吾人ハ水上ノ交通ニ於テハ甚ダ富メリト謂ハサル可カラス歐洲露國ノミニテモフィンランドヲ除キ江河湖水溝渠ノ全體ノ延長ハ十萬二千六百八十九ウエルスト(ウエルストハ凡ソ九丁四十六間)ニ達セリシベリヤニテハ水路ノ測量未ダ全キヲ告ケサルガ此ハ誰モ能ク知ル如クアメリカノ最

モ大ナル河ト其大サヲ競フ所ノ莫大ナル河之ヲ橫ギルナリ例ヘバオビ河ノ如キ其延長五千三百ウエルストニ及ベリ其支流ト合セテ航海ヲ爲シ得ヘキ所ハ一萬四千五百四十二ウエルストナリエニセーアンガラノ延長合セテ四千八百ウエルストナリレナ河ハ四千二百ウエルストノ延長アリ此邊ハ亞細亞大陸ニ於テ最モ水路ニ富ミタル地方ナリ終リニアムール河及其支流ハ航海スヘキ所七千ウエルストノ延長ニ達セリ

勿論湖河水運ノ延長ノミハ何ノ意義ヲモ有セサルナリ江河ノ方向及ヒ其水勢及ヒ河底ノ性質ヲ究ムルコト必要ナリ歐洲露國ニ於テハ江河ハ甚ダ便利ナル位置ヲ占ム其河流ハ國ノ一部ニ集注スルコトナクワルダイウラルノ高原ニ各其源ヲ發シ種々ノ方向ニ流ル、故國中一縣タリトモ一ノ河ニテ横キラレサルカ又ハ之レニ沿ハサルハナシ同時ニ我國ノ舟楫ノ便アル河流ハ他ノ國ニ於ケルモノニ比スレバ比較的ニ其延幅ヲ少クスルナリ歐洲露國ノ水運ノ便アル江河ノ延長ハ凡ソ十萬二千六百八十九ウエルストニテ之ヲ左ノ如キ種類ニ分ツテ得ヘシ

後ヲ浮ブニ適スル江河

二萬三千九百六十五ウエルスト(百分ノ二十二)



下流ニノミ向テ舟楫ノ便アル江河 一萬千二百十二ウエルスト(百分ノ十一)

下流上流共ニ舟楫ノ便アル江河 三萬四千六百十九ウエルスト(百分ノ三十七)

合計 六萬九千七百九十六ウエルスト(百分ノ七十八)

其内漚船ノ通過シ得ル江河 二萬千四十五ウエルスト(百分ノ二十)

斯クノ如ク一百平方里ニ對シテ舟楫ノ便アル水路三十八ウエルストヲ有スル割合ニテ英國佛國及獨國ニ比スレハ三乃至四分ノ一ニ過キズ歐洲露國江河ノ方向ハ我國商業ノ利益ニハ便利ナリトスヘカラス後ヲ浮ベ若クハ舟ヲ行ルベキ水路ノ内百分ノ四十ヲ占ムルウオルガ河ハ裏海ニ通スルモノニテ其百分ノ二十四ハバルチツク海ニ通セリ此レ輸出ヨリモ輸入ノ爲メ重要ナル水路ナリ而シテ其百分ノ二十二ノミ黒海及アゾフ海ニ通スルナリ  
露國江河ノ一ノ特別ナル點ハ其ノ水源ニ水ノ乏シキ爲メ其ノ流ニ變化ヲ起スコトナリ西歐ニ於ケル河流ノ多クハ山ヨリ起リ常ニ山上ニテ融解スル處ノ雪ノミニテ保タル、モノナルガ我國ノ重ナル河流ハ之レニ反シ沼若クハ湖水ヨリ起ルモノニテ夏期蒸發ノ速カナル時ニ於テハ其河流ハ涸レテ甚タ淺クナルナリ若シ

我カ國ノ河流ニシテ西歐ノ河流ノ如ク急流ナラハ猶ホ速カニ水涸ニ至ルヘキ筈ナルモ山ヨリ起ラサルカ故ニ其ノ河流甚タ緩漫ニシテ而シテ其緩漫ナルハ後ヲ浮ヘ又上流ニ向テ舟ヲ行ルニ甚タ便利ナリトス又一方ニテハ其河流ノ緩漫ナルカ爲メ其河底ノ形狀ハ航海ニ不便ヲ與フルコト多シトス最モ重要ナル河流ニテハ其ノ河底ハ砂礫ナルカ故年々變化ヲナシ屢河ノ中流ニ淺瀬ヲ起スコトアルナリ此ノ如キ淺瀬ヲ「パールスト」ト稱ヘウオルガウイツユラデニベル及ビドンノ諸河ニハ甚タ多シ露國河流ノ多數ノ河口ハ砂ニテ埋メラレ航海ニ大ナル妨害ヲナシ又其河流ニ岩石及ヒ急湍多キモノアリデニベルノ有名ナル急湍ノ如キハ其延長七十ウエルストニ及ベリ  
露國ノ河流ニテ航海ヲナシ得ヘキ時節ハ甚タ短シトス最モ重要ナルウオルガノ如キ冬期ニ結氷スルコトアルカ爲メサラトフヨリ上流ニテ航海シ得ヘキ時ハ一年ニ二百日ニ過キス南方ノ河流ニ於テモデニベルノ如キケルソンマテ航海シ得ヘキ日限ハ二百七十七日キープマテハ二百三十四日スモレンスクマテハ二百十四日ナリ



我カ河流ノ是等天然ノ不便ハ商業ノ交通ニ根本的ノ影響ヲ及ボスナリ  
 水運カ鐵道ト競争シ得ルハ其運賃ノ廉ナルニアリトス故ニ露國ノ如キ其荷物ノ  
 重ナルモノハ廉價ナル原料品ノミニテ只其運賃ノ廉ナルカ爲メ遠方ニ輸送シ得  
 ベキモノナルガ故水運ニ於ケル競争ノ條件ハ容易ナリト爲スヘシ然ルニ實際ノ  
 事實ハ全ク之ニ反シ一八八八年ヨリ一八九三年ニ至ルマデ鐵道ハ平均一ケ年ニ  
 十九億萬ブーヅノ荷物ヲ運搬セルニ水上ニテハ唯十億九千萬ブーヅヲ運送シタ  
 ルニ過ギズ即チ僅ニ其半以上ナリ水上ニテ運搬セル荷物ノ内重ナルモノハ一八  
 九二年ニテハ百分ノ六十二、一八九三年ニテハ百分ノ五十七、木材ニテ後トシテ運  
 送セルモノニ係ル此ノ理由ハ後ハ舟ヲ行ルコトヲ得サル處ニモ浮フルヲ得ルノ  
 事實アルニ依ルナリ遠方ニ運搬スヘキ穀類ノ内其四分ノ三ヨリ五分ノ四ハ鐵道  
 ニテ輸送スルモノナリ  
 斯ル事情アルカ故ニ水上運路ノ改良ハ政府ニ於テ最モ重大ナル問題ノ一ナリト  
 ス天然ニ於ケル改良即チ河身ノ改造、砂礫ニテ埋マリタル處ヲ掘リ除クコト、急湍  
 及ヒ淺瀬ノ排除等ノ如キハ非常ニ費用ヲ要スルコトナレバ到底地方廳ニテ其負

擔ニ耐ユヘキニアラス故ニ露國ニ於テハ是等ノ事業ハ凡テ中央政府ノ執行スル  
 處ナリ不幸ナルコトニハ今日マテ之レカ實行アリタル者尠ナシ我國ノ最モ重要  
 ナル水路ウオルガ河ノ如キ場合ニ於テスラ其着手セラレタルモノハ甚タ僅少ノ  
 結果ヲ生スルニ過キス歐洲露西亞ニ於ケル湖江及河流ヲ運河ニ改造シタルモノ  
 ハ延長一千七百三十三ウエルストニシテ其ノ内純粹ノ運河七百五十四ウエルス  
 トニ達セリ

而シテ是等ノ尙ホ僅少ナル人爲ノ水路ハ其始メペートル大帝ノ世ニ起リタルモ  
 ノナルガ反對ノ方向ニ在ル種々ノ海及ビ河流ヲ凡テ一二連結スル所ノ水路ナリ  
 バルチツク海ト裏海ハセクスナ河トウオルガ河ト合フ所ヨリネワ河ニ於ケル聖  
 ペートルスボルグニ達スル運河及河流ヲ含ム處ノマリヤ線ト稱スルモノニヨリ  
 テ連結セラル而シテ其ノ延長千七十一ウエルストニ及ヘリ又此レト同シ目的ヲ  
 以テモロガ河トウオルガ河ノ合フ所ヨリラドガ湖ニ達スル運河ノ延長六百五十  
 四ウエルストナルチクウイン線トツウールヨリラドガ湖ニ達スル運河延長八百  
 十四ウエルストナルウイシナウロツク線ニヨリテ達セラル、ナリウイルテンボ



ルクノアレキサンダー公爵ノ線路ハセクスナ河ヨリ北部ツキンナ河ノ支流ニ達スルモノニテ其延長六百五十ウ四エルストナルガバルチツク海、白海及裏海ノ諸地方トノ連結ヲ付クルモノナリ

バルチツク海ト黒海ノ地方ヲ連絡スル線路四ツアリ即チデニベルブーク線(一千〇十一ウエルスト)トデニベル河地方ニ屬スルピナ河ヨリニーマン河ノ支流ノ一ニ通スルオギレスク線(二百九十三ウエルスト)トベレジナ河ヨリ西部ツウイナ河ニ達スルベレジナ線(五百十五ウエルスト)トニーマン河及ウイスチユラ河ニ跨ルオーゴストス線(三百五十四ウエルスト)ノ四是レナリ終リニシベリヤニ於テ近頃オビエニセイ線ニ九百三十五ウエルストノ運河開鑿アリタルガ之レニヨリテ五千ウエルストノ延長ニ及ビチユメーンヨリイルクーツクニ達スル西部シベリヤノ全體ヲ横ギル處ノ高大ナル水路ハ開ケタリ

運河ノ改良ヲ圖ルニハ唯舟ヲ通シ得ルノミナラス其航路ヲ安全ニスルコト又必要ナリ此目的ヲ以テ航河條例ナルモノ發布セラレ舟ノ受クル損害ニ對シ責任ヲ負フ所ノ水先案内ナル者ヲ撰ビタリ一八七七年ニ於テハマリヤ線ニ於ル運送船

ヲ監督スル爲メ特別ナル水上警察ヲ設ケタリ一八七四年ヨリ八十年ニ至ル迄海軍中將ボジエチガ遞信大臣タル時河流及湖水ノ危險ノ場所アル所ニ章標ヲ立テ又運送船ノ衝突ニ關スル法律ヲモ定メタリ運河監督ハ聖ペートルスボルク、ニズニ<sup>ニ</sup>及ヒリビンスクニ於テハ水上警察ニ委任セラレマリヤフエオドロウナ皇后ノ保護ノ下ニ立チタル人命救助會ハ河岸ニ沿フテ凡ソ百五十ヶ所ノ事務所ヲ有シ常ニ入水ノ人ヲ助クルコトヲナス

終リニ水運ノ便益ヲ計ル重要ナル條件ノ一ハ運送船ノ増加並ニ改良ニアルナリ一八九〇年ノ統計ニ依レバ歐洲露國ニ於ケル運送船ノ數ハ三萬一千九百四十九艘ニテ内一千八百二十四艘ハ汽船ニテ其噸數九百二十二萬二千「ブーツ」ニ達セリ他ノ二萬〇百二十五艘ノ噸數ハ四億〇百萬「ブーツ」ナリ以前ハ蒸氣船ノ數甚ダ尠カリシガ今日ハ其ノ數斷ヘズ増加シツ、アルナリ第一ノ汽船ハ一八一三年ペールド氏ガ聖ペートルスボルクニテ造リタルモノニテ氏ハ之レガ專賣特許ヲ得造船權ヲ特有セシカ爲メ一八四九年即チ其專賣權ノ終結ニ至ルマテハ我國ノ内地ニテ航行スル汽船僅ニ十五艘ニ過キザリキ其後汽船ノ製造ハ斷ヘズ増加シツ、



アリテ八十年代ニ於テハ毎年製造セラル、モノ百艘以上ニ達セリ近來ニ至リテハ其數幾分カ減少シ七十五艘ニナリタリ漁船ノ製造増加シテ他ノ船舶ノ製造ノ減少シタル一ノ理由ハ漁船ハ其航河期ニ於テ他ノ船舶ヨリ多クノ航河ヲナスヲ得随テ多クノ荷物ヲ運搬シ得ルノ利アルカ故ナリ

(乙) 天然及人造ノ道路 交通機關ノ第二ノ要素ハ天然ノ道路ナリ露國ニ於テハ他國ニ於ケルト同シク諸種ノ道路ハ久シキ以前ヨリ存シタリ郵便道路ハ中央政府ニ附屬スルモノトセラレタリ田舎道ノ内或ル者ハ他ノ道路ヨリ重要視セラレ法律ニヨリテ保存セラル、者ナリ昔時ハ橋梁渡船場等ニ對シテハ其所有主及ヒ帝室ニ對シテ賃錢ヲ拂ハサルヲ得サリシコトナルガカザリン第二世ノ世ニ於テ此ノ法ハ全ク廢止セラレタリ此ノ女帝ハペートル大帝及ヒエリサベス女帝ト同シク道路ノ改良ニ大ナル注意ヲ用ヒタリ彼ハ道路ノ種類ヲ區別シ各種ノ道路ノ幅員ヲ定メタリ現今ニ於テ我國ノ道路ハ之ヲ分テ五種トス國道公道一縣ヨリ他ノ縣ニ通スル普通郵便道郡道及ヒ里道村道是レナリ佛國ノ例ニ倣ヒ中央政府ニテハ一等ノ道路ノミノ維持ヲナシ二等三等四等ノ道路ノ改築ハ地方議會ノ負擔

スル所ナリ里道及ヒ村道ノ維持ハ其ノ近傍ニ住スル地主及ヒ他ノ住民ノ負擔スル所タリ元來道路ノ種類別ノ必要ナルハ之ガ負擔ヲ爲スヘキ所ヲ定ムルニアリテ此ノ種類別ニヨレハ第一ハ中央政府第二ハ地方議會第三ハ村民負擔ノ三種トナル可シ

然レトモ中央政府即チ逓信省ノ負擔ニ係ル道路ハ至テ僅少ニテ其延長一萬四千「ウエルスト」ナルニ過キズ露國ノ天然道路ノ延長ハ十五萬乃至二十萬ウエルストナルヲ以テ道路ノ維持ハ實際地方議會ノ責任ニアリトナサル可カラス地方議會ノ組織全カラサル處ニテハ地方ノ委員ニテ其責任ヲ負フコト、ナセリ凡テ此道路ニ要スル費用ハ地方議會ニテ人口ニ割リテ徵收セルモノト其ノ寄附ニヨルモノナリ然レトモ地方議會ニテ道路ノ爲メニ費ス金額ハ比較的ニ僅少ナリトス三十四縣ノ地方議會ニテハ消費スルモノ三百三十三萬ルーブルスニ過キズ其他ノ十四縣トシベリヤニテ消費スルモノ僅カニ六十萬ルーブルスナリサレバ道路ノ維持ニ要スル重ナル財源ハ寄附ニ出ツルモノ多シト知ルベシ殊ニ地方議會ノ存セサル所ニ於テ然リトス三百五十九郡中地方議會ノ存スルモノ二百三十八郡



ナルカ是等ノ地方ニテハ重モニ戸數割ニテ之ヲ維持スルナリ道路ノ建築ニ對スル寄附ノ方法凡ソ左ノ如シ農民ハ勞働ヲ寄附シ地主官府及帝室ハ之ニ要スル木材ヲ其所有額ノ割合ニ於テ寄附ス而シテ木材ヲ有セサル場合ニハ之ト同額ナル金員ヲ寄附スヘシ財産ノ所有額ニ應シテ寄附ヲ募集スルハ頗ル困難ノコトナレバ地方議會ハ之ニ代フルニ戸數割ヲ以テ税金ヲ徵集スルコトヲナスナリ然レトモ現今ノ如ク地租重ク農民疲弊シテ且ツ農業割合ニ開散ナル時ニ於テハ戸數割ト勞働ノ寄附ハ孰レカ輕キヤ之ヲ定ムルコト甚タ難シ若シ公役ノ時ヲ農業ノ開散ナルトキニ定メ農民ヲシテ遠路ノ處マデ公役ノ爲メニ行クコトナカシシムルヲ得バ恐クハ勞働ノ寄附ハ却テ輕カルベシ奴隸ノ解放以前ニ於テハ數千ノ勞働者ハ數バ七千乃至八千「ウエルスト」ノ遠キニ行キテ公役ニ從事シタルコトアリタリ「バルチック」諸州ニ於ケル道路ノ善良ナルコトハ寄附ノ方法ヲ適當ニ實行セシタメ道路ノ改良ニ大ナル效力アリシ實證ト謂フ可シ斯ノ如キコトアルモ今後我國ノ道路ヲ愈改良スルニ於テハ更ニ莫大ノ費用ヲ要スルコト明カナリ

碎石ヲ以テ埋メ立テタル道路ハ猶甚タ僅少ナリ斯ノ如キ道路ヲ始メテ造リタルハ一八一七年ニアリテ現今ニ存スルモノ凡ソ二萬二千「ウエルスト」ナリ歐洲露國中ノ二十二縣ト「コーカサス」ニ於テハ更ニ斯ノ如キ道路一モ存スルナシ而シテ之レカ存スル處ニテモ一平方「ウエルスト」ニ於テ六間ノ割合タルニ過キサルナリ又他ノ一方ニ於テ露國ニ於ケル天然道路ナルモノハ其地味ノ性質ガ黒土粘土及砂ナルカ爲メ之ヲ維持スル極メテ困難ナリトス春秋二期ニ於テハ其道路大ニ頽敗シ殆ンド通シ難キ程ナリ然レトモ鐵道ノ布設猶普カラサルカ爲メ荷物ノ多クハ遠距離ノ間天然道路ニ依リ荷車ニテ運搬セサルヲ得ス六七「ウエルスト」ヨリ百「ウエルスト」ノ遠キニ達スルコトハ通常ノコトニテ其運搬費ハ一「プーヅ」一「ウエルスト」一「コベツク」ノ五分ノ一ヲ出デサルナリ故ニ天然道ヲ改築シテ之ニ碎石ヲ數クコトハ或所ニ於テハ絶對的ニ必要ナリトナサザル可カラズ勿論岩石ノ稀ナル處ニテハ碎石ヲ數クニハ大ナル費用ヲ要スヘケレトモ此ノ如キ所ニ於テハ其道路殊ニ惡シケレバ碎石ヲ數クノ必要殊ニ甚シトス現今存スル處ノ惡道ニ悉ク碎石ヲ數クトセバ其費用ハ一「ウエルスト」一萬五千「ルーブル」トシ三億萬「ルーブル」



スニ達スヘシ然レトモ之レカ爲メ荷物運搬費ノ減少道路修繕其他ニ於テ大ニ費用ヲ減スルコトアレバ數年ヲ出テスシテ此費金ヲ辨償シ得ルコト疑フ可ラス  
 政府ニ於テハ天然道路ヲ改良スルノ必要ヲ十分ニ認メ居ルカ故其資金ノ都合出來ル丈ハ常ニ之ニ碎石ヲ敷クコトヲ勤メ居ルナリ一八九二年ニ於テ南西部ノ諸縣ニ於テハ鐵道ニ達スル道路ヲ改築スルノ法令ヲ發シタリ是等ノ軍用道路ヲ改築スルニハ莫大ノ資金ヲ投セラレタリ終リニ政府ハ昨年(一八九五年)大藏大臣ノ發意ニヨリ地方議會ニテ郡役所地方裁判所等ノ費用ノ爲メ地方ヨリ徵收シタル租稅ヲ悉ク道路ノ改築ニ投入シ且ツ農業工業商業上ニ必要ナル道路ノ新築ニ用フルコトニ定メタリ斯クノ如キ結果村道費ノ如キハ前年ニ比シテ三倍ニ増加セラレタリ

(丙) 鐵道 鐵道ハ交通機關ノ第三位ヲ占ムルモノナリ之カ露國ニ起リタルハ西歐諸國佛國及獨國ト殆ント同時ニテアリタリ第一ニ建築シタルハ聖ペートルスホルクトパウロウスク間ノ鐵道ニテ延長二十五ウエルストナルカ之ハ私立ノ會社ニテ布設シタルモノニテ之ヲ開キタルハ一八三八年ニアリトス之ヲツアルス

ローセロー線ト謂フ然レトモ我國鐵道布設ノ眞ノ起原ハ聖ペートルスホルグモスコイ間ナルニコラス線ノ布設ニシテ之カ布設セラレタルハ當時ノ皇帝アレキサンダー第二世ノ部下ナル特別委員ノ手ニ依リタリ其工事ノ始マリハ一八四三年ニシテ之レカ開始セラレタルハ一八五一年ニ在リトス而シテ之カ爲メ要セシ金額ハ一億萬ルーブルス即チ一ウエルスト十五萬五千ルーブルス現今ノ爲替相場ニテハ二十萬ルーブルスノ割合ナリニコラス線ト同時ニ政府ハワルソイヨリ其國境ニ達スルワルソイヴエナ線ノ布設ニ着手シタルガ此線路ハ一八四八年ニ開始セラレタリ鐵道布設ニ要スル費用ノ莫大ナルト其利潤ノ少ナキコトハ到底一ノ私立會社ニテ布設スルコト六ヶ敷ケレハ政府ハ一八五二年再ヒ聖ペートルスホルグヨリワルソイニ達スル線路ノ布設ニ着手セリ同時ニモスコイヨリ南部露西亞ニ達スル鐵道布設ノ企アリタルガ其工事ノ進歩甚タ遅々タリシカ故クリミヤ戰爭ニ於テ露國ハ兵隊ノ運動兵器ノ輸送ニ於テ甚タ不利ノ位置ニ立チタル次第ナリ其一例ヲ云ヘバーノ大砲ト其附屬品ヲエカテリノストラフ縣ヨリセバストポールニ運送スルニ常ニ三頭曳ノ郵便馬車ヲ用ヒサルヲ得サリシ



故ニハリスノ條約批准後一八五七年ニ於テ露國大鐵道會社ナルモノ設立アリタリワルソー線路ノ布設ハ此會社ニテ着手セリ之ト同時ニモスコイヨリニジニノヴゴロツドニ達スルモノモスコイヨリクルスクヲ通シテフキオドシヤニ達スルモノノクルスク又オレルヨリリボーニ達スルモノ此三線ヲ布設スルノ許可ヲ得タリ然レトモ此會社ハ政府ガ利子ノ補給ヲ爲シタルニモ係ハラス當時計畫ノ資金ノ半ヲモ集ルコトヲ得ス漸クモスコイニジニノヴゴロツドノ二線ヲ布設スルコトヲ得タリ此會社ノ重ナル株主ハ外國ノ銀行家ニテ其工事ノ監督ハ佛國技師ノ手ニアリタルガ地方ノ經濟及ヒ其ノ狀況ニ不案内ナルカ爲メ其ノ費用非常ニ多クヲ要シタリ

此ノ大會社ノ失敗アリタルガ爲メ其後ハ私立ノ會社ニテ新シキ鐵道ヲ布設セントスルモノ殆ントナカリシカ爲メ政府ハ己ムヲ得スモスコイヨリクルスクニ達シオデツサヨリキーフニ達スル線路等重ナルモノヲ自ラ布設スルニ至レリ同時ニ政府ハ私立會社ノ設立ヲ獎勵センカ爲メ著シキ特權ヲ其私立會社ニ與フルコト、ナリタリ一八六〇年ヨリ一八六八年マデニ許可ヲ得タル鐵道會社ハ孰

レモ此特權ヲ有セサルハナシ工事ニ關スルコトニ就テハ政府ヨリ何等ノ檢束ヲ受クルコトナク鐵道線路ニ要スル器具ハ凡テ無税ニ輸入スルヲ得又其ノ線路ノ布設ニ就テハ政府官吏ガ何等ノ干涉ヲモ爲ササルコト等ハ其特權ノ著シキ點ナリトス是等ノ特權ハ政府ニテハ十分其必要ヲ感シテ附與シタルモノニテグリミヤ戰爭ノ苦キ經驗ハ其中央部ヨリ其邊境ニ達スル鐵道ノ缺乏セルコトガ一國ノ獨立ニ如何ニ危險ナルコトナルカヲ感セシメタレバ一日モ早ク鐵道ノ布設ヲ見ンコトヲ欲シタルカ故ナリ一八五九年ヨリ一八六八年ノ秋ニ至ルマデ政府ニテ布設シタルモノ二千百三十三、ウエルスト而シテ私立會社ニ特許シテ布設セシメタルモノ九千四百六、ウエルストナリ私立會社ニテ特權ヲ得タルカ爲メ其ノ利益多ク爲メニ財產ヲ造リタル人口尠カラサリシカバ資本ノ鐵道ニ向テ流込ムモノ頗ブル多カリキ或ル鐵道ノ如キハ政府ノ利益保證ナクシテ布設セラレタルモノモアリタリ遂ニ地方議會迄モ鐵道ノ特許ヲ得テ之ヲ布設スルニ至リ其工事ハ勿論諸負人ニ附托スルコトヲナセトモ其資金ニ對スル利益ノ收入ハ之レヲ受クルコトヲナセリ中ニハ斯ノ如キコトヲ企テ、多分ノ損失ヲ招キタル地方議會モア



リタレトモ之カ爲メ鐵道ノ露國中部ニ布設セラレタルモノ抄カラザリシ  
 右ノ如キ方法ハ鐵道ノ布設ニ大ナル成效ヲ奏セシガ政府ハ一八六八年ニ至リ此  
 特許ヲ與フル方法ヲ變スルコトニナリタリ先ツ特許ノ條件ヲ定メ然ル後信用ア  
 ルモノニテ之ヲ受ケントスル人々ヲ招キ大藏省ニ於テ匿名ニテ之ヲ受ケントス  
 ル條件ヲ出サシメ互ニ競争セシメ大臣ニテ其條件ヲ取調べ其最モ適當ナリト認  
 ムルモノヲ皇帝ニ上奏シテ之ニ許可ヲ與フルコトニ改メタリ此方法ハ時ノ大藏  
 大臣ルーテルン氏ノ發意ニ出テタルモノニテ此改革ノ爲メ著シク鐵道布設費ヲ  
 減スルコト、ナリタリ然レトモ此方法ハ永ク行ハレスシテ一八七〇年ニ至リ更  
 ニ其法ヲ改メ遞信大臣ハ先ツ信用アル起業家ト協商ヲ開キ其特許ノ條例ヲ定メ  
 之ヲ内閣ノ議ニ付スルコトニ定メタリ  
 是等諸種ノ特許ノ方法ニハ一ノ根本的ノ缺點アルナリ即チ鐵道布設ニ對スル株  
 式會社ノ組織ハ之レカ爲メ其實全ク虛偽ノ姿トナルコト是レナリ鐵道會社ノ發  
 起人ハ先ツ其ノ株券ヲ自己ノ手ニ所有シ其ノ工事ハ凡テ請負人ニ依托シ時ニハ  
 其ノ資金ヲ悉ク用ヒ盡シテ政府ヨリ補助ヲ與ヘサルヲ得サルコトアルカ其結果

タル唯發起人彼自己ヲ利スルニ止マルコトアルナリ是レ一八七三年ニ於テ政府  
 自ラ株式會社ノ組織ヲ其手ニ取りタルカ故ナリ然レトモ之レニテモ猶大ナル鐵  
 道請負人ノ手ヲ脱スルコト能ハザリキ種々ノ鐵道會社ヲ一時ニ組織スルノ結果  
 孰レモ其株式ヲ一時ニ市場ニ賣出スコトヲナスカ爲メ政府ノ信用ヲ害シタルコ  
 ト少カラス何トナレバ其多數ノ會社ハ政府ニテ其利子ヲ補給スルコトアレハナ  
 リ夫レ故ニ政府ニテハ一八六八年ニ於テニコラス線ノ鐵道ヲ露國大鐵道會社ニ  
 拂下ケ其金ヲ以テ各社利子ノ補給ニ充ツルコトニ定メタリ  
 政府ハ六十年代ノ終リヨリ此資金ヲ以テ最モ重要ナル會社ニハ其株券ニ對スル  
 社債ニ保證ヲ與フルコトヲ始メタリ私立鐵道會社ヲ獎勵シ鐵道資金ノ充實ヲ得  
 ンガ爲メ五十七、ウエルストナルリビニ一線ヲ除クノ外凡テノ官線ヲ私立會社ニ  
 拂下ゲタリ其拂下ケタル鐵道ニ對シテ政府ハ私立會社ヨリ其ノ株式及社債券ヲ  
 請取リタリ而シテ凡テ是等ノ資本ヲ利用センカ爲メ政府ニテハ露國鐵道公債證  
 書ナルモノヲ外國市場ニ發賣シ之ニテ實貨ヲ得ンコトヲ求メタリ一八七〇年ヨ  
 リ一八七五年ニ至ルマテ此公債ヲ五回發行シタルカ其金額ハ四億二千七百萬ル



イギリスニ達シタリ私立會社ニ對スル此ノ如キ獎勵ハ我國ニ鐵道布設ノ大ナル増加ヲ見ルコトナクシテ已ムベカラス政府ハ此外猶他ノ方法ヲ以テ之ヲ獎勵スルコトヲ勤メタリ鐵及鋼鐵ノ鐵軌及蒸氣車ノ製造ニ保護金ヲ與ヘ政府ハ其工場ニ對シ多クノ鐵器蒸氣車及列車ノ注文ヲナシタリ此ノ如クニシテ始メニハ外國後ニハ自國ノ原料ヲ用フル製造場ハ多ク設立セラル、ニ至レリ

東歐ノ戰爭ハ鐵道布設ニ對シ一時妨害ヲ與ヘタリ然レトモ一八六八年ヨリ一八八一年ノ間ニ政府ハ千二百六十一「ウエルスト」ノ鐵道ヲ布設シ私立會社ハ一萬三千五百十四「ウエルスト」ノ鐵道ヲ布設スル特許ヲ得タリ之レカ爲メアレキサンダ

一 第二世在位ノ終リニハ露西亞全國ノ鐵道ハ二萬千二百二十八「ウエルスト」ニ達セリ

又一方ニ於テハ七十年代ノ始メヨリ政府ニテ鐵道ニ關スル意見ノ或ル變化ヲ見タリ戰爭ノ時及ヒ其後ニテ鐵道ニ容易ナラサル不規則ノコトアルヲ發見シタル

カ一八七八年ニ於テ當時內閣財政部ノ長タルバラノフ伯ヲ長トナシ一ノ委員ヲ組織シタリ其要務ハ荷物運搬ノ澁滯ヲ醫シ運賃ノ不規則ヲ改メ工業商業ノ必要

ニ充分應スル様各線路ノ整理ヲ計ラン爲メ必要ナル規則ヲ設クルニアリタリ此委員調査ノ結果ハ鐵道ニ對シ政府干涉ノ度ヲ擴ムルコト、ナリタルガ己ニ一八八〇年ニ於テハ政府ハ其費用ニテ其管理ノ下ニ鐵道ヲ布設スルコトニ再ヒ改メタリ其第一ノ線路ハ一八八〇年南部ニ於ケル饑饉ノ時ニ布設セラレシエカテリ

ナ線ナリトス重要ナル線路ヲ私立會社ノ取扱ニ任シ置クノ不便ヲ深ク覺リタルカ故其重要ナル線路ヲ悉ク政府ニテ買上グルコト、ナリタリ而シテ鐵道ノ資金ハアレキサンダ一第三世即位ノ始メ以來己ニ其ノ支出ヲ止メ居タレハ大藏省ノ普通會計ヨリ之ヲ買上ルコトニ決セリ斯クノ如クアレキサンダ一第三世ノ在位中

私立會社ヨリ買上ケタル線路ハ一萬五千八百「ウエルスト」ニシテシベリヤ鐵道ヲ除キ新ニ布設シタルモノハ此ノ外一萬八百六十六「ウエルスト」アルナリ内五千五百五十八「ウエルスト」ハ政府ニテ布設シタルモノ五千三百八「ウエルスト」ハ私立會社ニテ布設シタルモノナリ故ニ我政府ハ無條件ニ鐵道ヲ國有トナスノ政策ヲ取ラス出來ル丈ケハ私立會社ヲ獎勵シタリ一八九一年ニ於ケル饑饉ノ結果ハ饑饉附近ノ地マテ鐵道ヲ布設スルノ考ヲ起セリ當時大藏省ノ金融裕カナラズ遞信省



ノ技師等ハ多ク他ノ線路布設ニ從事シ居タレバ多クノ古クシテ信用アル鐵道會社ニ此地ニ鐵道ヲ布設スルノ許可ヲ與ヘタリ又一方ニテハシベリヤ鐵道ノ布設ニ要スル費用ハ莫大ナリシカバ大藏省ハ他ノ地方ノ鐵道布設ニハ少額ノ金ノ外支出スルヲ得ス歐洲露國ノ鐵道ノ擴張ノ必要ハ以前ト同シク今日モ猶ホ切迫シ居レリ

此故ニ此數年間ハ政府ニテ一部ノ線路ヲ買上クルコトヲナシタルト共ニ多クノ大ナル鐵道會社ヲ組織スルノ許可ヲ與ヘタリ是等ノ會社ノ多クハ小會社ヲ集メテ一會社トナシタルモノニシテ己ニ存スル線路ニ加ヘテ新シキ線路ヲ布設スルノ義務ヲ有セリ其結果トシテ露國ニテハ今日國有鐵道ノ外ニ數個ノ大ナル私立鐵道會社ヲ有スルナリ英國及ビ佛國等西部歐洲ニ於ケルト同シク露國ニ於テモ小會社ハ漸次大會社ニ吸收セラル、ノ傾キアルナリ

歐洲露國(フキンランドヲ除ク)ニ於ケル鐵道布設ニ費シタル資金ハ一八九三年ノ終ニ於テ三十二億萬(紙幣)ルーブルス(即チ一ウエルスト)十萬四千ルーブルス(一キロメートル)九萬七千ルーブルスニ達シタリ我國ニ於ケル鐵道布設ノ費用ハ他ノ

國ニ比スレハ甚タ廉ナルハ左ノ表ニヨリテ明ナリ

英國	一キロメートル	二十七萬ルーブルス
佛國	同	十六萬ルーブルス
ベルギー	同	十一萬五千ルーブルス
獨國	同	十一萬六千ルーブルス
澳國	同	十一萬六千ルーブルス
合衆國	同	七萬五千ルーブルス
デンマーク	同	六萬ルーブルス
スウェーデン	同	三萬五千ルーブルス

全費用ノ内百分ノ九十四ハ政府カ其收入ヲ保證スル資本金ト政府ノ有スル公債建築公債及無條件ナル補助ニヨリテ政府ガ與ヘタルモノナリ  
露國鐵道ノ純益ハ一八八三年ヨリ一八九二年ニ至ル十年間ノ平均ニ依レバ「ウエルスト」四千百十四「ルーブルス」ナリ一八九三年ニハ四千六百四十五「ルーブルス」ニテ建築費ニ對シ四分四厘ノ利益ニ當ル我國鐵道ノ純益ハ此ノ如ク英國佛國合



衆國ヨリ多ク只獨國ノミヨリ少ナケレドモ其資本金ニ對スル責任アル拂込額ハ之レニ反シテ多クノ線路ニ於テ他ノ諸國ヨリ大ナリトス鐵道會社ノ資金ニ對スル政府ノ保證ヨリ生シタル政府ノ支出ハ多ク會社ニテ莫大ナル金額ニ達セリ一八九四年一月一日ノ計算ニ依レハ各社ガ政府ニ負フ所ハ總額十四億千五百萬ルーブルスニ達シタルガ一八九五年一月一日ニハ九億五千四百萬ルーブルスニ減シタリ

私立鐵道會社ト官設鐵道ト純益金ノ比較ハ一八九三年ノ統計ニ依レバ私立ノ方五割程多シトス(私立ハ一ウエルスト五千四百四十四ルーブルスニシテ官設ハ一ウエルスト三千五百九十四ルーブルスナリ)斯カル相異ヲ生スル原因ハ私設ノ線路ガ官設ヨリモ經濟的ニ取扱ハル、ガ爲メナルニ非ズ其費用ハ實際官設ト殆ント同シキカ又ハ幾分カ多シトスルモ其異ナル處ハ官設線ノ實收益ハ私設ニ比シテ甚タ少ナケレバナリ是レ官設線ハ比較的ニ利益ノ少ナキ處ニ布設セラレタルニ依ルナリ之レニ反シテ一八九四年大鐵道會社ニ附屬シタルニコラス、聖ペートルスボルク、ワルソー及ニジニノヴゴロッド諸鐵道ノ諸線ヲ買上ケタルカ爲メ官設

鐵道ノ收入ハ殆ント一ウエルスト千ルーブルス程増加シ爲メニ私設線ノ純益ハ殆ント五百ルーブルス減シタリ又一八九五年政府ニ於テ南西ノ線路ヲ買上ケタルガ爲メ官設鐵道ノ利益ハ私設鐵道ノ利益ニ超過スルニ至レリ  
一八九六年一月一日ニハシペリヤ鐵道ヲ除キ露國全體ニ開始セラレタル鐵道三萬六千六百九十二ウエルストナルニ至ル

(一)官設鐵道

歐洲露國

トランスカスピヤン線

二萬四百三ウエルスト

千三百四十三ウエルスト

フキンランド

二千二百四十四ウエルスト

合計

二萬三千九百九十ウエルスト(百分ノ六十五)

(二)私設鐵道

歐洲露國

一萬二千七百二ウエルスト(百分ノ三十五)

總計

三萬六千六百九十二ウエルスト

之ニ現今布設中ノ鐵道ヲ加フレバ



布設中

已ニ布設ノ許可ヲ得タルモノ

合計

官設	二千二百四十ウエルスト	四百五十七ウエルスト	二千六百九十七ウエルスト
私設	三千三百十ウエルスト	四百七十七ウエルスト	三千七百八十四ウエルスト
合計	五千五百五十ウエルスト	九百三十一ウエルスト	六千四百八十一ウエルスト
コーカサス及フキンランドヲ除ク外歐洲露國ニテハ百平方キロメートルニ對シ	鐵道ハ一キロメートル十分ノ六ナリトス之ニ對スル他國ノ比較左ノ如シ	合衆國	三、七キロメートル
		澳國	四、二キロメートル
		佛國	七、二キロメートル
		獨國	八、二キロメートル
		英國	一〇、四キロメートル
		ベルジウム	一八、四キロメートル

此表ニ依リテ見レバ歐洲ノ諸國ハ露國ニ比シテ六倍乃至三十倍ノ鐵道ヲ有スルモノト知ルヘシ此ノ如キ相異ノ存スル理由ハ勿論露西亞帝國ノ疆域莫大ナルニ

アリトス若シ鐵道ノ延長ヲ以テ之ヲ他國ニ比スルトキハ殆ント他ノ重ナル國ト同様ノ鐵道ヲ有スルコト明ナリ殊ニアルチエンゲル、ウオログダ、オロネツツノ三縣ノ如キ殆ント鐵道ノ存在ヲ見サル所(ウオログダニ八十五ウエルスト)ノ線路アルノミヲ除クトキハ線路ノ比較的延長ハ百平方キロメートルニ對シ〇、九キロメートルニ増加スヘシ

我國ノ北部ハ近年ニ至ルマテ殆ント鐵道ノ布設ヲ見サリシガ此所ノ河流ハ他ノ地方ニ比シテ早ク氷結スルヲ以テ其ノ經濟的ノ發達ニ一ノ勳カス可ラサル妨害ヲ與ヘタリ此ノ問題ハ近來ニ至リテ最モ謹嚴ナル注意ヲ引キタル處ニテ其後一ノ鐵道ニ北部ノツヴァイナ河ニ沿フテヘルムヨリコツトラスニ至ルマテ布設セラレ、コト、ナリタリ此線路ハアルチエンゲル縣ヲ以テシベリヤ鐵道ニ連絡シ鑛物ト水産ニハ富メルモ穀物ノ缺乏セル處ナル北部ヲ通過スルコトナレバ一方ニテハ前段ニ述ヘタル妨害ヲ除キ去ルコトアルモ他ノ一方ニ於テシベリヤノ穀類ヲアルチエンゲル縣ヲ通シテ世界ノ市場ニ輸出スルノ便ヲ與フルモノナリシベリヤ産ノ穀類ニ此新ナル輸出ヲ與フルコトハ歐洲露國ニ於ケル農業ニ不良ノ結



果テ來スコトナクシテ其農業ヲ漸次發達スルノ利益アリト知ル可シ同時ニ此線路ハアルチエンゲル港ノ商況ヲ回復シ北部ドヴィナ河ニ沿フテ航海業ノ進歩ヲ來タシ北部全體經濟上ノ復興ヲ來ス可シ又之ト同時ニ北部ノ外國品輸入ニ關シ最モ大切ナルバルチック海ニ連絡ヲ附クル爲メ白海ニ於ケルケミヨリ聖ペートルスボルグニ達スル線路ノ測量ニ着手セリ

他ノ一方ニ於テハ支線ノ改良ヲ計ル爲メ凡テノ手段ヲ用ヒタリ此問題ハ六十年代ノ終ニ於テ起リタルモノナレドモ之レカ實行ヲ見タルハ一八八七年ニアリトスサレド其後之ガ發達ヲ見ル至テ僅少ナリ此ノ事情ハ大藏大臣ウツテ氏ノ殊ニ注意ヲ下セシ處ナリ我國天然ノ道路ノ粗惡ナルカ爲メ鐵道及埠頭場ニ荷物ヲ運搬スルニ大ナル費用ヲ要シ其運搬費ハ一「ウエルスト」一「ブーヅ」ニ對シ一「コベツク」ノ五分ノ一ニシテ所ニヨリテハ一「コベツク」ノ上ニ出ツルコトアルト天然道路ノ修繕ニ莫大ナル費用ヲ要スルコトアレバ支線ノ建築ハ必ス運賃ノ下落ヲ來シ之ニヨリテ支線建築ノ費用ヲ償フニ足ルコト明カナルベシ

鐵道ノ布設我國ヨリ普ク天然ノ道路我國ヨリ宜シキ西歐ノ諸國ニ於テハ輕便鐵

道ハ常ニ増加シツ、アリテベルジウムニテハ全鐵道線ノ二割九分ニ達シ獨國ニテハ二割七分澳國ニテハ二割六分而シテ佛國ニテハ九分ニ達セリ露國ニテ此種ノ鐵道ノ發達ハ目下衰退ニ歸セントスル農業ヲ回復スルニ於テ最モ有力ナル法便ノ一ナルベシ

此ノ如キ考察ヨリシテ昨年ニ於テハ支線タル輕便鐵道ノ建築ニ年々一千萬ルーブルスヲ投スルノ議ヲ定メタリ目下此資金ニテ建築中ノ鐵道ハ四百四十六「ウエルスト」ニテ測量中ノ鐵道一千「ウエルスト」ニ達セリ

一八九三年ノ終ニハ「フキンランド」ト「フランス」カスピヤン線及其支線ヲ除キ我國鐵道ニ用ユル瀛艦車ハ七千三百三十三輛客車八千百十八輛ニシテ貨車十六萬輛ナリ其客車ノ座席ハ二十九萬ニシテ貨車ノ積量ハ一億五百萬「ブーヅ」ナリ故ニ米國ヲ除キ英國ニ比スレハ瀛艦車及貨車ノ數ハ其三分ノ一ニテ佛國及獨國ニ比スレバ其三分ノ二ナリ而シテ貨車ノ積量ハ更ニ之ヨリ少シトス

比較的ニ線路ノ延長短カキト流通資本ノ缺乏セルト車輛殊ニ客車ノ比較的ニ遲鈍ナルトニヨリ貨物及ヒ乗客ハ西部歐洲又ハ米國ニ比スレバ數倍少ナキナリ然



レドモ全體ヨリ之レヲ云フトキ八年々増加スルノ傾キアリ斯クテ一八八三年ニテハ乗客ハ三千八百萬人ニテ貨物ハ三十億四千五百萬ブーヅナリシガ一八九五年ニハ其乗客ハ五千萬人貨物ハ四十五億六千萬ブーヅニ達シ即チ過去十二年間ニ乗客ハ三割二分貨物ハ五割ノ増加ナリ露國鐵道ニ於ケル乗客及貨物ノ少ナキ根本的理由ノ一ハ我鐵道ノ不規則ナルコトナリ鐵道ノ經濟的及政治的必要及其專賣的性質ハ一國ノ繁榮ヲ維持スルニ於テ其取扱ヲ監督スルノ責任政府ニアリトス此點ニ於テハ賃金ノ整理ハ最モ重要ノ問題タリ鐵道ハ運搬ノ專有權ヲ有スルカ爲メ其運賃ノ高下ニヨリテ或ル貨物ノ產出ヲ増シ或ハ減スルコトヲ爲スチ得ベシ徒ニ其運賃ヲ高ムルノミナラス屢之ガ高下ヲナスコトハ一國ノ經濟ニ少ナカラサル不長ノ影響ヲ及ボスヘシ是レ國家ニ於テ其運賃ニ特別ナル注意ヲナサハル可カラサル理由ナリ

運賃ノ問題ハ鐵道ノ開始以來起リタルモノニテ我國ハ最初其ノ法ヲ佛國ニ採リタリ其要領ハ貨物ノ種類ニ對シ「ブーヅ」何程ナル最高價ノ運賃ヲ定メ各鐵道會社ニ於テハ其一定ノ運賃ノ區域内ニ於テ之ヲ定ムルコト、ナシタリ此故ニ各線

路トモ各異ナリタル運賃ヲ定メ之カ爲メ運賃ノ錯雜其極度ニ達セリ吾人カ前段ニ掲ケタルバラノフ伯ノ委員ハ七十年代ノ終ニ於テ此ノ不規律ナルコトヲ詳細ニ舉示セリ甚シキハ各線ノ役員自ラモ其運賃ノ割合ヲ知ラズ更ニ其理由ヲ解スルモノアラサリキ此ノ結果トシテ一八八九年ニ於テ鐵道會社ノ運賃ヲ定ムルハ政府ノ職權ニ歸スヘキコト、ナシ一八八八年ノ終リニ於テ大藏省内ニ特別ナル運賃部ナルモノヲ設ケタリ

此ノ運賃部ノ目的ハ第一ニ商工業ニ重課トナラス同時ニ凡テノ工業地ニ同様ノ運賃ヲ課スルコトヲ務メ第二ハ運賃ノ定律ヲ凡テノ人ニ解シ得ラル、様改ムルニアルナリ

此目的ハ或ル程度ニ於テ左ノ如キ割合ニヨリテ定メタル新シキ運賃率ニヨリテ達セラレタリト云フベシ第一ニ運賃割合ノ數ハ以前ニ比シテ著シク之ヲ減少セリ即チ其數ヲ十二種ニ分チ「ブーヅ」「ウエルスト」ニ對シ「コベック」ノ十分ノ一ヨリ其ノ百分ノ一以內ニテ之ヲ別チタリ貨物ノ種類別ニ於テハ出來ル丈其運賃ハ代價ニ準ズベシトノ原則ニヨルヘキコト、ナリタリ又必要品ノ運賃ハ出來ル丈



ケ之ヲ減シ内國製ノ貨物ハ外國製ニ比シテ廉ナル様ニ定メタリ以前ハ之ニ反シテ輸入品ハ其運賃割合ニ安ク爲メニ内國製造ノ害ヲナシ保護稅ニ對シ正反對ノ結果ヲ生シタリ又其積量ノ大ナル貨物例ヘバ穀類ノ如キハ徒ニ其運賃ヲ低減シタルノミナラス諸方ノ穀類生産地ノ間ニ存スル競争ノ條件ヲ等一ニスル様改メタリ終ニ新運賃率ニ於テハ貨物運搬ノ距離ニ應シテ其割合ヲ高下スルコトヲ定メタリ我國ノ如キ遠距離ニ貨物ヲ運搬スル處ニテハ此改革ハ甚ク重要ナリトス二百乃至五百ウエルストニ對スル割引ハ一割ナレバ二千ウエルストノ距離ニテハ三割以上ニ達セリ且此割引ハ官設及私設線ニ通シテ貨物ノ經過シタル里數ニヨリテ計算スルモノナリ此新運賃率ハ小冊子ニテ發行シタレバ何人モ貨物ノ運賃ヲ知ラント欲スルモノハ直ニ之ヲ引照スルヲ得

又乗客ノ車賃ハ歐洲ノ何ノ國ヨリモ高價ナレバ之ヲ改ムヘキ必要存セリ因テ此改革ハ一八九四年十二月一日ニ實行セラレタルカ其改革タル頗ル過激ニテ一躍シテ我國ノ車賃ヲ歐洲中最モ廉ナルモノニ改メタリ我國ニテ採用セラレタル車賃ハ區域ヲ分チ乗車ノ距離ノ割合ニ準シテ定メタルモノナリ斯クテ三百ウエル

ストノ距離ニ於テハ一ウエルストヨリ百六十ウエルストノ代ハ百六十一ウエルストヨリ三百ウエルスト迄ノ代ヨリ高價ナリ之ヨリ以上ノ車賃ハ平等ニ一區域毎ニ計算ス而シテ其一區域ノ長ハ三百一ウエルストヨリ五百ウエルスト迄ハ一區二十五ウエルストツ、漸次其距離ヲ増加シ千五百十ウエルスト以上ノ距離ニ向テハ一區五十ウエルストマデニ増加スルナリ

以上掲ケタル所ハ專ラ歐洲露國ニ於ケル鐵道ニ係ハル故アレキサンダー第三世ノ世ニ於テ我亞細亞ノ領地ニモ鐵道ヲ布設スルコトヲ始メタリ一八八〇年ニ於テ吾人が亞細亞ノ領地ニ未ダ一ウエルストノ鐵道ヲモ有セサル時英國ハ印度ニ於テ已ニ一萬四千ウエルスト以上ノ鐵道ヲ有シタリ(現今ハ二萬八千ウエルスト)以上ニ及ベリ恰モ此年ニ於テアカルデツケ遠征軍ノ軍旅ヲ整ヘツ、アルトキ裏海ノ東岸ヨリ軍用ノ爲メ二十六ウエルストノ鐵道布設ノ議起レリ而シテ十日ヲ出テサルニ其ノ着手ヲ見タルカ一年ヲ經テ此線路ハ其ノ外ニ百九十ウエルストノ長ニ達シ其後中央亞細亞ノ砂地及水利ナキ處ニ鐵道ヲ布設スルノ困難アリタルニモ係ハラス一八八八年ニハ之ヲボクハラ及サマルガンドマデ延バシタリ



ボクハラノカナテヲ通過シテトルキスタンニ達スルトランスカスピヤノ鐵道ハ元ト軍用ノ點ヨリ布設セラレタルモノナレトモ之カ爲メ中央亞細亞ト歐洲露西亞トノ連絡ヲ附ケ中央亞細亞ノ天然ノ富源ヲ開キ從來ノ商業ノ搬路ノ方向ヲ全ク一轉シ爲メニ中央亞細亞全體ニ於テハ甚ダ重大ナル變化ヲ生ゼリ又歐洲露國ヨリ輸出スル貨物ノ搬路モ之カ爲メ一變シサマルガンドハ我國ノ重ナル商業ノ中心トナリタリ終リニトランスカスピヤ鐵道布設ガ後中央亞細亞ノ經濟ニ最モ大ナル利益ヲ見タルハ我國ニ甚ダ重要ナル棉花ノ生産地ニ來シタル運搬ノ利益ナリトス

蓋シトランスカスピヤン線ノ政治上ニ對スル利益ノ如キハ茲ニ揭示スルノ必要アラサルナリ

(丁) シベリヤ鐵道 東部ニ於ケル露國文明ノ擴張ニ大ナル成功ヲ見ルベキハシベリヤ鐵道ノ布設ニ在ル疑ヒナシシベリヤ鐵道布設ノ必要ヲ感セシハアムール及ウスリ地方ノ新領地ヲ得タル後五十年ノ頃ヨリ起リタルモノナリ此ノ大工事ハ六十年ノ頃ニ於テ大佐ボクダノウイチ氏(今ハ樞密院議員)ノ計畫シタル處ナ

ルガ後シベリヤ鐵道ノ名ニテ此大計畫ハ一時歐洲露國ヨリシベリヤノ境ニ通スル小計畫ニ變更セラレシモ八十年ノ始メ全鐵道ノ連絡ガオローンブルクヲ通シウラル線ノ開始ヲ見アレキサンダー二世橋ガウチールガ河ノ上ニ架セラレ後エカテリンブルグトチーメンノ間ナル線路ノ布設ニ着手スベキ勅令ノ發セラレタル頃シベリヤ大鐵道ノ布設ニ關スル問題ハ再ヒ其頭ヲ擡ケタリウオールガ及オビノ地方ヲ連絡スルエカテリンブルグチーメン線ノ竣工ヲ見オビエニセイ河ノ運河ノ落成アリタル時ニ此ノ如キ便利ナル水運ノ存スルニ全シベリヤヲ通スル鐵道ヲ布設スルノ必要アルヤ否ヤ又初メニハ最モ重大ナル關係アル部分ニシテ鐵道ヲ布設シ後全シベリヤヲ通スル鐵道ニ及ブハ得策ニ非ルヤ等ノ問題起リタリ當時此ノ如キ多クノ設計アリタルガ此外ニシベリヤ總督ハ切ニ一地方ノミニ限ル鐵道ヲ布設センコトヲ請求シタリ

斯ノ如キ狀況ノ下ニアレキサンダー三世ガ之ニ反スル方針ヲ取リタルハ實ニ不思議ナルコトナリ若シ大鐵道線ノ布設ニ從事スルコトナク先ツ一地方ニ限ル線路ヲ布設スルコトニ着手シタランニハ此カ爲メ少ナカラサル費用ヲ要スルコ



トアルト同時ニ全シベリヤヲ通スル鐵道布設が大ニ延引シタルヤ疑ヲ入ルヘカ  
 ラズ遂ニ一八九〇年ニ於テシベリヤ鐵道ノ問題ハ最後ノ決定ヲ見ルニ至レリ  
 我政府ガ此問題ニ關シ賢明ナル意見ヲ有シタルハ殊ニ吾人ノ注意ヲ要スヘキ處  
 ナリ我政府ハシベリヤ鐵道布設ノ目的ヲ以テ歐洲露國物產賣捌ノ爲メシベリヤ  
 ニ於テ新市場ヲ開クヨリモシベリヤヲシテ出來ル丈歐洲露國ト同等ノ境遇ニ至  
 ラシメ其健全ナル經濟上ノ發達ヲ計ラシムルニアリタリ其工事ハ東西兩端ヨリ  
 同時ニ着手スヘキコトニ定メ東方ニ於テハ鐵道ノ到着點ハウラジオストツクノ  
 一市ニアレトモ西方ニテハチーメン、ミヤス及ヒオレンブルグノ三點ニ分カル、  
 コト、爲シ此三點ヨリ起リタル線路ハニズ子ウヂンスクノ近方ニテ一ニ合シミ  
 ヤスヨリ達スル線路ハ最モ短ク同時ニ最モ人口ノ稠密ニシテ且ツ最モ富饒ナル  
 地方ヲ通過スルモノニテ此ノ地方ニハチエリヤビンスク、グールガン、カインソク、  
 コリワン、アチンスク、グラスノヤルスク及ビニズネウヂンスク等ノ諸市町アルヲ  
 見ル遂ニ一八九一年三月十七日ニ於テ大シベリヤ鐵道布設ニ關スル詔勅ハ皇太  
 子今ニコラス二世ニ向ツテ發セラレタリ此ノ勅令ハ當時ウラジオストツク

ニアリタル皇太子ガ受ケタルモノニテ彼ハ自ラ鐵道工事起業式ニ臨ミ手ツカチ  
 第一ノ鉄ヲ取リタリ此大工事ノ監督ハシベリヤ鐵道委員ノ手ニアリテ其委員長  
 ハ皇太子ニテアリタルガ帝位ニ即カセラル、ニ及テモニコラス二世ハ猶ホ此  
 ノ官職ヲ繼續セラレタリ  
 此工事ヲ三期ニ分チチエリアビンスクヨリオビ河ニ至ル之ヲ西部シベリヤ區ト  
 シ中央シベリヤ區ハオビ河ヨリイルクーツクニ至ル此二區トウラジオストツク  
 ヨリグラフスカヤニ至ル線路ノ竣功トウラル鑛山トシベリヤ鐵道ノ連絡線ノ布  
 設ハ第一期ニ屬スルモノニテ其工事ハ遅クモ一九〇〇年迄ニ落成スヘキモノト  
 定メタリ第二期ハ東ハグラフスカヤヨリカーバロウスクニ至リ西ハバイカル湖  
 ヨリアムール河ノスレテンスクニ至ル工事ニテ第三期ハスレテンスクヨリカバ  
 ロスウスクニ達スル線路トバイカル湖畔ノ線路ノ建築ニアリトス  
 一八九三年ノ秋ニ於テイルクーツクニ達スル線路ヲ敷設シ得ヘキ新路ヲ發見シ  
 タルカ爲メ最初ニ計畫セラレタル時期ヨリ二年早ク即一八九八年ニハ同所マテ  
 ノ工事ヲ竣工スヘキ見積ナリ鐵道建築ニ要スル材料ハ己ニ布設シタル線路ニヨ



リテ之ヲ輸送スルノミナラスチユリム河ニ沿フテアチンスク又アンガラ河ニ沿フテイルクーツクニ至ル線路ノ各處ニ河水ヲ利用シテ運送スルコトヲ得ルナリ又ウスリ線路ノ布設ハ當初ノ計畫ヨリ早ク竣工スヘキコト、ナリ一八九六年ニハアムール河ニ達シ之ニ由テ西ノ方アンガラ河トバイカル湖ニ沿フテイルクーツクニ貨物ヲ輸送スルコトヲセス直ニ東方ヨリアムール河及バイカル湖ニ沿フテ之ヲ輸送スルヲ得ルコト、ナリタリ此ノ如キ事情ニヨリ此ノ地方ノ線路ノ布設ハ案外ニ速カニ運フコト、ナリバイカル湖近傍ニテハ一八九八年其ノ線路ノ開始ヲ見ルニ至ルベク又イルクーツク及ヒバイカル湖ニ達スル中央シベリヤ線路ノ竣工ト同時ニアムール河畔ノ線路ノ竣工モ遅クモ一九〇二年ニハ之ヲ見ルニ至ル可シ斯クテ二十世紀ノ始メニ於テ露國ハ亞細亞大陸ヲ連絡スル至便ナル交通ノ便ヲ有スルニ至ル可シ此線路ニ於テ一ノ連絡ノ缺クルハバイカル湖ニテ此ノ湖上ニハ蒸氣船ニヨリテ列車ヲ渡スコト、ナル可シ其方法ハデンマーク島ト歐洲大陸トノ渡船ノ如ク又米國ニ於ケルデトロイドニ近キヒューロン湖トイリ湖トノ海峽ヲ連絡スル渡船ノ如クナルベシ

昨年ノ秋ニ於テハ本線ノ外ニエカテリンブルグヨリチエリアピンスクニ至ル支線ノ竣工アリタリ之レカ爲メウラル鑛山線路ハ帝國ノ他線路ト連絡ヲ見ルニ至ル尙ホ此ノ支線ハ前ニ掲ゲタルペルム、コットラス線ニ連絡セラルヘシ又シベリヤ鐵道委員ノ最モ尊敬スヘキ議長ノ發議ニヨリテ本年ハ其延長九十ウエルストナル一支線ハシベリヤノ知識ノ中心タルトムスクマテ布設セラルヘシ終リニバイカル湖畔ニ於ケルイルクーツクヨリリストウニチナヤニ達スル支線モ布設ヲ見ルニ至ル可シバイカル湖同周線ノ布設ヲ見ルマデハ此ノ支線ハ本線ノ代用ヲナスヘシ何トナレバ凡テノ列車ハ悉クバイカル湖ヲ通過セザルヲ得ザレバナリ

一八九六年ノ始メニ於ケルシベリヤ線工事ノ狀況左ノ如シ

第一本線

一西部シベリヤ線 全延長 測量済 竣工 開始

一千三百二十二 一千三百二十二 一千三百二十一 一千三百二十一



- 二、中央シベリヤ線 オビ河ヨリイルクーツクニ至ル(一八九八年ノ竣工)  
一千七百三十二 一千七百三十二 七百十九(百分ノ四十二) 百十八(百分ノ六)
- 三、イルクーツクリストピリチヤナ線(竣工期一八九八年)  
六十六 六十六
- 四、バイカル線路 バイカルヨリスレテンスク(竣工一八九八年)  
千〇五十七 千〇五十七
- 五、アムール線 スレテンスクヨリカバローウスクニ至ル(竣工期一九〇一年)  
千九百五十 千二百五十(百分ノ六十四)
- 六、エズリ線 カバロウスクヨリウラジオストツクニ至ル(竣工期一八九六年)  
七百十七 七百十七 四百四十七(百分ノ六十三) 三百八十八(百分ノ五十四)
- 合計 六千八百四十八 六千四百四十四(百分ノ八十九) 二千四百八十七(百分ノ三十六) 千八百廿七(百分ノ二十六)
- 第二バイカル湖回周線  
二百九十四 百三十一(百分ノ四十四)
- 第三支線

- 一、エカテリンブルグ線(竣工期一八九六年)  
二百二十六 二百二十六 二百二十六
  - 二、トスムグ線(竣工期一八九八年)  
九十 九十
  - 第四、ベルムコツトラス線  
九百三十五 九百三十五
  - 總計 八千三百八十九 七千五百二十六(百分ノ八十九) 二千七百十三(百分ノ三十三) 二千〇五十三(百分ノ二十四)
- 之レニ依テ之レヲ觀レハ本線ニ於テ鐵軌ノ既ニ布設セラレタル處ハ三分ノ一以上ニ達シ之カ開始アリタル處ハ其四分ノ一以上ニ達セリクラスノヤルスクニ達スル線路ノ竣工ヲ見ルニ至ラハ一八九五年ノ終リニ於テハ聖ペートルズボルグヨリエニセイ河畔ニ至ル四千六百十ウエルストノ連絡アル線路ヲ有スルナリシベリヤ鐵道ノ建築費ハ是レ迄ノ精算ニ依レハ一ウエルスト三萬五千五百ルーブルスヨリ六萬四千五百ルーブルスニ至リ處々ニ於テ其ノ價ヲ異ニス建築費ノ此ノ如ク廉ナルハ第一之レカ單線ノ鐵道ナルト停車場其ノ他建築物ノ粗造ナル



ト第二ハ布設線路ノ敷地ハ多ク官有地ナルニヨルナリ  
 シベリヤ鐵道建築ノ目的ハ吾人カ前文ニ明言セシ如クシベリヤニ適當ナル經濟  
 上ノ發達ヲ與フルニアルナリ夫レ故ニ此大工事ハ他ノ諸種ノ起業ト直接ノ關係  
 ナ有シ之ニヨリテ線路ノ建築ノ便利ヲ計リ其費用ヲ減少スルノミナラズシベリ  
 ヤ全體ニ其經濟上及文化的ノ感化ヲ及ボスコトヲ期スルナリ此目的ノタメニ已  
 ニ一千四百萬ルーブルスノ大金ヲ費スコトニナリタリ此ノ諸種ノ起業ナルモノ  
 ハ第一シベリヤ線附近ニ移住民地ヲ起シ又シベリヤニ於ケル各種ノ工業殊ニ石  
 炭鐵鋼鐵セメントノ製造業ヲ獎勵シ之ト共ニ各地ノ地質上ノ測量ヲナスニアリ  
 トス又各地ニ在ル河流水運ノ發達ヲ計ルカ如キ其一目的ナリ凡テ是等ノ問題ハ  
 此書ノ他ノ編ニ已ニ多少論シ置キタレバ茲ニ之ヲ省畧スヘシ  
 交通機關ニ關シテ猶ホ數言ヲ費スヘキハ郵便電信及電話ナリ

(戊) 郵便 郵便ナルモノハ露國ニ於テハ已ニ韃靼統治ノ頃ニ現ハレタリ即チヤ  
 ムスト稱スル郵驛ノ設ケアリテ汗ノ使者ハ之ニテ相次キ又タ旅人ノ運搬モ之ニ  
 テ次キ其勞働ハヤムス近方ノ住民ノ採ル處ニテ此ノ住民ヲ名ケテヤムスチツク

ト云ヘリ此甚タ不公平ナル勞働ハ十六世紀ニ於テハ通貨ニテ支拂フコトトナリ  
 郵便ノ輸送ニ從事スル人民ハ一種ノ階級トナリ凡テノ公役ヨリ免ルコト、ナ  
 シタリ書簡ノ郵便ナルモノハ當時未タ存在セサル所ナリ漸ク十七世紀ニ於テ或  
 ル外國人ガ重ニ外國商人ノ便利ヲ圖リ又幾分カハ政府ノ便利ヲ充タサンカ爲メ  
 重ナル街道筋ニ分局ヲ設ケ之ヲ送達スルノ組織ヲ立テタリ當時ハ人民ノ大多數  
 ハ地方ニ割居シテ互ニ交通スルコトナカリシ故郵便ノ必要ヲ感セサリシナリ  
 ペートル第一世ノ世ニ至リ始メテ多クノ郵便線路ノ開始アルヲ見ル一七一八年  
 及ヒ一七二〇年ノ勅令ニヨリ政府ノ交通ノ必要ヲ充サンカタメ國中ノ重ナル市  
 町ニ郵便局ナルモノヲ設ケラレタリ而シテ政府ノ郵便ハ外國人ノ書簡郵便ト共  
 ニ政府ノ郵便局官吏ニヨリテ管轄セラレタリ其時ヨリカザリン第二世ノ時ニ至  
 ルマデ我國ノ郵便業ニ差シタル變更アラサリシ此女帝ノ世ニ於テヤムスチツク  
 ス即チ驛夫ナル一階級ハ廢セラレ郵便線路ノ傳驛所ハ何人モ其望ミ手ニ與ヘラ  
 ルコト、ナリ其運賃ハ一定ノ規則ヲ以テ旅人ニ課セラレ書簡ハ其重量ト距離  
 ニヨリテ課セララルコト、ナリタリ其後此ノ世紀ノ三十年代ニ至テ始メテ露國



郵便ノ發達アルヲ見ルニ至ル政府ニ於テ之レカ爲メ多クノ法律ヲ設ケタルガ何レモ郵便ノ交通ヲ出來ル丈ケ迅速ニ運ヒ西部歐洲ニ於ケルト同様ノ位置ニ進メンコトヲ期シタリ

郵便ノ業務ハ旅人ノ運搬ト貨物及貨幣ノ送達新聞及書簡ノ配達ニアルガ露國ニ於テハ交通機關ノ發達尙ホ幼稚ナルカ故郵便物及旅人ヲ運搬スルハ多ク馬ニヨルナリ郵便線路ニ沿ヒ郵便局ナルモノ、設ケアレトモ此ハ多ク個人會社若クハ「アルテルス」ニ貸シ渡スコトアルカ又ハ地方廳ノ扱ニ委任セラル、コトアルナリ貨物及貨幣ノ送達ハ現今漸次減少シツ、アルナリ其故ニ貨物ハ多ク錢道若クハ特別ナル運輸會社ニテ之ヲ取扱フコトアルト貨幣ハ銀行ニテ之ヲ取扱フコトアレバナリ我國ノ郵便ハ近頃ニ至ルマテハ只貨物貨幣ノ運搬ヲナスノミニテ之ヲ名宛ノ家ニ配達スルコトハ漸ク近時ニ至リ兩首府トワルソ一府ニ於テ始メタル處ニテ而モ其規則ニヨレハ百ルーブルス以上ノ價アル貨物ヲ輸送スルヲ得サルナリ又其輸送貨ハ配達先ニテ請取ルコトニ定メタリ

書簡新聞及印刷物ノ配達ハ之ニ比シ稍發達シ此ノ世紀ノ四十年代ニ於テ始メテ

市内ニ郵便局ナルモノヲ設ケ元ト書簡ノ配達ニ對シ其運費ノ細カナル規則アリタルヲ改メテ印紙ヲ用ヒ又郵便函ヲモ設ケルコトニナシタリ而シテ印紙ヲ始メテ用ヒタルハ五十年代ノ終リナリシモ印紙ヲ用ヒザル書面ノ配達ハ一八九四年マテハ許サレタリ然レトモ全體ヨリ之ヲ論スルトキハ露國ノ郵便制度ニ尙ホ改良ヲ要スヘキ點少ナカラズトス殊ニ郵税ノ如キ西歐諸國ニ比シ甚タ不廉ニテ即チ其ノ割合ハ内國郵便ニテ一、ロツト(一磅ノ三十二分ノ一)ニ對シ七、コベツクスナリ然レトモ其重ナル困難ハ書簡配達ノ大ニ遲延スルコトニテ是レ鐵道ノ便ナキト郵便局ノ不足ナルニ依ルナリ一八九三年露國ニ於ケル郵便電信局ハ六千九百十個此外フィンランドニ五百七十六アリナリ其隣國タル獨國ニハ二萬八千英國ニハ二萬二千アリ合衆國ニハ凡ソ七萬アルナリ

此郵便局ノ不足ハ郵便物ノ數ニモ大ナル影響ヲ及ボセリ一八六五年ト一八九二年ノ間ニ我國ノ郵便物ハ凡ソ十一倍増加シタルモ露國全體ニ於テハ一年一人ニ就キ四個ノ郵便物アルニ過キズ之ニ反シ西歐諸國ノ郵便物ハ左ノ如ク多クアルヲ見ル



英國  
瑞國  
獨國  
佛國  
澳國

一人ニ付キ 七十七

七十

五十九

五十二

三十

何レモ我國ニ比シテ七倍乃至二十倍ノ多キヲ見ルナリ  
然レトモ此相異ノ重ナル原因ハ必ス我國ニ普通教育ノ比較的ニ普ネカラザルニ  
依ルコト明ナリ

郵便交通ノ發達ヲ獎勵センタメ一八七〇年ニ於テ地方議會ニ地方郵便ナルモノ  
ヲ開クノ權ヲ與ヘタリ此郵便ハ中央郵便局ノ不足ヲ補ハンタメ未タ郵便局ノ設  
ケアラサル遠方ノ郡村ニ郵便局ヲ設ケ且ツ未タ郵便線路ノ開ケサル所ニ之ヲ開  
クニ在リトス此地方郵便ニハ印紙ヲ發行シ又中央政府ノ郵便アラサル道路ヲ用  
フルノ權ヲ許ス一八九二年ニ於テ地方郵便ハ三百五十九郡ノ中百五十郡ニ開始  
セラレ其後毎年凡ソ百個ノ新局ヲ設ケタリ一八八九年ニハ地方郵便物が六百七

十萬六千九百ナリシカ其三年後ニ至リ七百二十八萬五千四百ニ増加セリ

一八九四年ニ至リ更ニ村落郵便ナルモノヲ設ケ村會ノ認可ヲ經テ村役場ニテ印  
紙ノ發賣并ニ私信ノ配達ヲナスコトヲ許シタリシベリヤ地方ニ於テ郵便ノ發達  
ハ殊ニ其必要ヲ見ル所ニテシベリヤニテハ交通ノ便乏シキガタメ其ノ移住民ハ  
多クノ費用ヲ損シテ其ノ用事ノタメ自ラ歐洲露西亞ニ歸ルコトアルナリ故ニ一  
八九五年ニ於テシベリヤ鐵道委員ハシベリヤ鐵道ノ停車場及其近傍ノ村役場ニ  
テ郵便ノ受付配達等ノ事務ヲ取扱フヘキ規則ヲ定メタリ

(己) 電信 露國ニ於テ電信ハ他ノ歐洲諸國ト同シク官設ニ係ル其管理ハ郵便ト  
同シク政府ノ取扱フ所ナリ勿論私設ノ電信ナキニアラス是等ノ電信線ハ自家自  
用ノ外他人ノ依頼ニ應ズルコトアレトモ政府ノ管理ヲ受クルモノナリ

此世紀ノ三十年代ニ於テ電信ハ既ニ露國人ナルシユルリング男及ヒヤコビー氏  
ハ獨國ダツテンゲンノガウス及ウーベルノ兩氏ト同時ニ之ヲ發明シタル所ナル  
ガ當時聖ペートルスボルグトワルソーノ間ニ架シタルハ光線電信ニテアリキ露  
國ニ於テ初メテ眞ノ電信ノ試驗ヲナシタルハシユルリング男ニテ千八百三十二



年ニアリトス其後ヤコビー氏ハ聖ペートルスボルグニ於ケル帝室ノ冬宮ト參謀本部ノ間ト及ヒ聖ペートルスボルグトサールスコエセーロー及ヒペートルホフノ間ニ電線ヲ架シタリ當時電線ハ電柱ノ上ニ架セラルルニアラズシテ地上ニ敷カレ其線大ニシテ費用亦莫大ナリシ且ツ電信機ハ今日ノ器械ト異ニシテ針ヲ以テ時計盤ノ如キモノ、上ニアル字ヲ指示スルモノナリシ後千八百五十年ニ至リ政府ハニコラス鐵道線路ニ沿フテ新器械ヲ以テ電線ヲ電柱ノ上ニ架シタリ而シテ初メテ之レヲ公衆ノ用ニ供シタルハ千八百六十三年ニアリトス夫レヨリ以來我國ノ電信ハ長足ノ進歩ヲナシ千八百九十三年ノ初メニ於テハ線路ノ延長十二萬千ウエルスト電信線ノ延長二十九萬三千ウエルストニ於テモ歐洲ニ於テ第一位ヲ占メタリ然レトモ之レヲ人口ニ比較スルトキハ電信ヲ使用スルモノハ一年間百人ニ付十二信ニ過キス之ヲ他ノ歐洲諸國ニ比スレバ英國ハ我國ノ十三倍佛國ハ十倍獨國ハ五倍、奧國ハ四倍半、伊國ハ二倍半ナリ

我國電信料ハ他國ト同様ノ割合ヲ以テ定メタリ一信ノ料ハ十五コベツクスニシテ歐洲若クハ亞細亞露國ノ内ニテハ一字五ベツクスノ割合ヲ以テ之ニ加ヘラル

ナリ若シ歐洲露國ヨリ亞細亞露國ニ電信ヲ送ルカ若クハ亞細亞露國ヨリ歐洲露國ニ送ルトキハ一字ニ付キ十コベツクスヲ加フ市内電信ノ場合ニテハ一字一コベツクヲ加フ萬國トノ電信料割合ハ其ノ國々ニヨリテ之レヲ異ニセリ

萬國郵便及ヒ電信同盟ニ對シ露國ノ位置ハ爰ニ之ヲ揭ケサルガ此事ハ既ニ露西亞帝國ノ外交ノ編ニ於テ論ジタル所ナリ

(庚) 電話 終リニ電話ハ千八百八十一年以來電信ト同シク官府ニテ設ケタリ千八百九十六年ノ初メニ於テ政府ニテ架設シタルモノハ重ナル四十三ノ都會ニ於テス是レト同時ニ大都會ナル聖ペートルスブルグ、モスコ、オデツサ、ワルソー、リ、イガー及ヒロツツノ如キ所ニハ私設電話ノ許可アリ右ノ都會ノ電話ハ米國ノブレキウエル會社ノ架設スル所ニシテ他ノ五箇ノ都會ハ他ノ會社ニテ之レヲ架設セリ

電話ハ官ノ專有ニ係ルカ故ニ其ノ電話料ハ甚タ高價ニシテ百ルーブルスヨリニ百ルーブルスノ間ニアリトススウキーデンニテハ三十乃至四十五ルーブルスニ過キズ電話料ニ於テ此ノ如キ相違ヲ生スルノ理由ハ我が邦ニ於テ電話ヲ用フル



者ハ人口ニ比シテモ絶對的ニ僅少ナルニアリ

(辛) 交通機關ニ關スル教育 此章ヲ終ハルニハ交通ノ種々ノ機關ノ建築、改良、取扱ニ要スル技師職工ヲ養成スル教育機關ニ關シ數言ヲ費サ、ルヲ得ズ

千八百十年ニ於テ、遞信省ノ初メテ設置アリタルト同時ニ土木技師養成ノ爲ノ遞信學校ナルモノヲ設立シタルガ此ノ世紀ノ六十年ニ至ルマデ此ノ學校ハ陸軍學校ノ一部ニテアリタリ其ノ故ハ我邦ニテハ土木技師ハ陸軍組織ノ一部分ニテアリタレバナリ今日ニ至リ此ノ學校ハ文官的ノ組織トナリ千八百七十七年ニ至テ其ノ設立者ノ名ニヨリ「アレキサンダー」第一世土木學校ト名ツケラレタリ此學校ニハ五種ノ學科アルガ千八百九十四年此所ニテ教授ヲ受クル生徒四百九十八アリ此校ニハ現皇帝ノ名ヲ負フ所ノ一ノ寄宿舍アルナリ

此校ノ卒業生ハ土木技師ノ免狀ヲ得此ノ免狀ハ他ノ工業學校ノ教育ヲ受ケタルモノニシテ土木工事ニ從事スルモノニモ與ヘラル、ナリ此校ニハ有益ナル書籍ヲ供フル圖書館アルノ外器械、器具、船等ノ多クノ雛形備ヘアリ

既ニ此世紀ノ六十年ノ終ニ當リテ我邦鐵道ノ發達ト共ニ初等鐵道學校ナルモノ

設ケラレ總テノ線路ニ於テ「ウエルスト十五ループルス」ノ割合ヲ以テ其ノ學校維持ノタメ支出スルコト、ナセリ千八百七十六年ニ於テ鐵道ノ技手機械師等養成ノ爲メ工業鐵道學校ヲ設置スルノ法令ヲ發セリ

現今此種ノ學校ハ三十三アリテ此ノ外千八百七十六年ニ鐵道工事ノ監督者養成ノ爲メ聖ペートルスボルグ學校ノ設置アリ千八百八十三年ニハウキシニールチヨツクニ於テ鐵道守衛學校ノ設ケアリ又タニジニウゴロトニ於テハ河上

水先案内者及ヒ海上航海者養成ノ爲メ特別ナル學校ノ設置アルナリ其ノ後千八百八十八年ニ於テ鐵道技師ニ關スル法令ノ發布アリテ其免狀ヲ得ル試驗ノ規則定メラル

終ニ地方郵便局及ビ電信學校ニ於ケル電信技師及教師養成ノ爲メ千八百八十六年聖ペートルスボルグニ於テ電氣工業學校ト稱スル一學校ノ設立ヲ見タリ以上ノ四章ニ於テ記載シタル事項ハ重モニ下ノ五省ニ依リテ管理セラル、モノナリ



### 第五章 物質的資力ヲ管理スル政府ノ機關

(甲) 大藏省。千八百二年ニ設置シタルモノナルガ此省ハ左ノ如キ事務ヲ管理スルナリ

一、帝室財産ノ外一國歳入ノ凡テノ本源、國有財産ノ運轉及ヒ歳出豫算ノ編成等ヲ司ル是等ノ事務ヲ執行スルニ左ノ如キ局アリ

(イ) 會計局ハ資金ノ運轉、出納ノ記録、豫算ノ整理及ヒ豫算草案ノ編成ヲ掌トル

(ロ) 次ハ國稅及地方稅ヲ管理スル租稅局

(ハ) 商工業ノ租稅ヲ管理スル商工局

(三) 稅關局

(ホ) 特許局 卽チ政府專賣酒類ノ賣捌及其ノ他ノ專賣品ヲ掌トル所ニテ此局

ニハ大藏次官ノ一人ヲ以テ議長トナシ特別參事會ト技師委員會、特許稅金部、酒類賣捌部、検査部等ノ設アルナリ

最初ノ三局ノ地方機關ト各縣ニアリテハ其ノ縣及ヒ郡部ノ經濟ヲ掌トリ兼ネテ

租稅取立ノ監督ヲモナスナリ特許局ノ地方機關ハ各縣ノ稅務署ニアルナリ又稅關局ノ管理ヲ分テ十二區トナシ其ノ區ニアル處ノ稅關ハ悉ク之ニテ統轄スルナリ尤モ主要ナル稅關ノ二三ハ直ニ本局ノ統轄ヲ受ク密輸出入ヲ防禦スル爲メニハ各區ニ於テ稅關守備隊ナルモノアリ又タバルチツク海ニハ守備艦隊アリテ海上ヲ警衛ス

二、大藏省第二ノ要務ハ國家ノ信用機關ノ管理並ニ全國ノ諸信用會社ヲ監督スルニアリ此ノ要務ヲ執行スルニ信用廳ト國債委員局ノ設ケアリ此外造幣局及ヒ紙幣及ヒ他ノ證券ヲ印刷スル所ノ印刷局ハ大藏省ノ管轄ニ屬ス大藏大臣モ其ノ一員タル國家信用機關評議會ナルモノハ大藏省ノ外ニアリトス

三、終ニ商業ノ發達ヲ監察保護スルハ大藏省ノ甚タ重要ナル要務ナリ此要務ハ商工局ノ掌ル所ニテ工場監督部、度量衡部、試金課及ヒ商業學校ハ此局ノ管理ニアルナリ此外大藏次官ヲ以テ部長トナシ技師工業家商人其他ノ人々ヲ以テ組織スル商工會ナルモノアリテ其支會ヲモスコ一府ニ設ケタルガ此ハ商工業ニ關スル凡テノ最モ重要ナル問題ヲ評議スルナリ



大藏省ノ要務中稅率ヲ定ムル一部アルガ鐵道ノ運賃ノ如キ此部ニテ定ムル所ナリ其他ノ稅率問題ハ此部ニテ調査スル所ナルガ鐵道局長ハ其ノ委員長タルナリ終ニ屬僚ノ決議ニ對スル訴及其他ノ問題ハ稅率評議員ニ呈出セラル、モノナリ其委員長ハ大藏大臣ニテ其委員ハ各局ノ官吏農工商業及鐵道ノ代表者ヲ以テ組織ス其評議會ニテ決シ難キ問題ハ內閣ノ委員ト之ヲ評議シ又立法ニ關スル問題ハ內閣會議ニ呈出セラル、ナリ

以上掲載セル諸局部ノ外大藏省ニハ二人ノ次官ト參事官及官房部及學術上ノ委員アルナリ

(乙) 會計検査院 ハ千八百十一年ニ設ケラレ後此世紀ノ六十年代ニ改造セラレタルモノナルガ其職務ハ大藏省ニ最モ近接セリ其要務ハ宮内省及ヒメーリー女帝局等ヲ除クノ外各省各局ノ金員ノ收支ヲ監督シ之ガ法律ニ適フヤ否ヤヲ検査シ其ノ經濟上取扱ノ利益若クハ不利益ニ對シ斷案ヲ下スニアルナリ其中央ノ機關ハ參事會、文官及ヒ陸海軍ノ諸局及ヒ鐵道會計局、官房局及ヒ中央簿記局ニテ其地方機關ハ中央政府ニテ撰定シタル地方検査官及私立鐵道ニ對スル検査員ナリ

トス

會計検査院長ハ大臣ノ權利ヲ有ス又タ別ニ院長ノ職務ヲ補助スルタメ一人ノ次長アリ

(丙) 農務及國有地務省 此省ハ千八百三十七年來存在セシモノニテ初ハ皇帝官房局第五部ノ名ノ許ニ設ケラレ後ニ國有地務省ト變ジタリ其要務ハ最初農民ノ管理ニアリタルモ後此事務ハ內務省ニ移シタルニヨリ現今此省ノ要務トシテ存スルモノハ官有地ノ管理其借地料及官有山林ノ統治、農業ノ發達ヲ管理スル事等ナリ千八百七十三年ニ至リテ元大藏省ノ管轄ニアリタル鑛山ノ事務モ此省ニ加ヘラル、ニ至レリ

此省ハ其組織ノ性質上ヨリ近時ニ至ルマデ農業ニ多クノ注意ヲナスコトヲ得サリシナリ此方爲メ一局ノ設ケアルモ地方ノ機關ヲ缺クコトアレバ充分ノ働キヲナスコトヲ得ザリシ

我邦ニ於テハ農業ハ一國ノ福祉ニ最モ重大ナル關係ヲ有スレバ農業ヲ等閑ニ附スル如キハ甚タ不都合ノ次第ナレバアレキサンダー三世ニ至リ此問題ニ注意ヲ



起シ國有地務省ヲ改造シ農務及ビ國有地務省ト改メタリ此改革案ハ千八百九十四年三月二十一日ニ於テ勅裁ヲ得タリ

現今ノ有様ニテハ此省ハ大臣次官ノ外參事會及官房ハ云フニ及バズ第一農業ノ關係アル所ノ諸局課ヲ以テ成立ス先ツ第一ニ見ル所ノモノハ農業參事會ニテ農業經濟及其他諸種ノ改良ヲ圖ル所ノ方畧ヲ議スルコトヲ以テ目的トス此會ハ毎年一回冬季ニ會合ナシ大臣ヲ以テ其ノ議長トシ農業ノ必要利益ニ通曉スル農業家ヨリ撰ミタル十五人ノ議員ニテ組織セラル、ナリ此議員ハ大臣ニテ推撰シ皇帝ノ任命スル所ニ係ル此參事會ハ實際ハ農民ノ輿論及希望ヲ表彰スルマデニテ大臣ノ協議ニ關ルニ過キササルナリ

學術上及技術上ノ問題ニ關シテハ他ニ學術委員會ナルモノ、設ケアルナリ其行政機關ニハ農務局、耕地改良部、農業經濟及農業統計部ト外ニ「グースタール」(村落工業)委員ノ設ケアルナリ

第二ニ山林ノ管理ノ爲メニ山林局ナルモノ設ケラレ之ニ附屬シテ林務官ノ一體ト特別山林委員ナルモノアルナリ

第三官有地及ヒ移住民ニ關スル事務ハ特別ノ一局アリテ之ヲ掌トル

是等ノ諸局ノ下ニ立ツ地方機關ハ元國有地務省ノ出張所トシテ各地ニ設ケラレタル官廳ニアルナリ又農業、水産、山林及ヒ鑛山ノ監督官ナルモノ此省ノ附屬タリ此省ノ地方官廳ニ關スル改革ノ方案ハ現ニ盛ニ講セラレツ、アル所ナリ

終リニ農業學校ノ多數及ヒ總テノ山林學校ト鑛山學校ノ管理ハ此省ノ執掌スル所ナリ

(丁) 牧馬廳 千八百八十一年ニ國有牧馬場ノ管理ハ此省ヨリ分レテ獨立ノ官廳トナリタリ是レ即チ參事會ト官房ヲ有スル牧馬廳ニテ總テノ國有ノ牧馬場ハ此官廳ニテ統轄スルナリ

(戊) 遞信省 千八百六十五年以來設置セラレタルモノニテ之レヨリ以前千七百四十二年以來ハ國道建築廳國道委員中央國道管理局等ノ名ヲ以テ存シタリ現今ニ於テハ此ノ省ニ大臣次官參事官及官房書記官アリ土木會ハ全體ノ技術上ノ問題及設計ヲ講究スルノ目的ヲ以テ組織セラレタルモノナリ此省ノ要務ハ左ノ如キ局課ニヨリテ分轄ス



一、人造ノ道路及ヒ水運ヲ管理スルノ一局アルガ其支配下ヲ別チテ區トナシ更ニ之ヲ別チテ部トナセリ

二、商港ハ特別ナル委員ト地方廳ノ管理ノ下ニアルナリ

三、鐵道ノ管理ハ鐵道會議ナルモノアリテ遞信大臣其議長タリ

新法律案及他ノ全體ノ問題ヲ講究スルヲ以テ任務トス其ノ行政機關ニハ鐵道局アリテ官設及私設ノ鐵道ヲ管理スシベリヤ鐵道ノ布設ニハ特別ナル官廳ノ設ケアリ鐵道ノ管理ニ關スル地方機關ハ未タ其設立ヲ見サルカ遂ニ之ヲ設立スヘキコトニナリタリ今日ニ至ル迄各線路ハ特別ノ役所ヲ有シ其ノ監督ハ本省ニテ之ヲ掌トル

此外鐵道ノ布設ヲ管理スル工業監督署、臨時統計部、法律評議局及ヒ文部省學校ト關係アル教育部等ハ此省ノ事業ナリトス

本編ノ或事項ノ管理ハ他省ニテ之ヲ掌ルコトアリ假令ハ郵便及電信ハ內務省ニ屬シ工業及商業學校ハ文部省ニ屬ス等ノ如キ是レナリ而シテ是等ノ省ニ就テハ後編ニ於テ之ヲ記載スルコト、ナスベシ

## 第八編 精神上ノ修養

人類ノ心靈的ノ幸福ナルモノハ其心靈的才能ノ最モ完全ナル發達ニ與ヘラレタル名ナリ此ノ如キ發達ハ人ヲシテ道德上ノ自由ヲ知覺スルト同時ニ理性ニヨリテ自己及ヒ隣人ノ幸福ヲ全フセシメ又其宗教上ノ必要ヲ滿スト同時ニ其信仰ヲ迷信ヨリ清メ美妙ノ理會ニ於テ快樂ヲ覺ヘ外界ノ智識ヲ得而シテ絶ヘス其ノ智識ノ境域ヲ廣メシムルコトアルナリ

斯テ宗教、道德、智識及ヒ美妙ノ境界ニ於ケル發達ハ一ツノ分ツヘカラサル組織體ニテ其一ニ於テ改良ヲ見ル時ハ同時ニ其他ノ改良ヲ來タスコトアルナリ

故ニ本篇ニ於テハ人民ノ宗教道德ノ必要ヲ滿タシ其ノ智識及ビ美妙ノ發達ヲ遂ゲシムルニ於テ教會國家及會社ガ組織スル所ノ制度及ヒ方法ノ大畧ヲ掲グルコトヲ務ムヘシ

### 第一章 教會制度



教會制度ヲ掲グルニ當リ先ツ讀者ニ注意シ置クヘキハ吾人ハ爰ニハ單ニ教會政治ノ組織ト信仰ノ純潔ヲ守リ而シテ帝國ノ非基督教民ニ之ヲ傳播セントスル僧侶ノ運動ヲ簡短ニ論スヘキコト是レナリ普通教育及公共ノ慈善ニ於ケル教會ノ有功ナル動作ニ就テハ後篇ニ掲グルコトアルベシ

第一節 古代露國教會ノ組織

傳説ニヨレバ最初ニ露國ノ蠻族ニ道ヲ傳ヘタルハ使徒アンデレーニシテ早クモダニユーブノ河口及ビクリミヤニテハ多クノ教區ハ設ケラレタリ勿論是等ノ教區ヨリ出デタル説教者ガスラウ人ニ如何ナル感化ヲ及ボシタルカヲ精細ニ定ムルハ爲シ難キコトナルガ此前ニ於テ改宗者ノ例全クナカリシトナスハ不當トナサマルベカラズイゴール(九百十二—九百四十五年)ノ配下ニ若干ノ基督信徒アリテセントエリヤスナル特別ナル教會ガキーフニ於テ彼等ノ爲メニ設ケラレタルハ明カナル事實ナリ然レトモ現今ノ意義ニ於ケル教會ノ政治ナルモノハ當時未ダ存セザリシ所ニテ之カ始メテ現ハレタルハ大公爵聖ウラヂミルノ時(九百八十八年)ニ於テ一般ニ基督教ノ信仰ヲ受ケタル時ニアリトス

(甲) 監督教區教會區及ヒ脩道院 信仰ヲ吾人が第一ニ受ケタルハビザンテムナリ故ニ新ラシク改宗シタル國ハビザンテン教宗ノ配下トナリタリ而シテ希臘ヨリキーフニ第一ニ來リタル府監督ハ聖ミケルニシテ彼レハ多クノ監督ト司祭ヲ携ヘ來レリ司祭ノ内ニハ吾人ト其邦語ニ於テ親密ノ關係アルボルガリヤ人モ加ハリ居リタリトノ言ヒ傳ヘアリ彼等ハ人民ノ解シ得ル國語ニ譯サレタル聖經ヲ携ヘ來リ感謝スヘキ正教ノ信仰ハ遂ニ露國ノ國教トナリタリ府監督聖ミケルノ配下ニ在ル監督等ハ未タ定マリタル教區ヲ有セザリシガ異教者ノ間ニ於ケル信仰ノ傳播ニ於テ彼ヲ補助シタリ監督ノ教區ヲ定メタルハ九百九十二年ニテ吾人ノ第二ノ教父府監督レオンチーノ時ニアリトス同時ニ監督ヲ置カレタルハノヴゴロッド、チセリノゴフ、ロストノウラヂミルウオリンスク及ヒベルゴロットナリ其ノ後十一世紀十二世紀及ヒ十三世紀ノ一部ニ於テ韃靼人ノ襲撃マデニ基督教ノ傳播ニ準ジテ外ニ十個ノ教區立ラレタリ總テノ監督ハキーフノ府監督ノ配下ニアリテ彼ハ地方ノ君主ノ承認ヲ以テ自ラ之ヲ撰ビ又或ル場合ニ於テハ普通撰舉法ニ依テ(ノヴゴロッドニ於ケルカ如キ)之ヲ撰ミ之ヲ招集シテ會議ヲ開キ他ノ監督



ノ評議ヲ經テ之ヲ審判シ且ツ全教會ニ關スル全體ノ事務ヲ執行シタリ而シテ府監督ハコンスタンチノープルノ教宗ニヨリテ撰マレタルガ多クハグリーキ人ニシテ十二世紀以後ハ之レヲ撰ブニキープノ大公爵ノ同意ヲ得ルコト、ナリタリ然レトモコンスタンチノープルノ教宗等ハ或ル人ヲ除クノ外露國教會ノ内政ニ關涉スルコトナク他ノ府監督ヨリ露國ノ府監督ニハ更テニ大ナル權利ヲ許シタリ

司祭ハ吾人カ前ニ掲ケタル如ク監督ト共ニ來リタリ聖ウラヂミルハ町村ヲ通シテ人民ニ洗禮ヲ施シ町々ニ教會ヲ立ツルコトヲナシタリ斯テ教會區ナルモノ、ウオルロストト稱スル諸郡ノ中心ニ起リ後チ漸次他ノ村落ニモ起リタリ總テ是等ノ教會ニハ司祭ヲ要スルコトナルガグリーキヨリ來リタルモノ、ミニテハ之ヲ滿タスニ足ラサレバ聖ウラヂミルハ監督等ノ助ケニヨリ露國人ノ内ニ教育ヲ施シ下級ノ僧侶ヲ養成スルコトヲ勉メタリ斯クテ政府ハ初メヨリ教會ノ組織并僧侶ノ撰定ニ干涉ヲ爲サマルコト、ナレリ其ノ後基督教ガ國民全體ニ普及スルヤ教會ノ組織僧侶ノ撰擇ハ教會區ノ住民若クハ其地主ノ司トル所トナリタリ此ノ

如クニシテ撰擇セラレタル僧侶ノ候補者ニ監督ハ接手禮ヲ授ケタリ

監督教會區及ヒ教會區ニ次キテ露國教會ニ起リタル第三ノ制度ハ基督教ノ古代ニ見ル所ノ脩道院ナリ異教ノ自己中心主義ニ反シ教會ハ露國全體ノ公共及ヒ家庭ノ生活ニ個人的種族的又タ利己的ノ上ニ超越シタル全人類ニ普通ナル道德主義ヲ輸入シタリ腕力ヲ崇拜シ英雄ヲ崇メテ神トナス社會ノ間ニ基督教ハ腕力ハ道德力ニ服従スヘキ主義ヲ教ヘ教會ハ情慾ニ對スルノ勝利柔和謙遜ノ功德ヲ稱讚セリ是等ノ功德ハ凡テ脩道院ニ於テ脩メラレタル所ニテ當時ノ人ニ深遠ナル驚歎ト敬畏ヲ起サシメタリ此ノ故ニ脩道院ヲ建ツルコトハ敬虔ノ事業ト認メラレタル所ニテ十二世紀ノ前ニ於テ建テラレタル脩道院九十ノ多キニ及ベリ然レトモ當時ノ史家ハ如此言ヘリ脩道院ノ多クハ國王貴族及ヒ富者ノ建テタルモノナルガ涙ト斷食ト祈禱ト警醒ニヨリテ建テラレタルモノモ亦少カラス隱者ノ建テタル脩道院ニハソノ高尚ナル道德ト其ノ神聖ナル生活ニヨリ多クノ信者ヲ叫合スルコトアルガ此ハ古代ノ露國人ノ生活ニ最モ重大ナル關係ヲ有シタリ其ノ内最モ著名ナルハ千五十一年ニチセリンゴフ縣ノチユベツチセ町ノ住民聖アントニ



一ノ建テタルモノニテ現ニキープニ存スルベツチヤルスケー脩道院是レナリ  
 次ノアボット(院長)ナルセオドシヤスノ時ニ此脩道院ハビザンテンノスチユダイト  
 脩道院ノ模範ニ從カヒ適當ニ組織セラレタル學院トナリ其ノ他ノ露國脩道院ノ  
 模範トナリタリ是レヨリシテ信仰ノ道ヲ廣ムル多クノ宣教師ハ先ヅキープヨリ  
 ノゾゴロッドニ沿ヘル河岸ニ出テ後東西相分レウオルガニ沿フテ所々ニ布教セリ  
 又此脩道院ヨリ凡ソ五十ノ監督ト多クノ學者及史家ヲ出シタリ

(乙) 古代僧侶ノ政治的功蹟 僧侶ハビザンテムヨリ來リタルモノナレバ始メ  
 ヨリ我等ノ間ニ於ケルビザンテム政治理想ノ宣傳者タリ當時露國ニハ各所ニ  
 割據シタル諸侯互ニ其ノ權力ヲ爭ヒ市邑各自自治制ヲ有シタル社會ノ組織ナリシ  
 カバ僧侶等ノ携帶シ來リタル理想トハ全ク正反對ニテアリタリビザンテム政  
 治ノ理想ハ神ノ膏ヲ注ソガレタル羅馬皇帝ザールノ繼嗣タル皇帝ノ手ニ總テノ  
 權力ヲ集メ全國ヲ統一スルニアリタリ  
 是レ我國ノ教職制度ハ各地ニ割據セル諸侯ノ權力ヲ擅ニスル封建制度ヲ全ク打  
 破スルコト能ハサリシト雖トモ常ニ之レト正反對ノ位置ヲ占メタル所以ナリ而

シテモスコー皇帝時代ニ於テ此ノ理想ノ實行ヲ見逐ニ全國ヲ統一スルコトヲ得  
 タリ

斯カルコトアルカ故露國ニ於ケル教職ハノウゴロッドノ或ル者ヲ除クノ外皆テ  
 地方的ノ性質ヲ有シタルコトナク其感情ニ於テハ全ク國家的ニシテ露西亞帝國  
 教會上ノ統一ヲ堅ク維持シタリ

猶ホ各所ニ割據セル諸侯ノ間ノ絶ヘサル分争ニ對シ常ニ反對ノ位置ニ立チタル  
 ハ基督教平和ノ主義ヨリ見ルモ教會ノ直接ナル職務ナリト云フヘシ嘗テ府監督  
 ニキフオールウセフオロッド三世(千七百七十六年乃至千七百九十二年)ニ告ケテ曰ヘルコトアリ君公ヨ  
 我レ等ハ君公ヲ護リテ血ヲ流サシメザル様神ヨリ露國ニ遣ハサレタルモノナリト

(丙) 教會政治ノ獨立 諸侯ノ間ニ於テ教職者カ大ナル尊敬ヲ有シタルハ明カナ  
 ル事實ニテ彼等ハ國家ノ大事ニ當テハ國君第一ノ顧問官ナリキ然ルニ教會ハ既  
 ニ組織ノ成立チタルモノニテアリ且ツ當時諸侯ノ權力猶甚タ弱カリシ故教會政  
 治ニ關涉スルノ實力ナカリキ此事情ハ我邦ニ於ケル教會政治ガ著シク獨立ヲ保



チタル理由ヲ明カニスルニ足ルベシ

希臘羅馬ノ法律ニ依レバ教會裁判ニ三様アルナリ(一)教事上ニ於ケル教職者ヲ審判スル法廷(二)民事上ニ於ケル教職者ヲ審判スル法廷及ヒ(三)教事上其他法律上教會ノ法廷ニテ審判ヲ受クヘキ事件ニ於テ平人ヲ審判スルノ法廷是レナリ總テ是レ等ノ法律ハ我國ニ輸入シ來リタルノミナラス我國ニ於テ更ニ大ナル發達ヲナシタリ譬ヘバ教職ト平人ノ爭訟事件ニ於テハ教職及平人ノ裁判官ニテ成立チ混成法廷ノ組織ヲナスカ如キ是レナリ爰ニ注意シ置クヘキハ教職ナルモノ、内ニハ唯僧侶ノミヲ指スニアラサルコトナリ異教國ニ於テハ隣人ヲ隣人トシテ助クルコトハ其ノ例アラサル所ナリ何レノ社會ニ於テモ唯其自己ノ社會ノ人ノミヲ保護シテ他ニ及フコトナシ何人ニテモ其社會ヲ離ル、コトアレハ忽チ其ノ保護ヲ失フモノナリ國家ノ權力猶微弱ニシテ社會ノ安全ヲ保存スルノ實力ナキ古代ノ社會ニ於テハ如此保護ハ甚重要ナルモノナリ然レトモ其社會ヨリ放逐セラレタルモノ即チ「イズゴイス」ト稱スル人民ノ數ハ僅少ニアラズ此等ノ人々ハ總テ教會ノ保護ノ下ニ立チテ教職者ノ一部即チ教會民トナリタルナリ

(丁) 教會及教職者ノ維持法 教會政治及教會法廷ノ總テ複雜ナル組織ハ種々ノ

團體ヲ有スルモノナルガ之ニ對シテハ亦少カラサル維持費ヲ要スルナリ府監督及監督ノ維持費ハ諸侯カ其領地内ニアル教會維持費トシテ其歳入ヨリ分チ置ク所ノ「ダイズ」ト稱スルモノ及ヒ司祭并執事職ノ就職料裁判料及ビ其ノ不動産ヨリ出ル收入ニ依ルナリ脩道院ハ一種ノ領地ヲ有シ之ニ對シ種々ノ租稅ヲ賦課スルノ權利ヲ有シタリ終リニ富者ハ脩道院ニ大ナル寄附ヲナスコトヲ以テ彼等ノ義務トシタルガ財産ヲ有スル所ノ人ニテ脩道院ニ入ルコトアラバ動産不動産ニ係ハラズ總テ己レガ入ル所ノ脩道院ニ寄附スルヲ以テ例トナス監督以下ノ教職ノ維持ニ關シテハ如何ニシテ之ヲ維持シタルカ明白ナル記録ノ存スルモノ少ナシ唯諸侯及ヒ一市人若クハ一會社ニテ教會ヲ建ツルトキ其ノ維持及ビ教職者ノ維持ノ爲メニ或ル不動産若クハ收入ヲ分チ置キタルコトハ推測スヘキナリ

第二節 韃靼時代ニ於ケル教會及教職者

(甲) 教會政治及脩道院 韃靼人侵掠ノ時代ヨリ教職者ノ位置ハ更ラニ重要ナルヲ加ヘタリ韃靼諸汗ハ他ノ宗教ニ對シテハ寧ロ之ヲ度外視シ敬シテ之ヲ遠サク



ルノ方針ナリシカ我教會ハ彼等ノ配下ニアリテ却テ其獨立ヲ全フシタリ諸侯ノ官吏サヘモ教會ノ領地ニ立チ入ルノ權利ヲ有セサリシガ教會ノ領地ハ何レノ處ニテモ安靜ナル一生ヲ送ルニ適當ナル處トナシタリ如此事情ノ下ニアリテハ諸侯ノ權力ノ減退セシト共ニ社會ノ秩序ヲ維持スル權力ヲ有スルハ只教會ノミトナリタリ教會ハ其領地内ノ秩序ヲ能ク保ツノミナラズ出來得ル丈其近傍地方ノ平和ヲ維持スルコトヲ務メタリ

此時代ニ於ケル教會ノ動作ヲ大體ニ言ヘバ建設的ナリト云フヲ得ベシ此點ニ於テハ脩道院ノ功蹟又大ナリトス韃靼時代ノ始メニ於テハ韃靼人侵掠ノ恐アリタレバ新脩道院ノ設立ヲ見ルコトナカリシガ其權力稍衰フルニ當リテ諸侯ノ君主ハ脩道院ヲ建設シ以テ其宗教上ノ感情ヲ表彰スルコトヲ始メタリ又一方ニ於テハ群集ハ著名ナル隱者ノ周圍ニ蝟集スルコト、ナリ當時再建又ハ新ニ建立セラレタル脩道院凡百八十餘アルニ及ベリ脩道院ニテ遠隔未開ノ地ニ建立セラレタル時ハ是レニ集マル人々ハ其周圍ノ荒蕪ノ地ヲ占有シ之ヲ耕シテ食シ又此等ノ地ニ移住民ヲ招キテ新部落ヲ起シ諸侯ニテ之ニ免狀ヲ與フルトキハ新ナル村落

トナルナリ脩道院ハ人口稀疎ナル處ニ殖民ヲ起スノ益ヲナスト共ニ同時ニ學者ノ重ナル養成所トナリ爰ニ聖經ヲ編纂謄寫スルコトヲナシ行者ノ權力ハ古代ノ如ク重大ナレバ諸侯ハ爭フテ其ノ意見ヲ需メ恒ニ之ト交際スルコトヲ好メリ多クノ脩道院中特ニ著名ナルハ十四世紀ニ起リタルトロットスコ、セルギウエー、スキ、寺院ナリ此脩道院ハ彼ノデユミトリ、ドンスコイガ將ニママイト駁ハン爲メ出陣スルノ時其祝福ヲ受ケタルラドネゼノ聖セルギー(一千三百九十四乃至一千三百九十七年)ガモスコ、近傍ニ設立セシモノナリ、トロットスキ、脩道院ハベツチセルスキ、脩道院ト同シ他ノ多クノ脩道院ノ父トナレリ猶ホ外ニ一ツノ有名ナル脩道院ハ聖シリ(一千三百四十七年乃至一千四百四十七年)ガノヴゴロット國ニ建立シタルキレルローベルセルスキ、ノ脩道院ナリ

終リニ前代ト同ジク脩道院ヨリ露國ノ北部ニ於ケル異教徒ノ間ニ基督教ヲ傳播スル多クノ宣教師出テタリベルムノ、アルファベットヲ始メテ綴リタル有名ナルステフハン(千三百九十六年)ノ如キ其ノ一人ナリ

教職者ハ猶此外政治ニ關係シ重要ナル功蹟ヲ舉ゲタリ府監督ノ所在地タルキ、



フハ韃靼人ノ侵掠スル所トナリ常ニ其侵掠ヲ受ケタリ府監督ハ爰ニ止ルコトヲ得サルカ故ニ漸次北ニ移リ遂ニ其教座ヲクリアズマニ於ケルヴラジヨミルニ移シタリ然レトモ其後モスコノ君主タルイワンダニエルウキチカリタ(一千三百至一千三百四十年)ハ其教座ヲ己ノ首府ニ移スベキ重要ナル關係アルコトヲ悟リ當時ノ府監督タル聖ペテロヲ誘フテモスコニ移ラシメタリ聖ペテロハ千三百二十五年ニ遂ニモスコニ移リ己ノ墓所ノ爲メ神ノ母ノ光榮ノ爲メ一ノ教會堂ヲ建テントトナリ其君主ニ乞ヒタリ同時ニ彼ガモスコノ未來ニ關シ明言シタル不審議ナル豫言ハ左ノ如シ彼レ其君ニ告ケテ曰ク君若シ我ニ聽カバ我が子ヨ君及ビ君ノ一家ハ他ノ諸侯ヨリ更ニ著名ニナリ君ノ市ハ露國ノ總テノ首府ノ内ニテ最モ著名ナルモノトナリ大教官ハ爰ニ住シ我骨ハ此所ニ埋メラレント不審議ニモ聖ペテロノ死(千三百二十六年)スルヤイワンカリタハ眞ニ大公爵トナリタリ而シテ其ノ後ノ府監督等ハ皆モスコノ君主ノ權力ヲ強メ露國一統ト其擴張トヲ圖リタリ聖ペテロノ墓ノ上ニ一ノ教堂建立セラレタルカ是レアソンプシヨノ大寺院ニテ是レゾ露國歴代帝王ノ戴冠式ノ執行セラル、所ナリ

斯ノ如クニシテ教職者等ハ彼等カヒザンテコムヨリ携ヘ來リタルソノ政治ノ理想ヲモスコニ於テ初メテ之ヲ實行シタリ

(乙) 南。西。教。會。及。首。府。監。督。座。ノ。分。轄。 南方ノ諸侯及其跡ヲ繼キタルリスアニヤンノ諸侯等ハ府監督カ他ノ領地ニ移リタル後其ノ臣下ノ人々ガ其府監督ノ配下ニアルコトヲ以テ快トセズキープニ更ニ新府監督ヲ建ルコトヲ主張シタリ之ガ爲メ或時ハ二人ノ府監督アリ或時ハ三人ノ府監督アリ又或時ハ數人アリテ其混雜少カラサリシガ十五世紀ニ於テ遂ニモスコトキープノ二府監督座ノ分轄アリタリ此府監督ハ孰レモコンスタンチノールノ教宗ノ配下ニ屬スルモ互ニ異リタル關係ニ立チタリキープノ府監督トコンスタンチノールノ教宗トノ關係ハ親密ニナリシモモスコノ府監督ハ其教宗ニ對シ殆ト獨立ノ位置ヲ占ムルニ至レリ其特別ナル位置ニ關シテハ東方ノ教宗ガモスコノ大公爵ト協議ノ上モスコノ府監督ハ其ノ配下ノ監督ニテ撰ビ彼レハ總テ他ノ府監督ヨリ貴クエルザレムノ教宗ノ次席ニ其ノ位ヲ占ムベキコトニ定メタリ反之キープノ府監督ハ天主教ヨリノ危害ニ接スルコトアルカ故益々コンスタンチノールノ教宗ニ依頼



シ其ノ關係愈親密トナレリ

第三節 十五世紀乃至十七世紀ニ於ケル教會

(甲) 教會政治主權ノ減殺 今後ニ於テ吾人ハ專ラ現今ノ教會組織ノ發達シ來リタル大露國教會ニ關スルコトノミチ揭クベシ蒙古時代ノ終リニ當リテモスコロニ於ケル大公爵政治上ノ權力ハ漸次増加シタリ即チ彼レハ露國一般ノ政治的統一ノ代表者トナリ又其充分ナル保證者トナリタルカ故從來諸侯ノ間ニ於テ見ル所ノ内亂モ是レガ爲メ停止スルニ至レリ斯ル事情ノ許ニ在リテ教會政治ノ主權ハ漸次減少シ後ニハ唯名ノミ存スルコト、ナリタリ府監督ハ諸侯ノ任免スル處トナリ監督等ハ其ノ領地ノ衰退ト共ニ漸次モスコロヨリ撰定セラル、コト、ナリ府監督ハ諸侯ヨリ特權ノ免狀ヲ受ルモ之ヲ以テ昔時ノ免狀ニ比スレハ其ノ政治上ノ權力ハ愈減少セラレタリ韃靼ノ時代ニテハ文官ノ裁判所ハ教會ノ權力ノ下ニ組織セラレ爰ニ貴族及ヒ豪族其席ヲ占ムルナリ又貴族ハ民事ニ於ケル教會ノ裁判官ニ撰ハレタリ府監督區不動産ノ取扱ヒハ執事ノ手ニアリテ教會ニ書記官書記會計官内膳給仕人アリ村落ノ場合ニ於テハ此ニ村落長老ナルモノアリタ

リモスコロノ主權者ハ教會ノ政治ニ於ケル平人ノ役員ヲ減ジ若シクハ全ク廢スルコトヲ勉メタリ教會政治獨立ノ根本タル基礎ハ教會ガ勝手ニ使用シ得ル大ナル富源ヲ有スルニアリトスモスコロノ君主ハ第一ニ教會不動産ノ所有ヨリ起ル特權ニ注意シ既ニ存スルモノヲシテ或ル一定ノ區域ニ止メ更ニ新シキ權利ヲ與フルコトヲ勉メテ制シタリモスコロノ第一ノザールイヴァン三世一千四百六十五年ノ後間モナク教會ノ不動産ヲ以テ平人ノ所有ト爲スヘキノ疑問起リタレトモ之ヲ實行スルノ時未タ來ラザリキ然レトモイヴァン三世ノ後ハ俗權ハ絶ヘス成長シ教職ノ不動産ニ關スル制限ヲ置クコト、ナリタリ一千五百五十一年ニイヴァンテリブルガ教會内部ノ整理ヲ圖ル名義ヲ以テ招集シタル教會々議ニ於テ大監督監督及ヒ脩道院ノ熱心ナル反對アリタルニモ關ハラス國王ノ許可ナクシテハ教會ハ不動産ヲ所有スルコトヲ禁セラレタリ此ノ禁制ハ十六世ノ終リニ至ルマテ引續キタル會議ニ於テ愈々確定シ且益其主義ヲ擴張セリ終ニ裁判ノ一事ニ關シテハ教職者ハ先ツ第一ハ刑事裁判次ハ民事ノ裁判ニ於テ漸次普通ノ裁判官ノ配下ニ歸スルコト、ナリタリ民事ノ裁判ニ於テハグレイトバレスノ裁判



所アリテ之ヲ司リ同時ニ監督區及脩道院ノ財政ノ方面ニ關シ寄附金及寄附物ノ募集徵兵ニ關スル件ノ裁判ヲモ爲スニ至レリ

教會ノ主權ヲ縮少セントスルノ企ニ就テハモスコイノ主權者等ハ十六世紀ニ至ルマテ教職者ノ方面ヨリノ反對ニ遭ハザリシ教職者ハ或ル區域マテハ却テ其ノ事件ニ政府權力ノ干涉ヲ需メタリ教授グラツドウオスケー氏ノ公平ナル評論ニ因レハ曰ク教職者ハ現世ノ政府ト聯合シタルコトアルガ故ニ如此ナルハ元ヨリ當然ノコトナリ右ノ府監督ハ政治ノ問題ニ干涉スルコトアリタレバ大公爵及ザールニ於テモ教會ノ政治ニ立入りタルハ當然ノ事ナリノヴゴロツズノ大監督ゲナッデーハ其教會及ヒ脩道院ニ於ケル不規則ヲ矯正スルコトヲ時ノ大公爵ニ依頼シタリ而シテイウアン三世及ヒ四世ノ法律及ビ其勅令及ビザールニ因リテ招集セラレタル教會會議ノ決議ハ或ル度ニ至ルマテ教會ノ主權ト政府ノ主權ノ區域ヲ改メタリ斯ル事情アリシガ故千五百八十五年モスコイ府ノ監督カ教宗ノ地位ニ上リタルモ是レガ爲メ教會ノ主權ノ擴張ヲ見ザリシ是レ唯府監督ノ權ヲ教宗ニ與ヘタルノミニテ其ノ結果タル露國教會ヲ外國ノ支配ノ下ヨリ離レ之ガ獨立

ヲ堅固ニシタルニ過ギザルナリ

内亂ノ時代ニ於ケル事情ハ幾分カ此ノ有様ヲ變ジタリ教宗ヘルモケレ(一千六百六十二年)ノ愛國心ハ堅ク祖國ノ獨立ヲ守ルニアリ一國ノ政治上ノ運命ヲ造ルニ教職者ガ大ニ盡シタル處又タ當時一國ニ眞實ノ主權者ヲ缺キタル處ハ教宗ヲシテ非常ノ權威ヲ有セシムルコト、ナリロマノフ家ノ第一ノザールタルミケルヘオドロウキツチノ父タルヘラレット教宗ハ其ノ權力ヲ進メテ國王ト同等ニ爲シタリ此賢明ニシテ豪毅ナルヘラレットハ内亂ノ後一國ノ政治ヲ整理セン爲メ其行爲ト助言ニ依テ其子ヲ輔ケタリ彼ハザールト同等ノ地位ヲ占メ自ラ大主ト稱シ法令ヲ出スニハ皇帝ト己ノ名ヲ以テシタリ教宗ハ皇帝ト同ジク壯麗ナル宮廷ニ其居ヲ控ヘ其教會ノ政治ヲ行フニ一國ノ政治ヲ執行スルト同様ノ機關ヲ以テシタリ教宗ノ權力ノ增長ハ自然他ノ教職者ノ權力ニ影響ヲ及ボシ監督ナルモノハ教宗ト共ニザールノ國政ノ評議ニ參與シ又タ人民ノ集會ニモ列シタリ市町ニ於テハ其ノ長ナルモノハ監督ノ意見ヲ伺ハザルヲ得ス平人ニシテ政府ノ官吏ヨリ無法ノ取扱ヲ受クルトキハ之ヲ監督ニ訴フルコト、ナリタレハ爲メニ宗教裁判所ハ



再ヒ獨立トナリタリ然レトモ此ノ獨立ハ全國一般ニアラス之レガ爲メ政府ノ裁判ニ大ナル紛雜ヲ生シ時ニハ何レノ裁判所ニ於テ其裁判ヲ受クヘキカ定メ難キコトアリタリ一國財政上ノ必要ハ政府ノ負擔ニ於ケル教職者ノ分配ヲ定ムル事トナリ政府ハ力ヲ盡シテ之ヲ禁制シタルニモ關ハラス教會ノ不動産ハ非常ノ增加ヲ來シ十七世紀ノ半ハニ於テハ教會ハ十一萬八千箇ノ領地ヲ有スルニ至レリ或ル外人ノ計算ニ依レバ全國ノ三分ノ一ナリシト云フ

ヘラレトノ後ヲ嗣キシ教宗ノ時ニハ教會ハ勿論其從來ノ權力ヲ維持スルコトヲ得サリシ之ニ關シテ著シキ變化ノアリタルハザールアレキシミクハエルウキツチガ千六百四十九年ニ於テ頒布シタル法令ニシテ是レニテ教會不動産ノ増加ヲ禁シ教職者ニ對スル民事裁判ノ爲メニ修道院法廷ナル一ノ法廷ヲ設ケ教會ノ世襲財産ニ關スル租稅ト教會不動産ノ募集ニ關スル規則ヲ定メタリ此法令ハ教職者ノ間ニ不平ト反對ヲ起シ教宗ニユン(千六百五十二年乃至千六百六十七年)其代表者トナリ之ニ抗議シタリニユンハザールアレキシミクハエルウキツチノ非常ナル信用ヲ有シタルガユエニ千六百四十九年ノ法令ニ對シ此ハ教會ノ律法ニ反シ愚民ノ煽動ニヨリ

テ感情ノ下ニ法律トナリタルモノナリト論シ斷乎ナル反對ヲナシタレバ彼ハ之ニヨリテ再ヒフヘラレトト同様ナル教宗ノ權力ヲ得大主ノ稱號ヲ受ケ彼ト同様ナル權威ヲ振ヒタリ然レトモ彼ノ權力ハ長ク存セザリシ彼ハザールトノ交際ヲ絶チ千六百五十八年ニ自ラ其ノ教宗ノ職ヲ擲チザールトノ爭ヲ始メタリ此ノ爭ハ千六百六十六年及ヒ千六百六十七年ノ會議ニ於テ結局ニコンノ服罪ニヨリ終リテ告ケタリ

ニコンノ重要ノ爭點ハ教職者ハ宜シク政府ノ裁判應ノ外ニ在リトシタルガ其ノ抗議ハ正當ナルモノト認メラレ千六百七十七年マテ教會ノ法廷ハ其ノ財務ニ關スル權利ヲ保存シタルモ遂ニ之モ同年ニ至リテ廢セラレタリ此ヨリ以後教會ト政府トノ間ニ爭論ヲ見ルコトナク政府ニ於テハ教職者ノ願ニ對シテ少シノ願意ヲ聞キ届グルノミニテ實際教職者ハ悉ク普通ノ法廷ニ呼ビ出サレ教會財産ノ監督ハ遂ニ政府ニテ占有スルコトナリタリ

(乙) 教區 十六世紀及十七世紀ニ於ケル教會ノ高等役員ノ位置ハ前段ニ陳述セシ如クナルカ教區ニ於テモ之レト同時ニ幾ント同様ナル根本的ノ變化アリタル



ヲ見ル

吾人ハ前段ニ於テ司祭ナルモノハ其地ノ團體若シクハ其ノ地主ニテ撰定セラレ後監督ノ認可ヲ受ケタリト述ヘタリ反之千五百五十一年ノ教會々議ハ既ニ其教職者ノ位置ハ其ノ子々孫々世襲タルヘキコトヲ明言セリ勿論教會員ガ選舉ニ喙ヲ容ル、コトアルモ畢竟其教區ニ於ケル教職者ノ子孫ニテ之ヲ請ケ嗣クコト、ナリタリ

司祭ハ其ノ教區ニ於テ最モ教育ヲ受ケタル一人ナレバ其書記ト共ニ地方ノ政治ニ主動ニノ位置ヲ占メ地方會議、地方裁判、撰舉及ヒ請願ニ於テモ常ニ其ノ先ニ立テリ又々地方會議モ直接ニ教會ノ事件ニ關係シ教會裁判廳ニテハ其代表者、長老及ヒ證人トナリテ教職者ヲ判クコトアルナリ教職者ト監督トノ關係ハ其ノ命令ニ服従スルノミナラス種々ノ租稅ヲ納ムルノ義務アリ彼等ハ皆一ノ教區ニ就職シ若シクハ他ノ教區ニ轉スル毎ニ稅ヲ出スノミナラス其教區内ノ各家族ト各婚禮ニ對スル稅ヲモ納サルヲ得ザルナリ

此外教職者ハ監督ガモスコノ府監督ニ歸スルノ費用ヲ支辨シ其ノ役員ノ俸給

ヲ拂ヒ其ノ家ヲ建テ又之ヲ修繕スルノ義務ヲ有セリ是レ等ノ諸稅ハ決シテ輕キモノニアラス殊ニ白衣ノ教職者ニ於テハ其ノ維持ノ備ナキカ爲メ更ニ然リトス十七世紀ノ初ニ當リテ地所ヲ教會ニ配當スベキノ法令出テタルモ其配當ニ與カラサル教會モ少カラザリシガ其少數ノ教會ニハ教職者ノ維持費トシテ穀物若シクハ金錢ヲ配當スベキ事ニナレリ又或ル場合ニ於テハ下級教職ハ屢監督ノ掠奪ニ逢ヒ之ニ對シ政府ノ保護ヲ仰キタルコトアルガ是レ以上ノ如キ法令ノ必要ヲ見タル理由ナルベシ而シテ教會々議ハ教職者ノ爲メニ寄附セラレタル寄附金ヲ監督ノ手ヨリ取りテ司祭ハ自カラ己レノ教區ヨリ撰ヒタル長老及ヒ助役ニ渡スヘキコトヲ決議セリ然レトモ是等ノ役員モ十七世紀ニ於テハ既ニ其重要ナル地位ヲ失ヒタリ

(丙) 傳道ノ活動 十六世紀及十七世紀ハ一方ニ於テ、マホメツト教ハ異教者ノ住スルカザン、アスチラカン及ヒシベリヤノ莫大ナル諸領地ニ入り來リ又々他ノ一方ニ於テハ異端者ノ發達殊ニ著シキモノアリ是レ教職者ノ傳道上及ヒ教育上ノ大ナル活動ヲナスベキ機會ナリ吾人ハ爰ニ此ノ問題ニ關シ細カニ陳述スルコト



チナサザルベシ教會ノ分派及ヒ諸宗派ノコトハ既ニ第一卷ニ於テ論シタル所ナリ教會ト政府ハ傳道ト法律トヲ以テ異教徒ト烈シク戰ヒタルガ此戰ハ今尙ホ繼續セラレツ、アルナリ然レトモ傳道ノ活動ノ如何ナルモノナリシカチ書キ出サシ爲メ吾人ハ爰ニカザンノ韃靼人ヲ改宗セシムル爲メ千五百五十九年將ニ出發セントスル大監督グーリーニ與ヘラレタル訓令中ヨリ拔粹ヲ掲グベシカザンニ達スルニ於テハ新大監督ハ各安息ニ人民ヲ教誨シ新ニ「バフテスマ」ヲ受ケシモノチ己ニ近ツケ彼等ニ食物ト飲料ヲ與ヘ總テノ點ニ於テ之ヲ惠ミ又之ヲ保護シ他ノ不信者カ如此保護ト恩惠ヲ見テ基督教ノ正義ノ法則ヲ慕ヒ神聖ナル「バフテスマ」ニヨリテ悔悟セシムル機勤ムベシ韃靼人ニテ己ノ意ニ反スルニアラズ自ラ「バフテスマ」ヲ受ケント願ヒ出ルモノニハ之ニ「バフテスマ」ヲ施シ其ノ内最善良ナルモノチ爾ノ教館ニ止メ置キ基督教ノ法則ヲ教ヘ平和ニ住スベキ機導クベシ大監督ハ韃靼人ヲ出來ル丈ケノ方法ニ於テ己ニ近ツケ愛ヲ以テ「バフテスマ」ニ導キ決シテ恐怖ニヨリテ之ヲ導クベカラス此謙遜ニシテ眞ニ基督教のナル行ハ最モ良キ結果ヲ生ジタリ數千ノ回々教徒及ヒ異教者等ハ直ニ其處ニテ基督教ニ改宗シ

タリアスツラカンノ地方ニ於テモ又タ改宗者起リタレバ「コーカサス」ノ君主ニ司祭ヲ遣シ其衰退ニ歸シタル正教ヲ恢復センコトヲ圖リタリ

#### 第四節 十八世紀ヨリ現今ニ至ル教會ノ組織

吾人ハペートル大帝以前ニ於ケル教會政治ノ組織ヲ略述シタリ十八世紀ニ於テ十七世紀ノ後半期ニ定メラレタル政界ノ繼續ト完結ヲ見ル

(甲) 監督教區ノ政治 千七百二十一年ニ此ノ書ノ第一卷ニ於テ述ヘタル如ク教宗ノ後ヲ受ケ繼キタル聖務廳ノ組織ニ就テ述フルコトチナサス吾人ハ直チニ我邦ノ監督教區ノ政治ハ政務廳ト同ジクペートル大帝ノ時以來ハ政府全體組織ノ一部トナリタルコトチ明言スベシ政府全體ノ統治下ニアリテ監督ハ監督教區ノ行政ハ勿論其立法ノ權ヲモ掌握シタリ然レトモ教會會議ノ再興アルニ及デ立法權ハ之ニ歸シタレドモ行政權ハ依然監督ノ手ニ存セリ監督ハ聖務廳ニテ黒衣ノ教職中ヨリ之ヲ撰ヒ皇帝ノ勅裁ヲ以テ任命セリ監督ハ聖務廳ノ直接ナル配下ニアリテ其ノ地方的行政官トナリ其ノ教區ニ於ケル總テノ白衣ノ教職ノ長ト其ノ教會學校及ヒ普通學校教會會議ノ長タルナリ軍隊附屬ト宮廷附屬ノ教職ト公使



館附屬ノ教職ノミハ監督ノ配下ニ屬セザルナリ軍隊附屬ノ教職ハ陸軍及ヒ海軍ノ教長ノ下ニアリ宮廷附屬ノ教職ハ皇帝ノ侍講タル教長ノ下ニアルナリ普通ノ場合ニ於テハ監督教區ハ行政區ト同一ナルモ或ル監督教區ハ數多ノ縣ヲ含有スルコトアリ例之ワルソーノ教區ハポーランド王國中ノ十縣ヲ含ミリガノ教區ハ三箇ノホルチリ縣、リシアニヤノ教區ハウキルナ、コヴノ及ヒグロツドノノ諸縣而シテフィンランドノ教區ハ其ノ大公爵領地ノ全體ヲ含ムガ如キ是レナリ亞細亞ノ監督教區中或ルモノハ二三ノ縣ト其ノ領地ヲ含ムコトアリ又タ聖ペートルスボルグ、モスコイ及ヒキープノ監督ハ府監督ナル榮譽アル職名ヲ有シ其ノ第一ハ聖務廳ニテ占ムルモノナリ其ノ殘餘ノ六十ノ監督中大監督ノ職名ヲ有スルモノ十七ニシテ四十三ハ單ニ監督ト稱ス府監督大監督及ヒ大ナル教區ヲ有スル監督ニ附屬シテ副監督ナルモノアリ彼等ハ監督ヲ補佐スルト同時ニ其一部ノ教區ノ監督タルコトアレトモ餘ハ其教區ノ監督ノ下ニアルモノナリ此ノ如キ副監督ノ數凡ソ三十七アリ

ジヨルシアノ教王領地ハ特別ナル位置ヲ占ムルモノニシテ其ノ政府ハ千八百十四

年ニカルタリヤ及ヒアグヘラヤノ大監督タルジヨルシアノ教王ノ配下ニテ設ケタルジヨルシア及ヒイメレシヤノ教會應ナリ此教會應ハ地方教會ノ行政機關ニシテジヨルシア及ヒイメレシヤノ五監督教區ト聖務廳トノ中間ノ教務ヲ辨スルモノナリ

監督教區ノ監督ノ直接ノ配下ニアリテ教事上ノ裁判ヲ執行スルモノヲコンシストリート云フコンシストリーノ會員ハ教職者中ヨリ監督之ヲ撰定シ聖務廳ニテ之ヲ任命スルモノナリコンシストリーノ官房事務ハ書記官ノ執ル處ナルカ聖務廳ノ大檢事ノ管下ニアルコンシストリーハ聖務廳ニ於ケル大檢事ト同様ノ職務ニ従事ス

教會政治ニ於テコンシストリーニ委托セラレタル裁判權ノ區域ヲ細ニ定ムルコトナキモ監督教區ノ諸寺院學校及ヒ人員ハ總ベテ其指揮ヲ受ク現今ノコンシストリーノ裁判權ハ教會裁判廳ノ區域ニ於ケル十八世紀ノ始メヨリ之ガ權力ヲ縮少セラレタル結果トシテ教職者ハ平人ト共ニ其ノ裁判ヲ受クベキモノトナリ教職者ハ其職務ニ對スル犯罪及ヒ違犯其ノ秩序并ニ道德教會財産ヨリ起ル論争及



ヒ教職者ノ犯罪及ヒ其義務ヲ破ルコトニ對スル訴訟ヲ此裁判廳ニテ受ク又平人ガ婚禮ニ關スル事件、信仰及ヒ道德ニ關スル犯罪即チ刑法ニ明文ナキ犯罪ニ對シテ判決ヲ受クルハ又此ノ教會ノ裁判廳ナリ

教區ノ教職者及ヒ教會ヲ監督センカ爲メ監督ハ司祭中ヨリ教長ナルモノヲ選ヒ十箇乃至十五箇ノ教區ノ上ニ之ヲ置キ其ノ教長タラシム此外脩道院ニモ又々教長ナルモノヲ置ク監督教區ノ整理ヲナス爲メニ監督ハ教職者ノ會議ナルモノヲ招集スルコトアリ其ノ議員ハ十箇乃至十五箇ノ教區ニ對シ一人ノ代人ヲ出スコトアルナリ

此會議ハ教職者自ラ其ノ費用ヲ支辨シテ起ス處ノ研究會ト共ニ開ク會議ノ外定期ニ集ルモノニアラズ唯時々人民ノ宗教、道德及ヒ教育上ニ關スル問題教育者ノ維持費等ニ關シ之ヲ開クコトアリ

監督教區ノ政治ニ此外見ル處ハ監督教區學校會議アリ此事ニ就テハ後段陳フルコトアルベシ此外貧困ナル教職者ヲ補助セン爲メ救濟掛ナルモノヲ設ク

(乙) 教區 監督教區ノ内ニアル總テノ宗教上ノ會社寺院ノ如キモノハ皆監督政

治ノ下ニ立ツモノナリ其内第一位ヲ占ムルモノハ教區ニテ教區ハ監督教區ノ依リテ以テ成立スル所ノ單位ナリト云フベシ教區ハ神ニ禮拜ヲナシ宗教上ノ儀式ヲ舉行シーノ會堂ヲ有シーノ長老ヲ有スル基督信徒ノ團體ナリ教區ハ監督教區ノ根本的ニシテ分析ス可カラサル單位ニシテ直接ニ監督ノ支配ヲ受クル一ノ獨立ナル宗教ノ團體ナリ其ノ教區中ノ教長及ヒ其他ノ役員ハ皆監督ノ配下ニ立テ其ノ職ヲ行フモノナリ十七世紀ニ於テハ司祭ハ教區ノ信徒ニテ撰フノ主義猶ホ幾分カ行ハレタリ尤モ其ノ幾分カハ既ニ其ノ地ニ長ク住スル司祭ノ子孫ノ世襲トナレリヘール第一世ノ時ニハ司祭ヲ撰フコト、世襲ニテ受ケ嗣クコトハ共ニ行ハレタリ其後世襲ニ依ルコトハ益廣ク行ハル、ニ至リ司祭ヲ撰ブコトハ殆ント一部ニ限レルコト、ナリタリ十八世紀ノ終リニ當リテ教會ノ主權ハ撰擧ヲ以テ之レヲ撰フハ教會ノ規則ニ反スルコト、ナシ千七百九十七年ニ於テハ全然之ヲ廢止セリ此故ニ教職者中ニテ血統ハ甚ダ重要ナルコト、ナリ男子ニテ後ヲ嗣クコト能ハサレハ女子ニテ後ヲ嗣キ之レニ婚シタル夫ハ其後ヲ得ルニ至レリ是レガ爲メ教育ヲ受ケタル教職者大ニ減少シ教會ニテモ國家ニテモ之レガ一ノ



困難トナスニ至レリ依テ千八百六十九年ノ法律ニテ教職者ノ世襲ヲ廢シ現今ハ何人ニテモ其教育ト道德上ノ資格ヲ有スルモノハ監督ニテ之ヲ命シ得ルコトニ改メタリ

今日ニテハ教區政治ノ代表者ナルモノハ司祭ニ在ラスシテ監督ノ撰ミタル特別ノ長老タルナリ此ノ長老ノ職權ハ教會ノ財産ト其ノ經濟及ヒ教會堂建築修繕其ノ維持及ヒ教會ノ會計ト其ノ收金ヲ保護スルニアリトス教區内慈善ノ事業ヲ司ルニハ祭司ト其ノ區内ニテ尤モ尊敬ヲ受クル信徒ニテ組織シタル救濟掛ノ設ケアリ然レトモ是等ノ救濟掛ハ必スシモ何レノ教區ニモ存スヘキモノニアラサルナリ

現今教區内教職者ノ維持ノ方法ハ甚タ不完全ナリトナサ、ルベカラス其收入ノ不同アルカ爲メ教職者ヲシテ教區ノ人民ノ補助ニ依頼セザルベカラザル位置ニ陷ラシメ爲メニ其神父トシテ牧會上必要ナル道德ノ權力ヲ行フニ妨ケヲ受クルコトアルナリ

是等ノ維持費ノ重ナルモノハ教會ノ儀式執行ノ爲メ信徒ノ隨意ニ寄附スルモノ

ナリ此寄附金ハ教職者ノ主ナル歳入ニシテ次ハ教會附屬ノ不動産ヨリ生スル收入ナルガ毎教區三十三ヨリ九十九ノ「デシヤチン」アリ又同時ニ其教區ノ信徒ノ寄附シタル土地ヨリ生スル收入アリ此外田舎ノ教區ニ於テハ信徒ニテ「ルガル」ト稱シ作物ノ寄附ヲナスコトアリ教職者ハ此外教會ノ家屋ヲ使用シ又教職者資本ヨリ生スル利益ノ收入ヲ受クル事アルナリ

然レトモ總テ是等ノ財源ハ不定不同ニシテ凶年ノ時ナレハ信徒ノ寄附モ不動産ヨリ生スル收入モ大ニ減シ爲ニ教職者ヲシテ往々困難ノ位置ニ立タシムルコトアリ教師館ハ必スシモ何レノ教區ニモ存スルニアラス假令存スル處ニテモ屢不適當ノ建物ニテ甚タ粗末ナルモノナリ教職者資金ナルモノハ多數ノ場合ニ於テハ甚タ僅少ニシテ夫レヨリ生スル收入一年ニ一教區十「ル」ブルスアルニ過ギサルコトアリ

故ニ教職者ニ一定ノ俸給ヲ給與スルノ問題ハアレキサンダー第一世ノ世ヨリシテ既ニ講究セラレツ、アル所ナリ然レトモ今日ニ至ルモ未タ其全體ノ解釋ヲ得ザルナリ



此世紀ノ四十年頃教職者ニ一ヶ年十萬ルーブルスノ金ヲ國庫ヨリ給與セシコトアリタルガ後間モナク此補助モ廢止セラレタリ然レトモ感謝久ヘキハアレキサ  
ンダー三世ノ請求ニヨリ聖務廳大檢事タルコベトノストセツスノ建議ニヨリ  
千八百九十三年以來國庫ノ補助ヲ仰グコト、ナリタルカ此補助ハ年々増加シツ  
、アルナリ然レトモ此補助モ唯其信徒ノ數少キ教區ノ教職者ニノミ給スルモノ  
ニテ例之バルチツク諸縣ウスチヲ諸縣ノ教職者ノ如キ是等ノ補助ヲ受クルモノ  
ナリ千八百九十二年乃至三年ニ於テ露國ニ於ケル教區ハ三萬五千八百六十五ニ  
テ其一教區平均ノ人口二千ナリ其内七百八ノ大寺院ト三萬五千五百四十六ノ教  
區教會堂ト九千七百四十二ノ墓地附屬私立教會ト一萬七千九百九十五ノ小會堂ア  
ルナリ白衣ノ教職ハ四萬二千五百十三ニテ内執事職ハ一萬二千九百五十三此外  
諸種ノ教職四萬三千九百二十五ニテ總計九萬九千三百九十一人ナリ教區ノ内國  
庫ヨリ補助ヲ受クルモノ一萬八千九百三十六ニテ金額合計六百四十三萬六千五  
百三十三ルーブルス即チ一教區三百四十ルーブルスノ割合ナリ教區ノ救濟掛ハ  
一萬四千五百六十四ノ教區ニ在リ其ノ寄附金ハ二百五十六萬五千ルーブルスニ

シテ其内十七萬四千ルーブルスハ教役者ノ維持ニ用ヒ三十五萬八千ルーブルス  
ハ學校及ヒ慈善會ニ用ヒ二百萬ルーブルスハ教會堂ノ維持並ニ修繕ニ用ユ此外  
種々ノ寄附金千五百三十六萬五千ルーブルスノ多キニ達スレトモ其内教職者ノ  
手ニ入ルモノハ十八萬八千五百ルーブルスニ過ギス

(丙) 脩道院。監督教區第二ノ要素ハ脩道院ナリ十八世紀マテハ吾人カ前ニ掲ケ  
タル如ク其設立ハ甚タ容易ニテアリタリ然レトモペートル大帝ハ宗教條例ナル  
モノヲ定メ當時深キ考ヘナクシテ脩道院ニ入ルモノ多ク中ニハ兵役ヲ逃レン爲  
メ之レニ入ルモノ多キカ爲メ社會ノ全體ニ宜シカラサル結果ヲ生ジタルカ故之  
レヲ制限スルノ目的ヲ以テ之ニ對スル嚴酷ナル法律ヲ定メタリ此法律ノ結果ト  
シテ脩道院ニ入ル者ノ數ヲ減ジタルハ勿論政府ハ之ト同時ニ脩道院ノ不動産ヲ  
減少スルノ方法ヲ採リタリ是レ大公爵エワン三世ノ世ニ於テ生ジタルモノト同  
ジク十八世紀ノ初ニ當リテ教會ノ不動産ハ政府ノ管理スル所トナリ監督モ脩道  
院ノ院長モ其收入ヲ勝手ニ使用スルコト得ザルコト、ナリ彼等ハ皆一定ノ俸給  
ヲ受ケ其他ノ收入ハ國家及ヒ社會ノ必要ニ應シテ之ヲ使用シタリ或ル時ハ教會



不動産ヲ沒收シ之ヲ以テ政府ノ負債ヲ拂ヒ又ハ役人ニ給與シ又ハ或ル事業ノ爲メニ寄附シタルコトモアルナリペートル第一世ノ治世ノ終ニ當リ教會不動産ノ監督權ハ再ヒ教會ノ手ニ歸シタリ然レトモ當時ハ國家ノ必要ヲ充ス爲メニ屢非常ナル寄附ヲ爲サ、ルヲ得ザル境遇ニテアリタリ其後教會不動産ノ取扱ニ關シテ或時ハ聖務廳ニ托セラレ或時ハ元老院ニ托セラル、コトアリテ種々變化ヲ見タルカエリサベタベツロウナ帝ノ治世ノ終ニ當リテ一時脩道院ヲ以テ現世ノ生命ヲ棄テ世俗ノ束縛ヲ脱ル、モノトナシ悉ク其財産ヲ奪ヒ取リタリ而シテカザリン第二世ノ即位ニ於テ千七百六十四年ニハ總テノ教會財産ヲ以テ國有ト爲セリ之レカ爲メ九十一萬〇八百六十六人ノ男子ノ奴隸ハ悉ク政府ノ手ニ歸スルコトトナリ之レト同時ニ監督ノ住家及ヒ脩道院ニ對シテハ一定ノ收入ヲ定メ凡テ之レヲ以テ三種ニ分チ其維持ノ爲メニ一定ノ金額ヲ給與セリ唯必要ノ地所及ヒ牧畜場脩道院附屬ノ建物ハ例外ト爲シ是等ハ多クノ場合ニ於テ今日マテ存在セリ十八世紀ノ終ニ當リテ脩道院ノ數ハ凡ソ其半ニ減シ之ヲ新シク設立スル場合ニハ皇帝ノ勅裁ヲ仰カザルヲ得ザル事トナリタリ然レトモパウロ一世殊ニアレ

キサンダー一世ノ時ニ於テハ黑衣ノ教職ノ數ハ再ヒ増加シ脩道院ノ不動産ヲ得ルノ權ニ付キ新シキ特權ヲ得タリ千八百九十三年ノ終リニ於テ脩道院ノ全數ハ七百四十二ニシテ其ノ内五百七八男子ノ爲メ二百三十五ハ女子ノ爲メナリ僧侶ノ數ハ七千四百六十四ニシテ僧尼ノ數七千五百六十六ナリ此ノ外六千五百五十二ノ僧侶ト二萬千七百五十八ノ僧尼アリ其總數四萬二千九百三十人ナリ脩道院ノ内監督ノ住家ヲ設ケアルハ六十四ニシテ脩道院ノ多數ハ監督ノ直轄ノ下ニアレトモキープノベツヤルスキー、トロウチー、セルギウイキー、ヘールスホルグニ於ケルアレキサルダー、子ルスキー、ヴオヒニヤ縣ポーチャウエスキーノ如キ此外七個ノ脩道院ハ直接聖務廳ノ管轄ヲ受クルモノナリ

(丁) 傳道事業及信仰ノ守護 現今露國ニ於テハ猶多クノ異教ノ土民アルナリ福音ノ光ヲ以テ之ヲ教化スルコトハ現今モ昔時ト同シク正教會ノ重要ナル責任ナリトス然レトモ土民ノ多數ハ遊牧ノ生涯ヲ送ルモノニテ而モ其牧畜ノ境域ハ莫大且ツ各處ニ散布スルモノナレバ是等ノ土民ニ向テ布教スルハ定住ノ教職者ノ能クスヘキ處ニアラズ殊ニ土民カ會集ニ對シテハ屢特別ナル準備ト熱心ト獻身



トヲ要スル事ナレバ異教ノ土民多キ處ニハ特別ノ傳道會ナルモノ、組織アルヲ見ルシベリアノ如キハアルタイ、キルギース、チューク、カムチヤカトランスバイカルイルクーツクノ六個ノ傳道會ノ如キ是レナリ亦タ歐洲露國ニテハアストラカン傳道會ノ傳道トカザン地方ニ於テハ監督グーリーノ同胞會ノ傳道アルナリ近時ノ宣教師中特ニ著名ナルハモスコイノ府監督イーンノケンテイ(千八百七十一年ニ死ス)ナリトス彼ハ猶司祭タリシ時彼自身ノ發意ニテイルクーツクヨリ五千露里ノ外ニ出テウナラスシカノ島ニマテ傳道ヲ試ミタリ茲ニ留マルコト大凡十年アリトノ語ヲ學ヒ福音書ト祈禱文トヲ之ニ譯シ學校ト教會ヲ建テタリ夫ヨリシツサノ島ニ移リタルカ此所ニ於テモ土民ノ國語ヲ學ヒ其國語ニテ彼等ニ道ヲ傳ヘタリ彼ハカムチヤカノ監督ニ舉ケラレ千八百五十三年ヤクーツクニ移リコヽニヤクーツク語ヲ學ヒ福音書ト祈禱文ト讚美歌ヲ翻譯シ三十萬ノヤクーツク人ヲ改宗セシメタリ四年ノ後ニ至リ此大監督ナルイーンノケンテイハ其住所ヲアムール河ニ於ケルブラゴウツシユチエンスクニ移シ茲ニ亦數千ノモンゴリア人ヲ改宗セシメタリ斯クシテ遂ニモスコイノ府監督トナリ正教會ノ傳道會社ヲ改メ其一生ノ勤ヲ全

フシタリ此傳道會社ハ監督ノ教座アル町々ニ委員ヲ設ケ宣教師ヲ維持シ會堂ノ建築ヲ設計シ聖書ノ翻譯ヲ出版シ教職者ノ爲メニ圖書館ヲ開キ學校及ヒ病院ヲ設ケ新改宗者ヲ補助スル等ノ事ヲ爲スナリ

高加索ニ於テシベリヤノイーンノケンテイト同様ノ功績アルハジヨジヤノ「エキサル」フエオブヒラクト氏ナリ十八世紀ノ頃ニ於ケル改宗者ハ既ニ千ヲ以テ數ヘラレタルガフエオブヒラクトヲ布教ニテ更ニ四萬有餘ノ土民ハ改宗シ四千有餘ノ會堂ハ建築セラレ教會ノ禮拜式ヲオスセラニヤン語ニテ出版セリ千八百五十九年コヽカサスノ地方ガ露領トナリタル以來ハ教會ノ傳道ノ活動ハ愈々其熱度ヲ加ヘ千八百六十年ニ於テチプリスニテコヽカサスニ於ケル正教ノ復興會ナルモノ設立アリタリ其ノ後露國教會ハ宣教師ヲ他國即チユダヤ國支那及ヒ日本ニ派遣シ北米合衆國ニ於テハアリシユヤ監督ノ下ニ布教ヲ試ミツヽアルナリ

異教徒ノ改宗ト同時ニ宣教師ハ定住ノ教職者ト力ヲ併セテ異端者及ヒ異宗派ノ主唱者ト劇烈ナル競争ヲナシツヽアルナリ即チ說教ニヨリ其教派ノ代表者トノ討論ニヨリ監督ノ家ニ於テ非教派的ノ圖書館ヲ設ケ學校ヲ開クニヨリ箇人トノ



對談ニヨリ此競争ヲ勉メツ、アルナリ此事業ニ於テ最モ功績アルハ教職者ト平人ノ間ニアリテ古來神靈的ノ恩寵ノ業ニ從事スル教會ノ正教同胞會ナリ此ノ同胞會ノ歴史ハ此同胞會ノ事ハ更ニ國民教育ノ章ニ於テ詳述スベシ爰ニ掲グルコトヲ爲サマルカ吾人ハ單ニ千八百六十四年ノ法令ニ從ヒ其ノ全體ノ職務ハ左ノ四箇條ニアルコトヲ明言スヘシ即チ教區ノ學校ヲ設立スルニ於テ現ハル、處ノ宗教及ヒ教育ノ職務、異端者及ヒ異宗派ヲ主張スルモノニ對スル傳道ノ職務、慈善及ヒ會堂新築ノ職務ニアルナリ

正教信仰ノ理會ト其敬虔ヲ堅フスルコトハ種々ノ會ニヨリテ勉メラレツ、アルナリ先ツ此ノ主意ニヨリ宗教道德及ヒ教育ノ傳播會ナルモノアリテ教會内ノ宗教道德ノ教育ヲ進ムルノミナラス製造場及ヒ工場ニ於テモ同様ノ働チナスナリ

次ニ大公爵セルギヘー、アレキサンドロウツチ殿下ノ保護ノ下ニ正教會バレスチナ會ナルモノアリテバレスチナニ於ケル正教ノ保護ヲナシ其ノ聖地及ヒアソス山ニ年々露國ヨリ至ル順禮者ノ補助ト聖地ノ探檢ヲナスニアルナリ此ノ會ハ各地ニ其ノ支會ヲ設ク又神母會ナルモノアリテ恒ニ聖務廳ノ大檢事ナルポーベド

ノストセフ氏ノ宅ニ會合ヲ爲スナリ終ニ露國ニ於ケル聖書會社アリ此會ハ露國ノ各部ニ書店ヲ開キテ其出版ノ聖書ヲ販賣シ東部シベリヤ及ヒトルキスタン等ノ遠隔ノ地ニハ聖書販賣者ナルモノヲ送りテ之レヲ販賣セシム其ノ書ハ最モ廉價ニ販賣セルモノニシテ貧者ニ對シテハ大ナル割引ヲ爲シ若シクハ無代價ニテ之レヲ給與スルコトアルナリ千八百六十三年此ノ會ノ設立以來千八百九十四年一月一日ニ至ルマテ此ノ會ニテ配布シタル聖書ノ數ハ百六十五萬八千部ナリ英國ノ聖書會社モ亦我國ノ多クノ市邑ニ其支店ヲ設ケ更ニ大仕掛ニテ聖書ヲ販賣スルナリ

終リニ聖書及ヒ他ノ宗教書類ノ正確ナル出版ヲ保護セン爲メニ露國ノ重ナル監督所在ノ都會ニテハ書籍檢閱委員ト聖務廳ノ監督ノ下ニアル檢閱官ナルモノヲ設ク

(戊) 神學校 吾人ハ殊ニ教職者ノ養成ノ爲メニ設ケラレタル神學校ニ付テ數言ヲ費スベシ

ペートル帝以前ニ存シタル學校ニ付テハ吾人ハ何モ言フコトナカルベシ當時凡



テノ教育ハ宗教的ノ教育ニシテ教職者ハ凡テ教育ヲ爲ス學校ニ於テ養成セラレ  
 タリベトトル大帝ノ下ニアリテ初メテ普通教育ト宗教々育ノ分界起リ宗教條例  
 ニ從ヒテ教職者ハ特別ナル養成ヲ受クルモノト定タメテ千七百三十年總  
 テノ監督教區ニ於テ神學校ヲ設ケ之レニセシナリ」ノ名ヲ命スベシトノ法令出  
 テタリカザリン第二世ノ世ニ於テ又大小ノ神學校ノ組織ヲ設クヘキ企圖アリタ  
 レトモ其企圖ハアレキサンダー第一世ノ代ニ於テ始メテ行ハレ大神學校即チ高  
 等神學校ノ設立アリ千八百八年及ヒ千八百十四年ニ於テ神學教育ノ組織ノ制定  
 ナ見タリ

現行法タル千八百八十四年ノ法律ニ從ヘバ神學校ノ間ニ於テ「セシナリ」ト「アカ  
 デミー」ノ別ヲ爲シ「セシナリ」ハ中等教育ノ位置ニアリ「セシナリ」ノ六年ノ學課  
 ナ了リタルモノハ「アカデミー」ニ入ルカ又ハ直ニ司祭トナルヲ得此外神學若シク  
 ハ他ノ初等學校ノ教師トナルコトヲ得ルナリ故ニ「セシナリ」ハ師範科ト神學校  
 ノ用ヲ爲スナリ司祭ハ唯靈ノ助ヲ爲スノミナラス病中ニ於テハ肉ノ助ヲモ爲ス  
 ヘキ必要アレハ千八百九十二年以來ハ或ル「セシナリ」ニ於テハ醫學ノ教授ヲモ

始メタリ現今ノ「アカデミー」ハ所謂神學ノ大學科ニテ正教ノ精神ニ於テ最モ高尙  
 ナル神學ノ教育ヲ施シ牧師及ヒ神學ノ教授ヲ養成ス其學科ハ四年ナリ  
 神學教育ノ學校ト之ヲ學ブ所ノ生徒ノ數ハ千八百九十三年ノ統計ニヨレハ左ノ  
 如シ

アカデミー	校數	生徒數
アカデミー	四	八百八十四
セシナリ	同	五十五
同	同	一萬八千五百九十七
學校	同	百八十六
同	同	三萬一千百十
合計	同	二百四十五
同	同	五萬〇五百九十一

(「アカデミー」ハ聖ペートルスボルグモスコ、キーフ及ヒカザンノ四ヶ處ナリ)  
 「セシナリ」ニアル生徒中七百五十四人ハ將來宣教師ノ事業ニ從事スル目的ヲ以  
 テ其土民ノ國語ヲ學ヒツ、アルナリ

第五節 異教派信徒ノ管理

此章ヲ終ルニ他ノ基督教ト非基督教トノ管理ハ内務省ノ異教局ニアルコトヲ揭  
 ケ置クベシ



(甲) 基督教中ノ異派 露國ニハ十二ノ天主教ノ監督教座アリ其首長タルモノハモギレフノ監督ニテ常ニ聖ペートルスボルグニ住シ露國帝國及ヒフィンランドノ大公爵領地ノ全天主教會ノ府監督ナリ然レトモポーランド王國ノ監督教區ハ其配下ニアラス府監督ノ管理ノ下ニ天主教ノ神學校アリ府監督及監督ハ羅馬法王ノ認可ヲ得テ皇帝ノ勅命スル處ナリ六箇ノ監督教區ニハ副監督ノ設ケアリ而シテ其教區ノ管理ニ就テ監督ヲ補佐スル爲メ二十二ノコンシストリーアリ監督教區ハ之ヲ小教區ニ分チ各教區教長ノ下ニ司祭及ヒ副司祭アリ而シテ毎監督教區ニハ天主教ノ神學校アリ聖ペートルスボルグニアルモノヲ以テ神學アカデミートナス

露國ニアル福音的ルーテル教會ハ之ヲ五ノ大教區ニ分チ之ヲ再ヒ多クノ小教區ニ分テリ各教區ノ首領ヲ牧師トナシ牧師ハユリーフ大學ノ神學科ヲ卒業セシモノカ又ハコンシストリー(教會々議)ノ試験ヲ經タルモノナリ彼ヲ補佐スルニ三年毎ニ改撰セラル、教會ノ保護役及長老アルナリ市町ニテハ教會々議ト稱スル教會役員ノ會アリ教區ノ監督ニハ教長(フロオスト)ナル役員アリテ之ヲ司トリ大教

區ノ監督ニハコンシストリーアリ其會長ハ平人ニシテ其副會長ハ教職ナリ彼ハ説教者、牧師等ノ接手禮ヲ掌トル其全體ヲ支配スルタメ聖ペートルスボルグニ中央コンシストリーアリ此外政府ハ必要ノ場合ニ於テ地方ト中央ノコンシストリーノ役員ノ大會ヲ召集スルコトアルナリ

アルミニアノグレゴリヤン教會ハ露國ニテ六箇ノ監督教區ヲ有ス此ノ教派ハ外ニペルシヤニ六箇ノ教區トトルコニ十八ノ教區ヲ有セリ露國及ヒペルシヤノ教區ハ露國ニアルエチミヤジムノ教宗ノ管下ニアリ此ノ教宗ハハイク人ノカソリマスト稱スカソリマスハ四監督トエチヤ人ノ會ト稱スル四會議ヲ管理ス其會員ハ皇帝ノ勅撰スル處ナリ信仰ノ問題ニ於テハ其會議ハカソリマスニ服從セザルヲ得ザレトモ教會政治ノ問題ニ於テハ或ル特權ヲ有スルナリ然レトモ或ル問題ニ關シテハカソリマス若クハ皇帝ノ勅裁ヲ仰ガザルヲ得ザルナリ

カソリマスヲ撰ブハ其會議ト監督教區ノ教職者及ヒ平人ノ代人トエチヤジムニ住スル大監督若シクハ監督ノ會議ニ因ルナリ各監督教區ニ神學ノセシナリーアリ又エチヤジムノ修道院ニ附屬シテ一ノアカデミーアリ



(乙) 非基督教徒。ユダヤ人ハ其會堂ト祈ノ家ヲ有シ常ニ會堂若クハ學校ニ出席スユダヤ人ハ一ノ祈禱ノ會社ヲ組織シ之カ爲メニ學者長老會計ノ三役ヲ設ケ三年毎ニ之ヲ改撰スルナリ其上ニラビナルモノアルカ此ハラビ學校ヲ卒業シタルモノ若シクハ他ノ中等若シクハ高等學校ヲ終リタルモノナリ内務省ニ附屬シテ定期ニ其會ヲ招集セラル、ラビ委員ナルモノアリ

「カライム教ノ人々ハ其教ノ首領ガハム」ヲユバトリア及ヒトロキーニ有ス「モハメット教徒ハオーハーニ於テ三年毎ニ改撰スル二人若シクハ三人ノ「モートス」ニテ主宰スル教會ヲ議ヲ有シ此外一人ノ「ムステイ」六人ノ「ガラス」ニテ成立ツ「ダウリク」宗教會ナルモノヲシムヘルポールニ設ケ是等ノ會ニテ宗教家ノ總テノ候補者ヲ試験ス

トランスカスピアン「モハメット教徒ハ二宗ニ分チ其一ハ太陽宗ト稱スルモノニテ一人ノ「ムフテイ」ヲ其教主ト仰ク他ノ一派ハ「シアイト」ト稱スル宗派ニテ唯「セーグール」ノ教授ヲ承認ス

「ラマ教」ノ教職ノ數ハ法律ニテ定メラル、トコロナリアルムグス人ニテハ「ラマ

ハ僧侶長ノ職名ニテ政府ヨリ一定ノ俸給ヲ受ク彼レハ他ノ僧侶ヲ撰定シ「ラマ」寺院ノ長タリ東部シベリヤニ於テハ其寺院三十四アリテ各寺院ハ僧長ヲ管理スル處ニテ彼等ノ間ニハ「ラマ」ノ外「ゲル」レグス「グツ」ールス「バレ」ディース「ハバ」ロックス」等凡ソ二百五十ノ名稱アルナリ

## 第二章 國民教育

### 第一節 キーフ時代(十世紀乃至十三世紀)

國家ニ於テ學問ト文化ノ普及ヲ獎勵シタルハ基督教ノ輸入ト同時代ニアリトス歴史ノ記スル所ニヨレハ聖ウラヂミル公ハ九百八十八年ニ於テキーフ人ニ洗禮ヲ施シタル後其市民眞家ノ子女ヲ集メテ之ニ學問ヲナサシムヘキコトヲ命シタル歴史ハ更ニ之ニ加ヘテ云ヘリ是レ等ノ子弟ノ母等ハ自ラ未タ其信仰ニ確立セサリシガ故ニ恰モ其子女ガ死シタル如ク其子女ノ教育ヲ受クルコトヲ悲ミタリト斯テ信仰ト學問ハ共ニ進ミ只信仰ノナキモノ、ミ學問ヲ恐レタリ當時學問ノ需要甚タ大ニシテグリース及ヒボルゲリヤヨリ來リタル教職者其數少カラザリ



シモ既ニ基督教ノ傳播シタル地方ノミノ需要ヲ滿タスニ足ラザリシ露國ニ於テ其國民ヨリ司祭ヲ養成スルハ必要ノ業ニテアリタリ之ト第一ノ府監督ミケールガ聖ウラヂミルニ學校ヲ設立センコトヲ請ヒタル所以ナリウラヂミルハ其請ニ從ヒ教會ト連帶シテ學校ヲ開クコトヲ各地ノ司祭ニ命シタリウラヂミルノ子ニテ賢明ト稱スルヤロスラフ一世ハノウゴロツトニ於テ一ノ學校ヲ設立シ子女ヲ教訓セン爲メ司祭ニ特別ノ俸給ヲ給與シタリ

史ニ曰ク或者ハ田ヲ耕シ或者ハ之ニ播キ而シテ或者ハ之ヲ刈リテ豐ナル食ヲ得ル如クウラヂミル公ハ國民ニ洗禮ヲ施シテ其心ヲ耕シ之ヲ柔ラケタリ其子ヤロスラフハ書籍ノ言葉ヲ以テ之ニ播キ而シテ吾人ハ今學問ナル果ヲ受ケテ之ヲ收穫スルナリ

ウラヂミル及ヒヤロスラフノ位ヲ繼キタル其ノ繼續者ハ文化ノ普及ヲ計ルニ於テモ亦其ノ繼續者ナリキ當時ノ歴史ニヨレハスモレンスクノ附庸ノ君タルローマンロステツスラヒツツ千八百八十年ニ死スハ大ナル學者ニテ學校ヲ建テ人民ノ教育ヲ獎勵シ自費ニテグリーキ、ラテンノ諸教師ヲ雇聘シ其財寶ヲ悉ク學問ニ

費シタルカ故其死スルニ當リテ埋葬ノ費用ヲ辨スルニ由ナクスモレンスクノ人民ハ之カ爲メ寄附金ヲ募集スルニ至リタル程ナリ凡テノスモレンスク人ハ彼ガ人民ニ對スル親切ナル行爲ヲ了解シタルカ爲メ大ニ其死ヲ惜ミタリ是レ彼等ハ彼カ與ヘタル學問ノ利益ヲ理會シタルヲ云フナリ之ヲ以テ彼ノキープニ於ケル母等カ其子女ノ學校ニ行クヲ嫌ヒテ恰モ其子女ノ死スルカ如ク之ヲ悲ミタルコトニ比スレハ二百年ノ後ニ於テ如何ニ人心カ一變シタルカヲ知ルヘシギヤリジャノ王ニテオスモニミズルト稱スルヤロスラフウラヂミルロヴキツ(一千八百八十八年ニ死ス)ハヒザンテユムト親密ノ交通ヲナシ學校ヲ組織スルニ大ニ勉メタリコンスタンチーンウセロドヴキツ公(千八百八十六年乃至千二百十八年)ノトキニハウラヂミールニ於テ學校ハ特ニ繁榮ヲ極メタリ此公ハ教育ノ爲メ少カラサルノ金員ヲ費シタリ公爵夫人等モ學校ヲ建ツルニ於テハ頗ル熱心ニテアリタリウセロツトヤロスウラウキツチ六公爵(千三十年乃至千九十三年)ノ息女アンナハ其ノ父ノ建テタル寺院ニ入りテ尼トナリ多クノ若キ女ヲ集メテ之レニ讀書ト習字ト手仕事ト歌ト裁縫ト外ノ有用ナル學問ヲ授ケタリ聖イフロシネ、ボロツツカヤ女千



百七十年ニ死スハ又其學問ニヨリ有名ナリキ  
 以上掲ケタル諸例ハ國家カ輻輳時代ノ前ニ於テ國民教育ニ對シ如何ニ勉メタル  
 カチ示スニ足ラン此事業ニ於テ國家ノ重ナル補助者ニテ協議者タリシハ教職者  
 ナリ學校ハ教會及ヒ寺院ニ連帶シテ設ケラレ其ノ教師ハ重モニ教職者ナリキ即  
 チ司祭脩道者及ヒ他ノ教職ナリボゴジンノ語ニヨレハ孰レノ新シキ監督教區モ  
 新シキ教育區トナラザルハナシト何トナレハ孰レノ監督モ其配下ニ於テ其學校  
 ナ有セザルハナク彼等ハ常ニ其教民ニ學問ノ好例ヲ與フレバナリ其後孰レノ教  
 區ニ於テモ一個ノ教會ニ附屬シテ必ス一個ノ學校アリタルカ又ハ多クノ教會ニ  
 附屬シテ一個ノ學校アリタリ現今存スル所ノ材料ヨリ定ムルハ極メテ困難ナリ  
 然レトモ學問ト宗教ガ教會ト教職ノアリシ所ハ必ス共ニ行ハレタルコトハ疑フ  
 ベカラス教會的學校ハ先ツ當時ノ第一ノ必要タル牧師養成ノ必要ヲ滿タシタリ  
 サレド是等ノ學校ヲ以テ現今ノ意義ニテ神學校ト稱スルハ寧ロ不當ノコトナリ  
 是レ等學校ハ通常ノ初等學校ニテ教職ハ始メヨリ明カニ只教育ト學問トハ宗教  
 ノ真正ナル智識ト又其真正ナル基督教的ノ道德ニ導クコトヲ承認シタリ是レ古

代ニ於テ教會ノ高貴ナル教職モ亦諸侯等モ高等ノ教育ヲ重ンジタル所以ナリ學  
 問ハ諸侯ノ君主ノ缺ク可ラザルコト、ナリ父ヨリ子ニ傳フル契約ノ一トナリタ  
 リ當時著名ナル學者ハ只教職ノ内ニ見ルノミナラズウラヂミルモノマツク、ダニ  
 エルザツチニクノ如キ平人ノ間ニモ見ル所ナリ只教職者ノミガ學問ヲ專ラニセ  
 ザリシ事ハ其時代ヨリ今日ニ傳ハリ來リタル古書ノ多クニヨリテ證明セラル、  
 處ナリ是等ノ多クハ宗教ニ關セザル書類ニテ必ズ多クノ平人ノ讀者ヲ有シタル  
 コト疑フベカラズ當時學問ハ何レノ位置ニアル人ニテモ必要ニシテ是レガ成功  
 ニ缺クベカラザルモノナリシコト明カナリ  
 是等ノ事實ト古代ヨリ今日ニ傳ハリタル多クノ古書ハ其著者ノ造詣淺カラザル  
 コトヲ證明スルモノニテ古代ノ露國ニ於テハ初等學校ノ外高等ノ學校ノ存シタ  
 ル假定ヲ起サ、ルヲ得サルナリ此假定ハ甚タ自然ノモノナレトモ一モ直接ノ證  
 據ニヨリテ證明スルヲ得ザルナリ吾人カ知ル處ノ學校ハ悉ク初等學校ニテ之レ  
 ニ教フル所ハ、スラチニツク語ノ讀書ト習字ト教會ノ唱歌ニテアリタリ先ツ學校  
 ニテ教フル處ハアルフアベツトニテ是ヨリ當時ノ教科ニテ唯ニ僧侶ナルノミナ



ラズ貴族及び平民ノ尤モ好テ讀ミタル詩篇ヲ教ヘタリ是レ西部歐洲ニ於テ讀書ト習字ヲナシ得ル人ヲ中世ニテ「サルテラテ」(詩篇學者)ト稱シタル所以ナリ習字ハ如何ニシテ教ヘタルカ其方法ニ關シテハ一ノ記録ノ存スルモノナシ當時ハ習字ヲ以テ一ノ特別ナル技藝トナシ之ヲ爲シ得ルモノヲ大ニ尊敬シタリ此技ハ特ニ當時必要物トシテ何ノ書籍モ之ヲ贈寫シテ寺院若クハ圖書館ヘ備ヘ置クコトトナシタリ終ニ唱歌ハ只僧侶ノミナラス凡テノ平人ノ尤モ好テ學ヒシ技ナリ此外ニ何ヲ學校ニテ教ヘタルカ之ヲ確實ニスルコト極メテ難シ或ル學校ニ於テハ或ハ此外文法書ヲ教ヘタルコトアルヤモ知ルヘカラス或ハ算術モ之ニ教ヘタルコトアルヤ知ルヘカラス何トナレハ算術ハ當時既ニ行ハレタルモノニテ其ノ問題ノ存シタルモ知ルコトヲ得レハナリ然レトモ當時ノ所謂學問ナルモノハ讀書習字唱歌ノ三科ニテ其他ノ智識ハ獨學ニテ得タルモノニテ當時ノ文學ガ重ニ宗教上ノ文學ナリシハ明ナリ

當時ノ學科ハ如此比較的ニ僅少ナリト雖モ我カ祖先ノ必要ヲ滿タシタリ何トナレハ之ニ依リテ聖書ノ智識ニ門戸ヲ開キ教育ノ確實ナル基礎ヲ据ヘタレハナリ

基督教會ハ謙遜ト柔和ノ理想ヲ心靈的ノ功業ニヨリ表シタリ基督教ノ學校ノ爲ス所又之ニ同シ學校ハ只讀書習字ヲ教フルノミナラス生徒ニ宗教ノ眞理基督教の道德ノ智識及ヒ神ノ恐ルヘク勞働ノ尊フヘキコトヲ傳ヘタリ是レ等ノ教訓ハ鞭ヲ持チ又體罪ヲ以テ傳ヘラレタルニアラス柔和ナル教訓ヲ以テシタリ府監督ミケルハ其教訓ニ曰ク激ヲ用フルコトナク慘酷ニ流ルコトナク又憤ルコトナク只喜ハシキ恐ト親切ナル交際ト溫柔ナル教訓ト懇切ナル論議ヲ以テ彼等ヲ導クヘシトロストフノ監督聖リヨンテイーハ異教者ノ成年ニ對シ施スヘキ術ナキヲ見兒童ヲ招キテ宗教ノ眞理ヲ教フルコトニ定メ親切ヲ以テ之ヲ馴致シタリ古代ニ於ケル文化ト學校教育ノ普及シタルコトハ西歐ニ於ケルシヤレマンノ光榮アル時期ト比較スルコトヲ得ヘシ教育ノ普及ナル一點ニ於テハ古代ノ露國ハ或ハ西歐ノ當時ニ勝リタリト云フヘシ當時ノ教會ノ用語ハ全人民通用ノ語ニテアリタルカ爲メ教育ハ王侯ヨリ農民ニ至ルマテ普及スルノ便アリタリ

## 第二節 韃靼時代(十三世紀乃至十五世紀)

若シ韃靼ノ侵入ナカリセハ露國ニ於ケル其後ノ教育ノ發達ハ如何ナルモノニテ



アリタルヤ計リ知ルヘカラス最モ初等學校ヨリシテ高等學校ノ組織ニ及ヒタルハ自然ノ結果ニアリタルヘシ然レトモ驕人ノ侵入ハ學問ノ進歩ニ大打撃ヲ與ヘ初等教育以上ニ達スルノ餘地ヲ餘サマリシ露國ノ最良ニシテ人口ノ最モ稠密ニテアリタル部分ハ沙漠ニ變シ一國ノ文化ノ歴史ニ於テ最モ重要ナル安全ト平和ノ保證ハ全ク毀タレタリ教育ニ加ヘラレタル打撃ハ有形ノ上ニモアリタリ所々ニ設ケラレタル多クノ圖書館ハ敗滅ニ歸シ僅カニ後世ニ存スルモノハ其書籍ノ備最モ少カリシモノナリ當時ハ兵馬駑駘ノ際ニテ平民ノミナラス諸侯ノ君主等モ學校若シクハ書籍ニ就テ考フルノ時ヲ有セサリシ歴史家ソルウキーフノ言ニヨレハ曰ク「自ラ己ヲ保存セントスルノ念慮ニ導カレタルノ慣習ハ道德ノ品格ニ對シ思ヲ廻ラスノ時ナク單ニ物質上ノ刺撃物ニノミヨルコトニナリタリ若シ人民ノ財寶ヲ以テ寺院ニ隱閉セシナラハ道德ノ財寶モ亦之ト同シク安全ナル置場(沙漠ト脩道院)ノ必要ヲ感シタルヤ明ナリ」

サレト此時代ニ於テモ學問ヲ好ム人或ハ賢明ナル王侯ナキニシモアテサリシアレキサンデルネヴスキ(千二百六十三年ニ死ス)テユグユルノミケル公(千八百十

八年ニ死ス)ヴォルウキインノウラジミル公(千八百八十八年死ス)ノ如キ即チ其人ナリ然レトモ歴史ハ彼等カ學校ヲ設立シタルコトヲ告ケサルナリ是等ノ王侯ハ戰爭ト旅行ヲ以テ忙シカリシカハ彼等ノ子弟ハ正則ノ教育ヲ受ケル能ハス王侯ノ間ニテ學問ノ衰退ニ趣キタルヤ致シ方ナシドミットリードンスコイ(一千三百五十年—一千三百八十九年)ノ如キ歴史ニハ彼カ讀書ノ人ニアラザリシコトヲ掲ケワシリ暗君(一千四百十五年—一千四百六十二年)ハ全ク不學ノ人ナリキ王侯ニ於テ既ニ然リ平民ノ教育ノ如何ニ不足ナリシヤ之ニテ判斷スルヲ得ヘシ

只僧侶ハ蒙古人ノ下ニ於テ他ノ人民ニ比シテ較獨立ヲ有シタルガ神ト人ノ學問ノ保護者タルノ分ヲ全ウズルヲ得タリ此點ニ於テ我教會ノ功績アル疑フヘカラス凡テ不都合ナル事情ノ下ニアリタルニ拘ハラス僧侶ハ學校ヲ保存スルコトヲ得且其助ヲ以テ人民中學問ノ全滅ニ至ラサシムルコトヲ得タリ監督ノ住處ハ前ニ於ケルガ如ク教育ノ中心ニシテ監督自ラ僧侶ノ養成ト學校及ヒ圖書館ノ設立ト教會禮拜式ノ隆寔及ヒ普及ヲ勉メタリ此時代ニ於テ新シキ學校ノ設立アリタル事實ハ一ツモ見ザル所ナルガ唯ベリムノ地方ニハ聖ステヴンハ傳道ノ目的



ヲ以テ之ニ學校ヲ設ケタルヲ見ル學校ニテ教ユル所ハ前記ノ如ク讀書習字ト唱歌ノ三科ナリ僧侶ノ外ハ平民ノ教師即チ讀書家記録者及ヒ講談家ナル者アルヲ見ル然レトモ何レモ教會ノ保護ノ下ニアリテ教會ノ附屬者ノ内ニ數ヘラレタリ而シテ此三世紀ノ間ニ於テ學校ガ其功績ノ多ク失ヒタルハ慥カナリ

第三節 モスコイ時代(十五世紀乃至十八世紀)

(甲) 初等教育ノ景狀 統計表ニヨレハ十六世紀乃至十七世紀ニ於ケル初等教育ハ比較的廣ク普及セルコトヲ示セリ種々ノ記録ニ於ケル記名ニヨリテ計算セシモノニヨレハ己ノ名ヲ記シ得ルモノ白衣ノ僧侶ハ殆ト全體黒衣ノ僧侶ハ其百分ノ七十商人ハ百分ノ九十貴族及ヒ小貴族ハ百分ノ五十市民ハ百分ノ二十終ニ農民ハ百分ノ十五ナリ市民及ヒ農民ニ關シテハ是等ノ計算ノ結果ハ甚タ都合好ケレトモ貴族及ヒ小貴族ノ半ノ不文ナルニ至リテハ甚タ歎スヘキコトナリ何トナレハ一國政治上ノ責任ハ大臣ヨリ地方政治ニ至ルマテ悉ク此種屬ノ上ニアレハナリ又白衣ノ僧侶ニ關シテハ十六世紀ノ始メニ於テノゾゴロツドノ大監督タルゲナリーノ言ニヨレハ當時露國ニテハ人民ノ教導タル僧侶ヲ養成スル一ノ善良

ナル學校ナシト彼等々展教育ノ適當ナル方法ニ關シ何等ノ考モアラサル首僧ニ依リ教ヘラレタリ初等ノ教育ハ等シク受クレドモ其教育タルヤ堅固又ハ充分ナルモノニアラサリシナリ僧侶ニシテ既ニ善良ナル學問チ欠ク時代ナレハ全人民カ適當ノ教育ヲ受クルヲ得サリシハ無理ナラス學校ニ於ケル即チ然リ教育ノ性質如何モ之ヲ以テトスルヲ得ルナリ

宗教ニ於テ其意義ヨリモ其文字ヲ非常ニ尊ブ慣習ニ反スル思想ノ發達ハ此ノ時期十五世紀一十七世紀ニ起リタリ是古代ニテ宗教道德ノ眞理ヲ知ルノ器具トシテ學問ヲ貴ブソミナラス意義ヨリモ文字ニ重キヲ置キ文字ヲ學フヲ以テ學問ノ目的ト爲ス舊思想ニ反對チ起シタルモノニテ進歩ノ一徵候トナスヘシ然レトモ是只韃靼時代ノ學校教育ノ一般ヲ揭ケタルモノニテ其後ペートル大帝以前ニ於テハ國家ト僧侶ノ有力ナル運動ニヨリテ大ニ教育ノ面目ヲ改ムルニ至レリ

(乙) 希臘人ナルマキシム及ヒ暴君イヴァン モスコイノ大公イヴァン三世ノ妃ハ終ノビサントユム皇帝ノ姪ニテ其名ヲソヒイヤバラオログト稱セリ彼ノ入嫁ト共ニ露國ニテ當テ流行チ極メタルビサントユム文化ノ再興ヲ來シタリ彼ガ



其子ニ教育ヲ施シタル同時代ノ記録ニヨレハ其子ワツシリ、イワノウツチハ頗ル學問ヲ好ミタリ彼ハ其母ヨリ受繼キタル夥多ナル希臘ノ書類ヲ編成セント欲シ之カ爲メ學者ヲ需メタルモ露西亞人中一人ノ之ヲ爲シ得ルモノアラサリシカハ一千五百六年ニ於テアソスヨリ希臘人ニテ學力アル僧侶マキシムヲ招聘シタリマキシムハ博學ノ人ナルノミナラスハリスフロレンス及ヒベニスニ於テ種々ノ學問ヲ爲シタル人ナリ彼ハ伊太利ニ移リ文學復興ノ基礎ヲ西歐洲ニ据ヘタル多クノビサンテユムノ學者ノ一人ニテアリタルカ外國ノ大學ニテ其教育ヲ受ケタルモ其信仰ハ正教會ノ眞實ナル信徒ニテアリタリ彼ハ元大公ノ圖書編成ノ目的ヲ以テ露國ニ來リタルカ茲ニ留マルコト久シクシテ遂ニ其感情ニ於テ露國人トナリタリ彼ハ此國ヲ開明ニ導クコトニ頗ル熱中シ多クノ有爲ノ人物ヲ教育シタルカ其人々ハ其後露國道德及智識ノ發達ニ力ヲ盡シ自ラマキシムノ門弟ト稱スルコトヲ耻トセサリキマキシムガ第一ニ成就シタルハ聖經ノ訂正ニアリテ當時聖書ハ無學ナル謄寫家及ヒ翻譯者ニ依リテ誤謬ヲ傳ヘタル處少カラス彼ハ大ナル熱心ヲ以テ其誤ヲ正シ且當時ノ弊風タル文學ヲ崇拜スルノ風習ヲ攻撃シ我邦

ノ僞書ニ見ル所ノ虛僞ト迷信トヲ排斥シタリ不幸ナルコトニハ當時僞學者ノ勢力甚大ナリシカバマキシムハ之カ爲メ異端者トセラレ教會ヨリ放逐セラレ且ツ獄ニ投セラレ讀ムコトモ書クコトモ禁セラルハニ至リタリ

然シ彼カ播キタル種ハ其實ヲ生シタリイヴアン第四世ワジリウツチ位ニ即クニ及ンテ露國ノ文明ヲ計リ其福祉ヲ全フスル處ノ種々ノ善良ナル政畧ヲ施シタリ一千五百五十一年ニ於テハ「第百ノ教會々議」ト稱スル會議ニ於テ「ツアル」(皇帝)ハ當時教會内ニ存スル種々ノ弊風ヲ矯正スルノ問題ニ就テ其會議ニ列シタル監督等ノ意見ヲ徵シタリ其ノ問題ノ内ニハ何故ニ子弟ノ教育ハ不注意ナルヤ之ヲ矯正スルノ法如何ノ一問題アリタリ之ニ對シテ善良ナル司祭執事及ヒ妻帯シタル教職信仰堅固ナル人ニテ讀書習字ニ熟達シタルモノヲ撰ミ其家ニ學校ヲ設ケテ其子弟ニ總テノ心靈的ノ教訓ト共ニ讀書習字及ヒ唱歌ヲ教ヘ特ニ其子弟ノ品行ヲ清ラカニシ之カ成長シタル時ニ教職ニ堪ユヘキモノトナル様之ヲ養成スヘキコトニ定メラレタリ



教會々議ノ決議カ其實行ヲ見ルニ至リシハ當然ノコトナリ是ヨリシテ吾人ハ以前ニ存シタルカ如キ普通教育ノ學校即チ聖職候補者ノ養成ノ爲メ讀書習字及ヒ唱歌ヲ教フル學校ノ處々ニ開カレタルヲ見ルナリ學校ハ以前ト同シク宗教及ヒ教育ノ機關ニテアリタリ學校ノ教育ニ關シテハ第十六世紀ニ於テ其前紀ニ頽廢ニ歸シタル教育法ノ復興アルヲ見ル然レトモ何レノ點ニ於テモ舊慣ニ背キテ新法ヲ始ムルハ一般ノ人々ノ多ク忌嫌セシ處ナリ此一事ハ殊ニ印刷ノ歴史ニ於テ明ニ見ルヲ得ベシ一千五百五十一年ノ會議ニ於テツアル其他ノ不規律ト共ニ瞻寫家ニヨリテ聖經中ニ見ル處ノ誤謬ヲ舉示シタリ其ノ決議ニヨリ總テノ聖書ヲ審査シ之レカ書店ノ手ニアルモ亦ハ一箇人ノ手ニアルモノモ總テ不正ノ聖書ハ無代價ニテ沒收スルコトトナリタリ然レトモ不正ノ校本ヲ悉ク排除スルコトハ到底ナシ得ヘキコトニアラス故ニツアルハマキシムト賢明ナル府監督マツケノ注意ニ依リモスコーニ印刷所ヲ設クルコトニ決シタリ此印刷所ハ印刷局ノ名ノ下ニ一千五百六十三年四月十九日ニ開キタルガ一五六四年三月一日ヲ以テ印刷者イヴァンヘドロフ及ヒペートルテモツビーフニ依リ露國ニ於ケル第一ノ印刷

刷ノ書即チ使徒行傳ヲ完成シタリ其ノ次年ニハ新舊書ノ發行アリタリ我邦ノ最初ノ印刷者ハ其ノ技ヲ伊太利ニ於テ學ヒ或ハ伊太利ヨリ來リタル人ニ學ヒタルモノナルカ其ノ技術ノ精巧ナルハ著シキコトナリ此ノ技ノ專門家ノ評ニ依ルニ我邦ニ於ケル最初ノ出版物ハ其ノ美麗雅致ニ於テ甚タ擢出シタルモノナリトアリ然ルニ其ノ印刷者等ハ一千五百六十五年ニ至リテ異端ト書籍ノ正文ヲ亂ルトノ訴ヲ受ケモスコーヲ去ラザルヲ得ザルコトトナリ其ノ印刷局ハ暴徒ノ爲メニ燒カル、ニ至リタリ一千五百六十八年ニ至リテ再ヒモスコーニ於テ印刷局ヲ開キタルガ其ノ勢力昔日ニ比シテ甚ダ微ニシテ皆ニ瞻寫ノ本ガ印刷ノ本ト共ニ行ハル、ノミナラズ瞻寫ノ本ヲ求ムル人多ク是レガ爲メ多ク瞻寫家ニ豐ナル生活ヲ與ヘタル程ナリ

(丙) 西部露國ニ於ケル學校同胞協會 十六世紀ノ終ニ於ケルモスコー時代露國教育ノ狀況ハ以上掲ケタルカ如クナルガ西部及ビ南西部露國ニテハ其學校ハ他ノ方向ヲ執レリ而シテ此ノ影響ハ十七世紀ニ至リモスコーニマデ及ヒタリ此ノ地方ノ古代ノ露國人ハ重モニ正教ヲ奉スルモノナリシガ最初リスアニア國ニ併



セラレ後ポーランド王國ノ管理ヲ受ケタルカ爲メ其國人ノ奉スル天主教傳道ノ  
 壓制ヲ受ケタリシチスモンド、オーゴストス王ノ治下ニポーランドニ於テ大ナル  
 勢力ヲ得タルゼシユイツト派ハ學校ノ機關ヲ以テ重ニ幼年者ノ間ニ宣教ヲ勤メ  
 タリ爰ニ於テ正教ノ人々モ其教派ヲ保護スルノ手段トシテ同様ノ機關即チ學校  
 ヲ以テ之ニ應スルコトトナリタリ此舉ニ於テ其先鋒トナリタルハ西部露國ノ貴  
 族ナリ暴君イヴアンノ迫害ヲ逃レモスコヨリ逃レテ此地方ニ來リ其領地ニ住居  
 ヲ定メタル有名ナル貴族クルビスキーハ堅ク己ノ奉シタル正教ヲ護リ其教ヲ  
 保護セン爲メ東方教會ノ師父等ノ著シタル書ヲ自ラ譯シ又其翻譯者ヲ聘用シ其  
 書ヲ配布シテ天主教ノ勢力ニ對シテ正教ノ信徒ヲ護リタリ又コンスタンチンオ  
 ストロツゼスキークハ學校ヲ建テ凡テノ手段ヲ盡シテ天主教ト戰ヒタリ然レト  
 モポーランドニ併セラルハニ當リテハ是等ノ貴族ノ運動モ其効ヲ失ヒクルビ  
 スキー及ヒオストロツゼスキークノ子孫ハ他ノ貴族ト共ニ遂ニ天主教ヲ奉セザル  
 ヲ得サルヘカラザルコトニナリタリ然レトモ其市町ノ住民ニ至リテハ頑固ニシ  
 テ天主教ヲ奉スルコトヲ拒ミタリサテ西部ノ露國ニ於テハ教會及ヒ脩道院ノ保

護者ナルモノハ重大ノ權力ヲ有シタルモノナリ市町ニテハ此ノ權力ハ市町會若  
 シクハ同胞協會ナルモノ、專有スル處ニテアリタリ元來市町民ノ同胞協會ナル  
 モノハ其ノ目的慈善ニアリタリ後教會教育ニ關シ重大ノ權力ヲ有スルニ至レリ  
 同胞會ノ内最モ古キモノハ一千四百三十九年ニ起リタルガルオスクノ同胞會ナ  
 リウキロノー、キーフ、ルーツクモギレフオルシヤブレスト等ノ同胞會ハ之ニ繼  
 キテ起リタルモノナリ一千五百八十八年ニコンスタンチノーブルノ教宗エレミ  
 ヤニ世リスアニヤニ來リタルカ正教會ノ位置甚危險ナルヲ見テ之レヲ保護スル  
 ハ同胞會ヲ利用スルノ外道ナキヲ悟リ同胞會ニ重要ノ位置ヲ與ヘン爲メニ彼ハ  
 ルオフ及ヒヅキルノーノ同胞會ヲ擧ケテ教宗直轄ノ會トナシ其規則ヲ定メ同時  
 ニ新シキ同胞會ノ設立ヲ獎勵シタリ同胞會ナルモノハ此時期ヨリ其活動ヲ初メ  
 漸時重要ノ位置ヲ占ムルニ至レリ其手段トシテ用フルモノハ學校ノ設立ニテア  
 リタリ當時從來ノ教會學校ハ其學科狹隘ニシテ其必要ヲ滿タスニ足ラス當時ノ  
 人民ハ其學科ノ更ニ廣ク更ニ深キ學校ヲ需メタリ同胞會ノ學校ハ初等ニアラス  
 中等教育ノ學校ニテアリ其教化ハ語學ニテハギリキスラボニク、露西亞ヲテン



及ヒポーランドノ諸國語ヲ教ヘ其ノ外文法脩辭學詩歌論理學倫理學神學等ノ學科ヲ設ケタリ是等ノ學校ヨリシテ遂ニ眞正ノ高等學校ト稱スヘキモノ起リ一千五百八十九年ニ至リテキープノエビブアンノ教會ニ附屬スル同胞會ハヘレノスラホニツク及ヒラテン、ポーリス文學ノ學校ヲ起シタリ此舉ニ於テ其主ナル發起人ハ其府監督タルベートルモギラニテアリキ彼ノ盡力ト寄附ニヨリ此學校ハ千六百三十九年ニ之ヲ改造シテキープモギリアンスクノ高等學校トナシタリベールモギラハ有力ノ教授ヲ養成セン爲メ多クノ才力アル僧侶ヲ撰ヒ自費ヲ以テ外國ニ遊學セシメタリ是等ノ遊學生ノ歸國スルニ當リテ此校ハ西部歐洲大學ニ勇躍タル組織ヲ受クルニ至レリ其教育ノ方法ハ大體セシユイツト派學校ト異ナルナク教場ニテ用フル國語ハラテン語ナリシモ其精神ハ之ト異ニシテ正教會ノ辯護者露國民ノ說教者教導者ヲ養成スルニアリタリ其教育ノ目的ハキリスト教眞理ヲ論理的ニ證明スルニアリキ基督教ニ對スル凡テノ反對論ヲ提出シ來リテ悉ク之ヲ論破スルニアリ之レ哲學ト神學ニ基キタル論理學ニテ其ノ議論ノ形式ハ修辭學ノ方則ニ依ルナリ是レ等ノ學問ハ所謂スコラステスヅムト稱スルモノニ

シテ西部歐洲ニテハ十七世紀ニ於テハ已ニ衰退ニ歸シツ、アリタルモ我邦ニ於テハ之ニ反シ此世紀ニ起リ長ク其勢力ヲ維持シタリスコラステスヅムハ正教會教理ノ有力ナル辯護ヲ爲スノ外露國人ニ他ノ一利益ヲ與ヘタリ即チ學問ニ對スル尊敬ノ念ヲ起シタルコト是ナリ此學風ガ十七世紀ニ於テモスコローニ移リ來リ漸次當時ノ狡猾ニシテ青年ヲ誘惑ニ導ク教師ヲ排除シタリ當時ノ教師ニツキクールビスキーノ記載スル處左ノ如シ曰ク彼レ等ハ學問ヲ爲サント志ス勤勉ナル青年ヲ惑ハシ之レニ告グテ曰ク多クノ書ヲ讀ム勿レト而シテ其適例トシテ此人ハ多クノ書ヲ讀ミタルガ爲メ其才能ヲ失ヒタリ又彼ノ人ハ之レガ爲メ異端ニ陥リタリト指示セリ

(丁) ロマノフ家最初ノ皇帝ノ治世 露國教育ノ歴史ニ於テ第十七世紀ハロマノフ家最初ノ皇帝ノ賢明ナル誘導ニヨリテ著シキ進歩ヲ示セリ教宗ニコンノ許ニアリテ正教會ハ教理ノ問題ニ於テ法律ノ本文ニ拘泥スル讀經者其ノ他ノ教職者ニ向ヒテ激烈ナル攻撃ヲ始メタリニコン彼自身ハ此爭ニ於テ斃レタルモ彼方主張シタル主義ハ勝利ヲ奏シタリ從來ノ教會學校ハ増加セサルニアラサレトモ當



時ノ人々ハ其學課ノ區域猶廣キ學校ノ起ラン事ヲ切望セリボクスゴードノツフ  
 ハモスコーニ大學ヲ起サントノ考ヲ起シ多クノ青年ヲ外國ニ送リテ遊學セシメ  
 タリ其後ミケルフェオドロウキツチ帝ノ父タル教宗フレッドハ一千六百三十  
 三年ニモスコーニ於テチユードフ脩道院ニ連帶シグレコラテント稱スル高等ノ  
 學校ヲ設立セリ同時ニルチスチセフ、オルデンナシユチヨキン及ビマツトウエエ  
 フ氏ノ如キ賢明ナル人々ハキーフヨリモスコーニ多クノ學者ヲ雇聘シタリ露國  
 ニテ最初ノ新聞即チ「クランツ」ヲ發行シタルハオルデンナシユチヨキン氏ナリ又  
 マツトウエエフ氏ハ劇場ヲ開キ宗教的ノ劇ヲ演シタルガアレキシミツノハ  
 イロウキツチ帝ハ之ニ賛同ノ意ヲ表シタリ終ニ當時頽廢ニ歸シ居タルアンドレ  
 ーエブスクノ脩道院ニ學者ノ同胞會ヲ一千六百八十四年ニ起シタルハリチシチ  
 セフ氏ニシテ彼ハ之ニ連帶シテ學校ヲ開キタリ此同胞會ノ精神トナリタルハキ  
 ーフヨリ來リタル學者スラヴキ子ツキ其他ノ人々ニテアリタリ此人々ハ小露西  
 亞ノ露國ニ併セラレタル後モスコーニ來リタルモノナリ此會ハ翻譯ト著述ヲ初  
 ノ學校ニテハギリキ語及ヒスラボニク語ニテ教授ヲ施セリ

高等學校ノ組織ハモスコーニ來リタルギリキノ監督等ノ殊ニ主張シタル處ナ  
 リガサノ學力アル府監督バイシーリガリデス曰ク我ハ異端ノ洪水漲リテ吾人全  
 體ノ滅亡ヲ來ス處ニ學ヲ動ムルナリ我ハ之レニ二ツノ理由アルヲ發見セリ學校  
 へ欠乏ト聖經文學圖書室ノ不備コレナリオ、至聖至高ノ皇帝宜シクシオドシヤ  
 ス及ヒチヨスニヤンノ行爲ニ働ヒ爰ニ三個ノ語學ギリキ、ラテン及ヒメラボニ  
 ツクノ語ヲ教フル處ノ學校ヲ設クヘシト當時存シ居タルチユトドフ及ヒルチス  
 セフノ二學校ニ加ヘテ一千六百六十五年ニ第三ノ學校ハ小露西亞ノ人タルシニ  
 オンボロツキーニヨリテ設立セラレタリ此學校ハ從來ノ學校ニ反シ其學課ニグ  
 リーキ語ヲ加フルコトナク只ラテン語ト文法ト修辭學ト詩歌ト作文トヲ教ヘタ  
 リ此新舊二學校ノ相異ハ當時モスコーニテ互ニ競争シツ、アルニ大傾向ヲ表示  
 スルナリ東方ノ人々ハラテン語ヲ以テ正教會ニ危險ヲ來スモノトナシタルガ西  
 方ノ人々ニテ其代表者シミオンボロツキーハラテン語ヲ以テ最モ必要ナル語ト  
 ナシ詩篇及ヒ教科日程ヲ之ニ譯シタルカ之カ爲メ却テ正教派ノ頑固ナル人々ニ  
 惡感情ヲ與ヘタリ



第十七世紀中最モ勢力アリタルハ東方即チギリキノ傾向ナリトス當時ノ有名ナル人々ガ高等學校ノ設立ニ勤メタルノミナラスモスコニ於ケル神學者聖ヨハ子ノ教會ノ會員一同ハギリキ語ヲ以テ教授ヲナシ且唱歌ヲナス文法學校ヲ其教區ニ設ケンコトヲツアルニ請願セリ終ニツアルフエオドールハ一千六百七十九年ニ至リ露國ガギリキ人ヨリ得タル學問ノ光明ノ熾滅ニ至ラサル爲メ新ナルギリキ學校ヲ設立セリ當時ノ記録ニヨレバツアル及ヒ教宗ノ學校ニ對スル熱心ハ云フヘカラサル程ニテアリタリ或時ハ一處ニ居ル時ハ箇々ニ公ニ私ニ殆ント毎週學校ニ來リテ此新事業ニ其精神ヲ呼吹セサルハナカリシ其後ツアルハ其學校ヲ改メテアカデミートナサント望ミシメオンボロツキニ命シテ其規則ヲ起草セシメ此校ニ於テ教アル處ノ學課ハキープニ於ケル高等學校ト同様ノモノニ改メタリ生徒ハ何レノ種屬ヨリモ之ニ入學スルヲ得教員及ビ生徒ハ一體トナリ西歐洲諸國ノ制度ニ習ヒ自家ニ法廷ヲ有スルノ特許ヲ受ク此校ノ長トナリタルハ二人ノ學者ナルギリキ人ニテ東方ノ思想ヲ固守スルリクヒユダス兄弟ナリリクヒユダスノ設ケタル古典學ノ學科ハ左ノ如シ第一ハ文法ニテ之ヲ

下級之ヲ更ニ上級下級ニ分ツ中級及上級ノ三級ニ分テ教授ス次ハ詩歌ニテ其次ハ修辭學終ニ論理學ト物理學ナリ日曜日及ビ其他ノ休日ニ於テハ學校ノ生徒一同其校堂ニ集リ說教若クハ聖書ノ講義ヲ聞ク又或時ハ生徒自ラ講演ヲナスコトアルナリ教授ノ方法ハキープニ於ケルガ如ク純粹ニ學校的ナリシ

#### 第四節 ベートル大帝以前學校狀況ノ結論

ベートル以前ノ學校ノ狀況ヲ結ブニ於テ左ノ如キ大體ノ結論ヲ爲サルベカラズ學校ノ教育ハ専門的ニ非サリシ而シテ十七世紀マデハモスコニ統治ノ露國ニ於テハ初等學校ノミ流行ヲ極メタリ之レ教會學校ニテ專ラ品性ヲ養フコトヲ勉メタルニ由ル我國教育ノ歴史ニ於ケル此種ノ學校ノ功績ハ少々ニアラザルナリベートル以前ノ總テノ教職者及ビ學者ハ皆此ノ學校ヨリ出テタルモノナリ其學校ハ此外人民ノ間ニ教育ト敬神ノ念ヲ維持シ露國ガ敵國ノ包圍ヲ受ケ國民トシテ其獨立ヲ失ハントシ滅亡ニ瀕スルノ時ニ於テ其ノ君ト國ヲ愛スルノ精神ヲ維持シタリ

古代露國學校ノ重要ナリシコトハ總テノ種族ヨリ其ノ生徒ヲ取リタルコトニ於



テ明カナリ貴族モ教職モ農民モ同様ニ其ノ兒童ヲ學校ニ出スノ權ヲ有シ彼等ハ同様ニ宗教及ヒ道德ノ訓練ヲ受ケタリ

第十七世紀ニ於テ始メテ普通ノ科學教育ヲ授クル中等及ヒ高等ノ學校ハ設ケラレタリ其ノ學科ハ智識ノ全般ヲ含有シ首ニ哲學ヲ教フルノミナラズ萬有哲學即チ物理學ヲモ教ヘタリ同時ニ萬有科學ニ於ケル教育ノ目的ハ萬有ニ關スル正確ナル智識ヲ與フルニアラズ重モニ其ノ精神ト智力ヲ受造物ヨリ造物主ニ及ボシ受造物ニ於ケル美麗奇異ナルモノヨリ全智全福ノ造物主ニ達セシムルニアリダリ萬有學ノ教科書ニ天文學物理學及ヒ博物學アリタルガ何レモ動物植物或ハ礦物等之ニ關スル奇談怪説ヲ掲ケザルハナシ例令動物ノ篇ニ於テハ、アルファベツトノ順ニ從ヒ獅、鱷、一角獸、毒蛇、鳳凰、アルコナス、スッコロフカメル等ニ關スル單語ヲ掲クルカ如シ又十七世紀頃迄ニ行ハレタル書ニ基督ト全世界ニ關スル、ゴツマ、イシデコ、ブロゾノ書ト稱スルモノアリ此ハ第六世紀頃ノグリーキノ書ヨリ翻譯ニナリタルモノナリ此ノ書ニハ世界ハ四角ニシテ大洋ノ包圍スル處トナル天ハ圓形ニシテ地ノ上ニ固定ストアルナリ當時西洋諸國ハ學校ニテ教フル處ノ萬有ノ

智識ハ稍進ミ居タルモ大ニ正確ヲ缺キタルモノナリ

當時ノ教育ニ於テ專門ノ教育ヲ缺キタルハ決シテ其缺點トナスヘカラス何レノ處ニ於テモ第一ニ發達シタルハ普通教育ニテ專門教育ハ何時モ最後ニ起ルモノナリ十七世紀ノ頃ニハ西歐洲ニ於テモ專門ノ學校ハ未タ其存在ヲ見ザリシ吾人ハ其教育偏頗ナリトテ獨リ露國當時ノ學校ヲ責ムヘキニアラザルナリ數學ト萬有學ハ未ダ教育上重要ナル學問ト承認セラレザリシ算術ハ幾分カ教ヘザルニアラザリシモ之レトテ唯實用ノ點ヨリ用ヒラレシノミ算數ノ智識ヲ必要トナシタルハ賣買ニ於テ其商品ノ數ヲ正シク發見スルニ便ナルニヨルナリ書籍ニヨラス天然ノ實物ヲ以テ教示スル實物教育ノ方法ノ如キ當時全ク人ノ知ラザル處ニシテ科學教育ノ創設者ヤンアモス、コメンスキーノ著書ノ如キハ密ニ十二個ノ歐洲國語ニ譯セラレタルノミナラズ又亞細亞ノ國語ニモ譯セラレタリ

教育制度ニ於ケル此ノ如キ缺點ハ自然實際ニモ影響セザルヲ得ザルナリ然レトモ西歐諸國ニ於テモ吾人カ前ニ掲ゲタル如ク十七世紀ニハ專門學校ハ未ダ其存在ヲ見ザリシ



然レトモ當時ノ獨逸ノ學校ハ未ダ教育學ノ理想ニハ達セザレトモ比較的ニ萬有ト其生産物ニ關シ廣キ智識ヲ授ケタリ當時ノ學校ニテハ植物、動物、人類萬有ノ顯象、地理、法律、經濟、測量等當時ノ智識ト生徒ノ學力ニ應ジ多少之レヲ教ヘザルハナカリシ

中等教育ノ學校ニ於テハ建築學、天文學、植物學、幾何學及ヒ圓體地理學等ヲ教授セリ又タ專門教育ノ方向ハ西歐洲ニ於テハ十七世紀ヨリ以前十四世紀ノ頃其商業組合ニ關シ町立學校ニ現レタリ又タ其教育ノ普及セル點ニ於テ甚ダ重大ナルコトハ初等學校ハ男女ノ兒童同様ニ開カレタルコトナリ之ニ反シテ當時ノ露國ノ學校ニ關スル歴史ノ智識ニ依レバ女兒ノ學校ニ出デタルノ證據アラサルナリ勿論當時ノ社會ニ行ハレタル女子ノ職分ハ男子ト共ニ學校ニ出ルコトヲ許サズリシナリ

ペートル大帝ガ我國ト他國ヲ比較シテ大ニ悟リタルハ我國學問ノ他國ニ比シテ大ニ後レ居ルコトノ重モナル原因ハ我國專門學校ノ缺乏セルニアラズ教育ニ於テ活力ノ乏シキニアルコトナリ智力ヲ應用スルハ實際ト親密ナル或思想ノ傾向

ヲ習練スルノ必要アルナリ此ノ如キハ單ニ高尚ナル哲學思想ノ與ヘ得ル處ニアラサルナリ

#### 第五節 十八世紀ニ於ケル國民教育

(甲) ペートル大帝ノ教育政策 前ニ掲ケタル所ハペートル大帝カ何レノ方面ヨリ國民教育ヲ觀察シタルカチ明カニスルニ足ラン彼ハ從來ノ慣習ヲ破リ以前ヨリ存シタル普通學校ヲ動かスコトヲナサズ外ニ一種ノ精神ヲ以テ新ナル教育ノ場所ヲ造リ此缺乏ヲ滿タサント勉メタリ

一千七百年ニ於テモスコニ貴族及ビ官吏ノ子弟ノ爲メニ數學校ヲ設ケ英人フアルヴハルソンヲ以テ其校長トナシタリ此後陸軍、海軍及ビ礦山等諸種ノ專門學校ヲ設ケタリ又タ千七百十四年及ビ一千七百十六年ヨリ政府ハ監督ノ家及ビ主要ノ修道院ニ於テ算數學校ヲ開キタリペートル大帝ハ此學校ノ他ニ適例アルヲ見ス又經驗アル助力者ナキガ爲メ一定ノ教則ヲ與フルコトヲ得サリシ此校ニテ教ユル處ノ學科ハ唯算術ト幾何學ノ一部ト定メラレタリ此新學校ハ當時ノ學校ノ思想ト正反對ニテアリタレバ速カニ發達ヲ遂ゲザリシモ當然トナサルヘカ



ラズ教職ハ其ノ自己收入ノ内ヨリ之ヲ維持セザルヲ得ザレドモ自ラ之ヲ管理スルコトヲ得ザレバ之ニ對シ反對ノ位置ヲ採リタリベートル大帝が大ナル望ヲ抱キタル市長若シクハ市會ハ新シキ一ノ學校モ開カザリキ其學校ハ無月謝ニテ十歳以上十五歳ナル兒童ハ悉ク之ニ入學セザルヲ得ザルノ定メニテ此校ノ卒業證書ナクテハ結婚スルコトヲ禁ゼラレタル程ナリシモ千七百二十二年ニ至ル迄ハ凡テノ算數學校ニ於ケル生徒ハ一千三百八十九名ニテ其内卒業シタルモノハ僅カニ九十五名ニテ餘ハ悉ク逃亡セシナリ

算數學校ノ失敗モベートル大帝ノ意志ヲ翻サシムルコト能ハザリキ彼ハ新學校ノ組織ヨリ進ンデ從來ノ教會學校ニ新式ノ教育ヲ輸入スルコトヲ計リタリ是レ或ル人ガ考フル如クベートル大帝ハ古代ノ露國々風ヲ破壊セントシタルニアラズ唯之ニ新活力ヲ與ヘント計リタルノ實證ト云フベシ

斯クテ其一例ニハ一千七百二十一年ノ教部省ノ左ノ如キ布告アリ曰ク何レノ監督モ其家ニ於テ教職ノ子弟ト聖職ヲ執ラントスルモノ、爲メニ學校ヲ設クルハ教會ノ爲メ甚ダ利益アルコトナリ

然レドモ一千七百二十二年聖務廳ノ布告ニ是等ノ監督學校ノ生徒ニハ文法ノ次ニハ算術ト幾何學ノ最モ必要ナル部分ヲ教ユベシ是レ、彼等ガ教會ト國民ニ有用ナル學術ニ熟練シ又タ算術ト幾何學ノ教授ニ關スル皇帝陛下ノ勅語ノ趣旨ヲ奉戴センガ爲メナリ如此クベートル大帝ハ新學校ノ組織ヲ以テ重要トナシタルニアラズ其ノ教育ニ新方針ヲ與フルヲ以テ最モ重要トナシタリ

然レドモベートル大帝ハ神學校ニ數學及ビ科學ノ學科ヲ加ヘタルコトノミヲ以テ其教育改革案ヲ執行スルコト能ハザリシハ明カナリ之ヲ爲スニハ歐洲科學ノ新分子ヲ露國ノ地ニ植付クルノ必要アリ其ノ學校派ノ精神ヲ有スル古代ノ學校ハ如此事業ヲ執ルニハ不充分ニテアリタリ其唯一ノ方法ハ外國ノ學者ヲ招聘シ彼等ニ命ジテ獨立ノ學校ヲ組織セシムルニアリタリ此學校ノ目的ハ最初ハ主トシテ教育ノ勢力トナルニアリタルガ故其ノ學校ノ教官ハ生徒ノ用ニ備フル教科書ヲ編纂シ毎日一時間ツ、公衆ニ向テ其ノ學科ヲ教授スベキノ義務ヲ負ヒタリ彼等ハ生徒ノ内ヨリ一二人ヲ撰ビ遂ニ己ノ後任者トナルヘキモノヲ養成セサルベカラサルコトニ定メタリベートル大帝ガ其希望ヲ陳ヘタル言ニ曰ク此人々ガ



最モ適切ニ露西亞人ヲ教導シ得ル様ニ教官ハスラオニツク人種ヨリ之ヲ撰拔セサルベカラズ。ペートル大帝ハ如此大學ヲ設立シ更ニ新式ノ中學校ヲモ設立セント企テタリ然レトモ此ノ如キ學校ハ彼ノ在位中ニハ開設ノ運ニ至ラザリキサレドバルチック海邊ノ諸州ヲ侵略シタルト同時ニ此所ニ存シ居タルレアルギムナジヨム〔實科中學〕ヲモ其ノ管下ニ歸シタレバ皇帝ハ此學校ハ露國青年ノ利益ノ爲メニ維持シ之レニ露國語ノ經驗アル教師ヲ命シ之レニ俸給ヲ與フベキコトヲ裁シタリ

其後一千七百二十六年ニ至リ中學的ギムナジヨムヲ二部ニ分チ獨逸語ノ豫備科トラテン語ノ豫備科トヲ備ヘ之ニラテン語及ヒギリキ語ノミナラズローマノ詩人其他ノ學科ヲモ含ム處ノ學校トナシタリ此學校ノ爲メニ獎學金ノ設置兵卒ノ子弟ノ持權等種々ノ獎勵ヲ與ヘタレトモ一千七百三十七年ニハ其生徒十八人ニ減少シタリ然レトモ彼ノ有名ナルロモノツフ氏ノ如キハ此學校ニ於テ其教育ヲ受ケタルコトヲ忘ルヘカラス

斯クテ露國改革者(ペートル大帝)ノ心ニハ小學ヨリ大學ニ至ルマテ教育制度全體

ノ改革ヲ計ラサルヘカラサルノ考案成立チタリペートル大帝ノ死後二十年間ニハ國民教育若シクハ政治公共ノ事業ニ於テモ更ニ何等ノ著シキ變化モ見ザリシ彼ノ聰明ナル思想ノ再ヒ活動ヲ見ルニ至リタルハエリサベス女帝(一千七百四十年—一千七百六十一年)ノ世ニアリタリ

(乙) エリサベス女帝及シユエーワロフ氏ノ業 露國々民教育ニ於テ最モ重大ナル改革ノ功績ヲ舉ゲタルハ有名ナルロモノツフ氏ノ朋友及恩人タル大貴族ゼーゼー、シユエーワロフ氏ナリトス此ノ人ハ當時ニ於テ尤トモ學問アル一人ニテアリタリ

ペートル大帝カ設立シ其死後(一千七百二十五年)ニ開校シタル理科大學院ハ一方ニハ教育ヲ主トシ他方ニハ學問ノ研究ヲ主トシタル學校ナルハ既ニ前段ニ掲ゲタルガ如シ之ニ附屬シテ印刷所種々ノ工場彫刻并ニ圖書室及ビ他ノ設備アリタリ然レトモ此學院ニ公許ヲ與ヘタルハ一千七百四十七年ニアリテ之ヲ二部ニ分チ一ヲ普通科トシ他ヲ大學科トナセリ普通科ニハ十人ノ教授十人ノ名譽教授及ビ十人ノ助教授アリテ助教授ハ悉ク露西亞人タラサルヘカラサルコト、定メタ



リ  
 毎年ノ始メニ於テ大學院ハ理學ノ一部若シクハ他ノ部ニ於ケル問題ヲ出シ之レ  
 ニ對スル最良ノ論文ヲ校長ノ命令ニヨリ露國語ニ翻譯シ大學院ノ費用ニテ之レ  
 ヲ出版スルコトトナシタリ感謝スヘキハ十八世紀ニ於テ此學院ハ大ナル活動ヲ  
 現ハシ當ニ數學及ヒ理科學ニ於テ多クノ著名ナル著述ヲ出シタルノミナラズ露  
 國歴史ノ材料ノ蒐集ト整理ニ大ナル功績ヲ擧ケタリ此ノ如クニシテ我國ノ大學  
 ハ忽チ歐洲ニ於テ著シキ位置ヲ占メ我國人ノ間ニモ理科學ノ爲ニ一生ヲ送ルノ  
 人アルヲ稱シ世ノ學者カ吾人ニ信任ト尊敬ヲ置キ吾人ヲ以テ理科學ヲ蔑視スル  
 野蠻人トナスナカラントキノ至ルヲ欲シタルベイトル第一世ノ希望ハ遂ニ成就  
 スルニ至レリ大學部ハ普通學科ヨリ區分シ學院長ハ之ガ爲ニ適當ニ準備ヲナシ  
 タル生徒三十名ヲ撰ビ出スコト、ナリタリ又タ普通科生徒養成ニハ普通學ニ附  
 屬シタルギムナジヨム(中學)ハ其用ヲ勤メシナリ  
 一ツノ大學ト一ツノギムナジヨムニテハ露國全體ノ需要ヲ滿ス能ハザルハ勿論  
 明カナリシユワロフ氏ハ既ニ一千七百五十五年ニ於テ彼ガ元老院ニ呈出シタル

報告ニ莫大ナル面積アル露西亞帝國ハ唯一ノ大學ヲ以テ満足スルヲ得ザルナリ  
 アンナヨアレノウナ女帝ノ世ニ於テ建テラレタル一ノ陸軍學校トベイトル大帝  
 ノ航海學校トシテ建テ千七百五十二年ニ之ヲ海軍學校ト改メタルモノハ教育ノ  
 必要ヲ滿スヲ得ズ故ニ歐洲大學ノ模範ニ則リモスコ一ニ大學ヲ起シ之ト同時  
 ニ一ツハ貴族一ツハ平民奴隸ヲ除クノ爲メニギムナジヨムヲ設立スルノ必要アリ  
 下明言セリ奴隸ヲ除キタルハ甚ダ奇異ナルコトナレドモ其理由トシテ揚ケラ  
 ル、論理ニハ如此コトアリ曰ク理科學ハ強迫スヘキモノニアラズ而シテ人世中  
 最モ高貴ナル事業ニ數ヘザルヘカラズギムナジヨムニ於テ貴族ト平民ヲ別テド  
 モ大學部ニ於テハ其ノ別アシ是レ雙方ノ人々ヲ獎勵シテ益々學ニ勤勉ナラシメ  
 ン爲メナリ如此ク學問ヲ尊重スル事ハ我國政治組織ノ全體ノ基礎タルハ治ク人  
 ノ知ル處ナリ學問ハ貴族ト平民ノ隔ヲ除去シ平民ニ政治上ニ必要ナル總テノ方  
 便ヲ與フルモノナリ是レ今日ニ至ルマテ學校ノ卒業證書ハ官吏ノ或ル階級ニ對  
 スル權利ト關係アル所以ナリ  
 如此ニシテ一千七百五十五年ニ於テ近世ノ意義ニ適フ第一ノ大學ハモスコ一ニ



設ケラレタリ之ニ法律醫學及ヒ哲學ノ三科ヲ設ケタリ勿論此大學モ今日ノ大學ニ比スレハ遙ニ其下ニアリ而シテ教授ノ缺乏ヨリシテ此三學部ニ設ケラレタル教授席ハ僅ニ十個ニ過キザリキ教授上ノコトハ總テ二人ノ監督官ノ監督スル所ニテ教授ハ自ラ其ノ好ム所ニ從テ其ノ學科ヲ教授スルノ自由ナク彼等ハ皆教授會若シクハ監督ノ制定スル所ノ教授ノ方法ニ從テ其勤ヲ探ラザルヲ得ザルナリ生徒ハ大學附屬ノギムナジヨムノ學科ヲ卒リタルモノ及ヒ一千七百五十八年ニモスコイ大學ノ經費ニテ設立シタルカザンノギムナジヨムノ卒業生中ヨリ撰拔セリ己ノ設立シタル大學ノ監督トナリタルシュワロフ氏ハ二年後ニ至リ陸軍學校海軍學校及ヒ大學ノ豫備校トシテ凡テ大ナル市町ニギムナジヨムヲ設立シ凡テノ小ナル市町ニ於テハ露國語ト算術ト他ノ初等ノ學科トヲ教フル學校ヲ設立シギムナジヨムノ豫備校トナスヘキ必要ニ關シテ元老院ニ向テ請願書ヲ呈出セリ此ノ請願ハ元老院ノ容ル、所トナリタルモ遂ニ當時其ノ實行ヲ見ルニ至ラザリシ

然レトモエリサベスノ世ニ至テ其多分ハ實行セラレ教育制度ノ改革ニ關シベ

トル大帝カ起シタル問題ハ茲ニ再ヒ其提出ヲ見ルノ機會ニ遭遇セリ

(丙) カテリン二世ノ時代 カテリンノ時代ハ此問題ヲ解釋スルノ嚆矢ヲ以テ著シク又文學學問ノ興隆ト理科學及ヒ美術ノ有名ナル人々多ク起リテ大ナル女帝ノ帝威ニ光輝ヲ添ヘタルコトニヨリテ著シ彼レノ即位ヨリ其死ニ至ルマデカテリン二世ハ適當ナル學校ヲ全體ニ組織スルヲ以テ其最モ重要ナル勤トナシタリ一千七百六十三年ヨリ一千七百六十七年ニ至ル間ニ於テモスコイノ棄兒院ノ計畫ヲ發表セラレタルカ女帝ノ意見ハベッキハ筆ニヨリテ左ノ如ク説明セラレタリ其ノ言ニ曰ク「教育ニ關シテ重モナル目的ハ健康ニシテ勇壯技術ト職業ニヨリテ國ニ盡スコトヲ得ル生徒ヲ養成シ其ノ精神ト心意ハ畜ニ自己ニ有益ナルノミナラズ又タ善良ナル基督信徒トシ且ツ忠義ナル國民タルニ適スルノ訓練ヲ受ケシムルニアリトス教員ノ有益ナル模範ハ生徒ノ理性ト心情ヲ高尚ニスルガ如キ教育ヲナスコト必要ナリ

カテリン二世ハ古代及ビ今代ノ多クノ學者ノ教育ニ對スル學說ヲ引照スルニ於テ殊ニロツクトコメンスキーノ說ニ重キヲ置キタリコメンスキーハ露國近世



教育學ノ始祖ニシテ古來ノ學者風人爲的所作及ビ兒童ノ人格ヲ壓搾スルコトニ  
斷然反對シ品格ノ養成ヲ以テ教育ノ重ナル目的ノ一ツトナシタリ健全ナル精神  
ハ健全ナル身體ニ住ス」トハ彼ノ根本ノ主義ナリ

カテリン二世ハロツクノ言ヲ引キテ曰ク「若シ兒童ノ德義ヲ教ヘント欲セバ先  
ヅ其ノ教師ト其ノ保育者ヲシテ道德ヲ守ラシメ彼等ヲ以テ之レニ習フニ足ル標  
準ヲ示サシメザルベカラズ」女帝ハ更ニ是レニ加ヘテ曰ク「教員ハ凡テ露西亞人ナ  
ラサルベカラズ何トナレバ外國人ニテハ生徒ニ總テノ事ニ於ケル好例殊ニ彼等  
ト共ニ教會ニ出デ、彼等ト共ニ宗教ノ規則ヲ守ルノ好例ヲ示スコトハ到底ナシ  
得ベキコトニアラザレバナリ

千七百六十七年ニ於テ新法律起草委員ノ方針ナルモノヲ公ニシタルカ此方針ハ  
殆ント其全體ニ於テ女帝自ラ起草セシ所ナリ其ノ二百四十五條ニ曰ク「若シ罪惡  
ヲ未發ニ防カント欲セバ宜シク教育ノ普及ヲ人民間ニ計ラザルベカラス」又彼カ  
一千七百八十年九月七日ノ日附ヲ以テ有名ナルグリム氏ニ贈リタル手書中ニ左  
ノ如キ一節アリ曰ク「何人モ教育アル人民ニ對シテハ朕ヲ畏レシムルコトナシ

前ニ掲ケタル委員ニ與ヘラレタル方針ヨリ之ヲ見レハ教育ノ必要ハ當時既ニ露  
國民ノ全體ニ明カニ認メラレタル所ナルヤ明カナリ斯クテ女帝ノ採用シタル國  
民教育策ハ前帝ノ頃ニ比シテハ人民間ニ大ニ勸進セラレタルモ亦明カナリ  
女帝カ其教育策ヲ多少實行スルニ至リタルハ八年後(教育委員撰定後)ノ後アリ  
タリ吾人ハ爰ニ女學校ニ關シテ陳ブル所ナカルベシ女學校ハ後ニ女帝メーリー  
ノ制度ノ編ニ於テ論スルコトアルベシ此八年間ハ彼ガ此問題ノ講究ニ費セシ所  
ニテ此間教育ノ問題ニ關シ西部歐洲ノ最モ有名ナル學者教育者グリム、デデエロ  
ツト、タルベルグ男其ノ他ノ人々ト屢通信ヲナシタリ

女帝ハ此問題ニ關シ最モ詳細ナル研究ヲ遂ケ學校ニ關スル論文ヲ集メ又自ラ著  
述ヲナシ又其孫ナル未來ノ皇帝アレキサンダー第一世ノ爲ニ「アルファベット」ニ  
從ヒ道德ノ訓誡ヲ加ヘタルモノヲ編纂セリ此アルファベット」ノ訓誡ノ一部ヲ出  
版シタルニ二週ヲ出デズシテ二萬部ノ發賣ヲ見タリ女帝ノ語ニ曰ク「エー、ビー、シ  
ーハ頭腦ニ未來ノ發達ヲ與フ所ノ產婆ナリ」ト學校委員ノ設ケラル、ニ於テ女帝  
ハ委員長ト委員ノ一人ニ教師ノ爲ニ教科書ヲ著スコトヲ命シタリ然レトモ其委



員長ガ己ノ編輯シタルモノヲ女帝ニ捧ケシトキ彼ハ之ニ満足セス赤面セル委員  
長ノ面前ニ於テ忽チ筆ヲ執リ半時間ヲ出テザル内ニ當時ノ必要ニ應ズル教科書  
ヲ綴リタリ此ノ如キコトハ女帝ニ於テ珍ラシキコトニアラズ彼ハ學校委員會ニ  
列席シ其勞ヲ分ツノミナラズ殆ント凡テノ學校教科書ヲモ自ラ校閲シタリ  
遂ニ一千七百七十五年ニ於テ新法律ハ發表セラレタリ各縣ニ於テ其知事ヲ以テ  
會長トナシ教育及ヒ慈善ノ諸學校ヲ管理スル公安保護委員會ナルモノ組織セラ  
レタリ又タ市町及ヒ人口稠密ナル村落ニ國民學校ヲ開クベギコトヲ命ゼリ此學  
校ハ無月謝ニシテ讀書習字圖畫算術及神學ノ大意ヲ教フベキコトト定メタリ教  
員ハ總テ體罰ヲ行フコトヲ禁シ學校及ビ校内ノ掃除並ニ空氣ノ流通ヲ能クスル  
ニ於テハ殊ニ注意ヲ加ヘタリ

不幸ナルコトニハ此委員會ハ第一資金ノ缺乏ニ逢ヒ後ニハ教員ノ不足ニ逢テ其  
進行ヲ害セラレタリ一千七百七十九年ニ於テベツラザゴツズスグ及ビオロネツ  
ツニ第一ノ學校ヲ設ケタリペートルスボルクノ委員會ハ六學校ヲ開キタルモ之  
ヨリ多クノ學校ヲ設クルヲ得ザリシ一千七百八十二年ニ於テ國民學校開設委員

ノ設立アルマデハ全體ノ方針明カナラザリシガ此委員ニテ帝國全體ニ於ケル學  
校ノ組織及ビ教科書ノ編輯及教員ノ養成ニ關スル方案ヲ起草スルコト、ナリタ  
リ一千七百八十三年ニ於テ遂ニペートルスボルクニ於テ高等國民學校ナル名ノ  
許ニ於テ教員養成所ヲ設ケタリ其時ヨリシテ三年ノ内ニペートルスボルクノミ  
ニテモ四十一人ノ教師ト二千三百五十五人ノ生徒ヲ有スル十九ノ學校ヲ開ケリ  
此外三十ノ外國學校ノ設立ヲ見タリ一千七百八十六年ニハ此委員ハ二十五ノ市  
町ニ於テ四年期ノ國民學校ヲ開クコトヲ得ル程ナル教員ノ多數ヲ養成スルヲ得  
タリ郡部ノ町々ニテハ其費用ニテ小ナル學校ヲ開キ此教員ハ市ノ重ナル學校ニ  
テ養成スヘキコトニ定メタリ國民學校ノ教育制度ノ功果著シカリシカバ聖務廳  
ハ全國ニ布告ヲ出シ凡テノ神學校ニ於テ國民學校ニ於テ用フル所ノ教育法ヲ用  
フベキコトヲ命シタリ而シテモギレフノ大監督ヨルジコニスキーノ如キハ國  
民學校開校式ニ臨ミ演說ヲナシタルニ其演說中古代ノ神學教育ノ不完全ナルコ  
トヲ攻撃シカテリンノ設立シタル學校ノ教育法ノ善良ナルコトヲ稱賛セリ  
カテリン第二世カ國民學校ノ將來ノ發達ノ爲メ強固ナル基礎ヲ据ヘタルハ前上



掲ケタルカ如シ高等教育ノ一事ニ於テハ彼カ執リタル政策ハペートル大帝ノ執  
 リ來リタル政策ヲ永續スルコトニテアリタリ一千七百六十六年ニ於テアカデミ  
 ー(大學院)ヲ以テ遂ニギムナジヨム又ハ大學ヨリ分離シテ純粹ノ學問研究所トナ  
 シタリ彼レハ之ヲ自己ソ直接ノ管理ノ許ニ置キ其ノ事業ヲ擴張シ露國ノ各部ニ  
 於ケル人民生活ノ形狀ヲ研究セン爲メ學士ノ遠征隊ヲ各地ニ派遣シタリモスコ  
 ー大學ハ漸次發達ヲ遂ゲ殊ニソノ學生ガ海外遊學ヨリ歸リテ教授ノ椅子ヲ占メ  
 タルヨリ然リトス大學ニ關シテ語學及ヒ露國史ノ研究ヲ以テ目的トナス學會ナ  
 ルモノ設立アルヲ見ル其ノペートルスボルグニ於テ佛國ノ例ニ倣ヒ露國語ノ改  
 良發達ヲ計ルノ目的ヲ以テ露國學士會院ナルモノ設ケラレタルカ此院ハ一千八  
 百四十年ニ至リテ理科大學院ニ合セラレタリ  
 女帝カテリンハエカテリノツスラフブスコフチセルニコフ及ヒベンザニ於テギ  
 ムナジヨムト大學ヲ設ケント企テタレトモ遂ニ之ヲ實行スルノ機ナク唯ウキル  
 ナノミハ西部諸縣ノ合併ノ爲メ露國大學ノ一ツニ數ヘラル、事トナリタリ一千  
 七百九十六年ニ於テパオル第一世ノ時ニドルバー大學ノ設立ヲ見タルガ今日ハ

之ヲユリフト改稱セリ

(丁) 十八世紀ニ於ケル教育ノ性質 十八世紀ニ於ケル教育ノ發達ニ於テ前段ニ  
 述ヘタル處ヲ觀察スルトキ此時期ニ於テ著シキ進歩ヲ遂ケタルコトヲ注意セサ  
 ルヲ得ザルナリ露國ガ西歐諸國ト頻繁ナル交通ヲナシ是レヨリ多クノ有益ナル  
 智識ヲ借り來リタルハ勿論教育ノ事件ニ關シテハ其教育法ノ更ニ進ミタルモノ  
 ナ應用シ其學科ニ從來ノ學校ニ殆ド見ザリシ學科ヲ加ヘタルコトニ於テ大ナル  
 進歩ヲ遂ゲ國民ノ發達ニ稍複雑ナル性質ヲ與フルニ至レリ遂ニ大學ト大學院ノ  
 設立ヲ見タルガ從來ノスコラステスジムヲ放棄シ真正ナル理學ノ研究法ヲ採用  
 シタリ教育制度ノ組織ヲ完備スルハペートル大帝ノ企圖シタル所ナレトモ此時  
 ニ至ルマデ其成功ヲ見ザリシ勿論大中小學ノ組織ナキニハアラザレドモ是等諸  
 種ノ學校ノ間ニ完全ナル聯絡アルヲ見ズ又各種ノ學校ノ區域明カナラズ其學科  
 ノ一定スルコトナク又專門學校ノ學科ニ於テモ一定スル所ナカリキ  
 神學校及ヒ兵學校ニ關シテ一言シ置クヘキハ何レモ專門科ノ外普通教育ノ性質  
 ナ帶フルコトナリ生徒ノ是等ノ學校ニ入ルハ皆普通教育ヲ受クヘキ幼少ノ時代